

33	32	32	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33
一八七	一八七	一八六	一八五	一八四	一八三	一八二	一八一	一八〇	一七九	一七八	一七七	一七六	一七五
乙	甲	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
一三七	一七五	一〇三	一三六	一三六	一三六	一三六	一三六	一三六	一三六	一三六	一三六	一三六	一三六
八	〇	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
二〇	二八	一六	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九
四五〇	〇一〇	五二〇	〇七二	〇七一	〇七一	〇七一	〇七一	〇七一	〇七一	〇七一	〇七一	〇七一	〇七一
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
二〇五	二八〇	一六五	一九一	一九一	一九一	一九一	一九一	一九一	一九一	一九一	一九一	一九一	一九一
新井田宗次郎	岩佐喜太郎	林彦兵衛	能登ユン	藤田庄五郎	村上重吉	林彦兵衛	鈴木タケ	三上幸助	島崎イソ	忠谷久藏	近江フツ	齋藤五平	福田由松

百五十二

33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33
一七四	一七三	一七二	一七一	一七〇	一六九	一六八	一六七	一六七	一六六	一六六	一六六	一五六	一五六
...	...	...	...	...	...	...	乙	甲	乙	甲	乙	乙	乙
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	宅	宅
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
一三六	一三六	一三六	一三六	一三六	一三六	一四〇	二一	一三四	一一	一一五	一〇	一〇	一〇
二	二	二	二	二	二	九七	四七	九五	一七	八〇	五六	五六	五六
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	三	一八	一	一六	一	一	一
〇七一	〇七一	〇七一	〇七一	〇七一	〇七一	七三六	〇〇六	八九三	五六四	二二二	四七八	四七八	四七八
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
一九一	一九一	一九一	一九一	一九一	一九一	一九一	〇三〇	一八九	〇一六	一六二	〇一五	〇一五	〇一五
大村多吉	鈴木ノ	畑野仁平治	梅川ハツ	須藤與吉	新田太平	紫竹勘次郎	佐藤三左衛門	佐藤三左衛門	佐藤三左衛門	佐藤三左衛門	村田源治	村田源治	村田源治

百五十二

等級位  
地番  
地目  
反別及坪數  
地價  
地租  
所有主氏名



等級	地位	地番	地目	反別及坪數	地價	地租	所有主氏名						
		符號		坪合勺	圓金	圓金							
		番號			錢厘	錢厘							
32	32	29	30	30	30	31	31	31	31	31	32		
一九九	一九八	一九七	一九六	一九五	一九四	一九三	一九二	一九一	一九〇	一八九	一八八		
乙	甲	丙	丙	乙	甲	...	...	...	...	...	...		
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	宅		
三二五	四九〇	三〇〇	三〇〇	六〇〇	一五〇	七一	七七	七六	七六	七六	七六		
六三	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	六六	八二	八二	〇〇	七二	七二		
三七	五八	三〇	三〇	六〇	一五	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇		
八七六	八〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇三三	八一九	七五五	七八〇	七四一	七四一		
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...		
三七九	五八八	三〇〇	三〇〇	六〇〇	一五〇	一〇〇	一〇八	一〇八	一〇七	一〇七	一〇七		
逸見小右衛門	逸見小右衛門	中村庄兵衛	浦田久吉	中居久吉	新田三カ	齋藤五平	四ツ柳龜太郎	新川カ三	松田彌三	中井三テ	西村辰次郎	五十嵐定太郎	佐々木千代

所有主氏名

等級	地位	地番	地目	反別及坪數	地價	地租	所有主氏名					
		符號		坪合勺	圓金	圓金						
		番號			錢厘	錢厘						
32	32	29	30	30	30	31	31	31	31	31	32	
一九九	一九八	一九七	一九六	一九五	一九四	一九三	一九二	一九一	一九〇	一八九	一八八	
乙	甲	丙	丙	乙	甲	...	...	...	...	...	...	
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	宅	
三二五	四九〇	三〇〇	三〇〇	六〇〇	一五〇	七一	七七	七六	七六	七六	七六	
六三	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	六六	八二	八二	〇〇	七二	七二	
三七	五八	三〇	三〇	六〇	一五	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	
八七六	八〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇三三	八一九	七五五	七八〇	七四一	七四一	
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	
三七九	五八八	三〇〇	三〇〇	六〇〇	一五〇	一〇〇	一〇八	一〇八	一〇七	一〇七	一〇七	
濱谷寅之助	四ツ柳龜太郎	四ツ柳龜太郎	山田竹次郎	逸見小右衛門	岡田銀太郎	田中サタ	加藤吉五郎	服部タ三	黒井佐之助	宮崎五左衛門	松村甚右衛門	

所有主氏名



34	34	34	34	34	34	34	...	35	35	...	...	...	
二二二	二二二	二二〇	二二〇	二一九	二一九	二一九	...	二二七	二二七	...	...	...	
...	...	乙	甲	乙	甲	甲	...	乙	甲	...	...	...	
全	全	全	全	地	...	...	...	...	...	...	...	...	
八九	六五九	一一二	二二三	一一〇	一一〇	二二九	...	一九一七	一〇〇〇	...	...	...	
四三	九九	〇五	九九	〇〇	〇〇	〇〇	...	六四	〇〇	...	...	...	
一〇	七九	一三	二六	一四	一一	二八	...	...	二〇	...	...	...	
七三二	一九九	四四六	八七九	四〇〇	〇〇〇	六八〇	...	...	〇〇〇	...	...	...	
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	
一〇七	七九二	一三四	二六九	一四四	一一〇	二八〇	...	全	免租	...	...	...	
長門久治	松林甚右衛門	佐々木梅右衛門	水橋五助	葛西寅吉	及能仁三郎	新妻甚八	新妻甚八	松林甚右衛門	山口利太郎	山口利太郎	此中ニッ	龜井惣吉	平野左馬吉

百五十七

...	39	39	39	39	39	39	...	...	39	34	等級位	
...	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二〇	...	...	二二〇	二〇九	地番	
...	丙	乙	甲	丙	乙	甲	...	...	丙	乙	地番	
...	...	...	...	全	全	全	...	...	全	全	地目	
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	反別及坪數	
五七一	一四七	六〇〇	四六〇	五〇〇	四一三	五〇〇	...	...	四二九	三、四三二	坪合与	
〇一	二〇	〇〇	〇〇	〇〇	六六	〇〇	...	...	一六	九六	坪合与	
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	地價	
...	八	三六	二七	三	二四	三	...	...	二五	四一一	圓	
...	八三二	〇〇〇	六〇〇	〇〇〇	八二〇	〇〇〇	...	...	七五〇	九五五	錢厘	
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	地租	
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	四	圓	
免租	〇八八	三六〇	二七六	三〇	二四八	三〇	...	...	免租	二五八	錢厘	
山崎清吉	富田由松	富田由松	小島與三郎	富田由松	能村千代吉	富田由松	富田由松	新妻新八	富田由松	富田由松	成田富太郎	所有主氏名

百五十六







等級	地番	地目	反別	坪數	坪合	地價	金	地租	金	所有主氏名
35	二四〇	甲	全	一四	一七	一	四一七	〇	一四	渡邊熊四郎 外一名
39	二四〇	甲	全	八一	三一	一八	七〇一	一八七	一八七	渡邊熊四郎 外一名
30	二四〇	乙	全	三八六	〇七	八二	五〇五	一二五	一二五	渡邊熊四郎 外一名
38	二四〇	甲	全	三二七	〇一	八一	五二八	一七五	一七五	渡邊熊四郎 外一名
35	二三九	乙	全	一三三	〇四	一三	二〇四	一三三	一三三	相澤 玄 理
35	二三九	乙	全	一〇一	〇九	一〇	一〇九	一〇一	一〇一	前多 善右衛門
35	二三九	甲	全	四〇〇	〇〇	四〇	〇〇〇	四〇〇	四〇〇	林 彦兵衛
35	二三八	乙	全	四九九	四七	四九	九四七	四九九	四九九	中 村 政 吉
35	二三八	甲	全	二四八	四〇	二四	八四〇	二四八	二四八	本 吉 イ ヲ
35	二三七	...	全	四九九	一〇	四九	九一〇	四九九	四九九	佐藤 文次郎
...	二三六	...	全	一四二	五	...	...	全	全	富 田 由 松
...	二三五	乙	宅	二一〇	〇〇	...	...	免租	免租	勝木 仁右衛門

等級	地番	地目	反別	坪數	坪合	地價	金	地租	金	所有主氏名
30	二四四	甲	全	九六	六一	二〇	二八八	二〇三	二〇三	佐々木 宇之松
30	二四三	...	全	一二六	四一	二六	五四六	二六五	二六五	坂 牛 太 次 郎
35	二四二	庚	全	二五三	七五	二五三	八七五	五三九	五三九	渡邊熊四郎 外一名
35	二四二	乙	全	一一九	八三	一一九	二八三	二九三	二九三	公立小學校付屬地
35	二四二	戊	全	一八八	三三	一八八	三三三	八八三	八八三	大濱茂七郎 外一名
33	二四二	丁	全	一五〇	八四	二一〇	五三八	一〇五	一〇五	渡邊熊四郎 外一名
35	二四二	丙	全	五〇四	〇〇	五〇四	五〇〇	〇四五	〇四五	大濱茂七郎 外一名
35	二四二	乙	全	一四〇	〇〇	一四	〇〇〇	一四〇	一四〇	近藤 秀左衛門
35	二四二	乙	全	二六〇	〇〇	二六	〇〇〇	二六〇	二六〇	小 島 又 次 郎
32	二四二	甲	全	二七三	一九	四三七	九五〇	三八〇	三八〇	渡邊熊四郎 外一名
32	二四一	...	全	二五九	五四	四一五	二八六	一五三	一五三	伊 藤 松 三 郎
25	二四〇	乙	全	一二四	八〇	四九	九二〇	四九九	四九九	大濱茂七郎 外一名
25	二四〇	戊	全	一一〇	〇〇	四八	〇〇〇	四八〇	四八〇	大濱茂七郎 外一名
27	二四〇	丁	全	一三七	五二	四一	二五六	四一三	四一三	大濱茂七郎 外一名



38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38
二六一乙ノ一全	二六一乙ノ一全	二六一甲ノ二全	二六一甲ノ二全	二六〇乙全	二六〇甲全	二五九乙全	二五九甲全	二五八...	二五七...	二五六...	二五五...	二五四...	二五三...
一、二四八	三七	九一	一一	六〇	一、五九二	四八	一、八七七	八二〇	一八七	八二〇	五九八	五九八	五四一
九五	六一	五一	一九	七九	八一	九七	九五	三九	八六	三九	三四	三四	一三
八七	二	六	...	四	一一一	三	一三一	五七	一三	五七	四一	四一	三七
四二七	六三三	四〇六	...	八五三	四九七	四二八	四五七	四二七	一五	四二七	八八四	八八四	八七九
...	...	...	...	...	一	...	一	...	...	...	...	...	...
八七四	〇二六	〇六四	〇〇九	〇四三	一一五	〇三四	三一五	五七四	一三二	五七四	四一九	四一九	三七九
小川幸兵衛	小川幸兵衛	平ヤ	平	松村兩平	松村兩平	松村兩平	松村兩平	堀川道藏	堀川道藏	堀川道藏	中野平吉	中野平吉	三ッ谷鉄藏

38	38	37	36	33	30	33	33	33	33	33	30	等級地位
二五二	二五一	二五〇	二四九	二四八	二四七	二四六	二四六	二四五	二四五	二四五	二四四	地番
...	...	...	...	...	...	乙	甲	丙	乙	甲	乙	地番
...	...	...	...	...	...	全	全	全	全	全	宅	地目
九三二	九三〇	二八四	六四	四〇七	一、三二〇	五六	一九八	一〇二	八〇	七二	二九	反別及坪數
八三	九二	九七	二四	五〇	一五	二五	五九	四〇	〇〇	四四	八〇	坪合与
六五	六五	二二	五五	五七	三〇三	七	二七	一四	一一	一〇	六	地價
二九八	一六五	七九八	二八二	〇五〇	六三五	八七五	八〇三	三三六	二〇〇	一四二	二五八	金
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	地租
六五三	六五二	二二八	五五三	五七一	〇三六	〇七九	二七八	一四三	一一	一〇一	〇六三	金
寺島源作	速見辨輔	近藤嘉助	梅川吉太郎	石垣喜一郎	近藤嘉助	佐々木善治	佐々木宇之松	佐々木宇之松	山崎富治	佐々木宇之松	山崎富治	所有主氏名



等級	地番	地目	反別及坪數	地價	地租	所有主氏名
38	二六九	宅	八五〇	五九	五九	寺井四郎兵衛
38	二六八	宅	六四四	四五	四五	野村正三
38	二六七	宅	八四六	五九	五九	齊藤政七
38	二六六	宅	九一三	六三	六四〇	松尾兼松
38	二六五	宅	七八八	五五	五五二	新與三郎
38	二六四乙二	宅	二一五	一五	一五一	岩橋謹次郎
38	二六四乙一	宅	二二五	一五	五七七	岩橋謹次郎
38	二六四甲	宅	一七八	二四	二五〇	浦田久吉
38	二六三	宅	一六四	二五	一五〇	淺岡新太郎
38	二六二乙	宅	三五〇	二四	二四六	寺崎源作
38	二六二甲	宅	一九四	一三六	三三三	寺崎源作
8	二六一丙	宅	三一〇	二一	二一七	佐伯本弘

等級	地番	地目	反別及坪數	地價	地租	所有主氏名
38	二七〇	宅	一七六	一三	二三四	武富カ
38	二七〇乙	宅	一一五	八	〇八一	武富カ
38	二七一甲	宅	五三一	三七	三七二	松尾兼松
38	二七一乙	宅	二二三	一	〇一七	二本柳ル
38	二七二一	宅	一四四	一〇	一〇一	松尾兼松
38	二七二二	宅	一五〇	一〇	一〇六	松尾兼松
38	二七二三	宅	三〇七	二二	二一五	松尾兼松
38	二七二四	宅	八九	六	〇六三	松尾兼松
38	二七二五	宅	一六五	一一	一六	松尾兼松
38	二七二六	宅	一六四	一一	一五	松尾兼松
38	二七三甲一	宅	一三六	九	〇九六	松尾兼松
38	二七三甲二	宅	一三五	九	〇九五	松尾兼松
38	二七三甲三	宅	一八一	二	一二七	松尾兼松
38	二七三甲四	宅	一三五	九	〇九五	松尾兼松



38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38
二七三	二七三	二七三	二七三	二七三	二七三	二七三	二七三	二七三	二七三	二七三	二七三	二七三	二七三
一乙〇	一乙九	一乙八	一乙七	一乙六	一乙五	一乙四	一乙三	一乙二	一乙一	一甲〇	一甲九	一甲八	一甲七
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
一二五	一四四	一二四	一二三	一二三	一二二	一二二	一二一	一二一	一一〇	一一一	一一二	一一三	一二三
三八	八三	三一	七六	二〇	六八	一三	五八	〇六	五一	三九	二四	〇九	九五
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
七七七	七三八	七〇二	六六三	六二四	五八八	五四九	五一一	四七四	四三六	四九七	五五七	六一六	六七七
.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
〇八八	〇八七	〇八七	〇八七	〇八六	〇八六	〇八五	〇八五	〇八五	〇八五	〇八五	〇八六	〇八六	〇八七
松尾兼松	松尾兼松	松尾兼松	松尾兼松	松尾兼松	松尾兼松	松尾兼松	松尾兼松	山谷	山谷	繩爪與兵衛	繩爪與兵衛	繩爪與兵衛	繩爪與兵衛

百六十七

38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	地位
二七三	二七三	二七三	二七三	二七三	二七三	二七三	二七三	二七三	二七三	二七三	二七三	二七三	二七三	地番
一甲六	一甲五	一甲四	一甲三	一甲二	一甲一	一甲〇	一甲九	一甲八	一甲七	一甲六	一甲五	一甲四	一甲三	地番
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	地目
一二四	一二五	一二六	一二七	一二八	一二九	一二九	一三〇	一三一	一三二	一三三	一三三	一三四	一三四	反別及坪數
四八	六六	五一	三六	二二	〇七	九三	七八	六三	四九	三四	三四	二〇	二〇	坪合与
八	八	八	八	八	九	九	九	九	九	九	九	九	九	地價
七一四	七九六	八五六	九一五	九七五	〇三五	〇九五	一五五	二一四	二七四	三三四	三三四	三九四	三九四	金
.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	錢厘
.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	地租
〇八七	〇八八	〇八九	〇八九	〇九〇	〇九〇	〇九一	〇九二	〇九二	〇九三	〇九三	〇九三	〇九四	〇九四	金
繩爪與兵衛	繩爪與兵衛	田中	田中	山谷	山谷	松尾兼松	松尾兼松	來住野源吉	村田豐吉	村田豐吉	西久保幾松	西久保幾松	西久保幾松	所有主氏名

百六十六



等級	地位番	地番	地目	反別	坪數	地價	金	地租	金	所有主氏名
38	275	乙ノ一	地	一、九〇	四〇	一三	三二八	一三三	〇六四	逸見小右衛門
38	275	甲ノ二	地	九一	五九	六	四一一	〇六四	〇八八	逸見小右衛門
38	275	甲ノ一	地	八二八	〇〇	五七	九六〇	五八〇	〇八九	松尾兼松
38	274	丁	地	二八八	七五	二〇	二一三	二〇三	〇八九	松尾兼松
38	274	丙ノ二	地	二、六五九	二七	一八六	一四九	八六一	〇六八	寺井四郎兵衛
38	274	丙ノ一	地	二、九五四	〇二	二〇六	七八一	〇六八	〇四二	寺井四郎兵衛
38	274	乙	地	三、一八〇	〇〇	二二二	六〇〇	二二六	〇四二	寺井四郎兵衛
38	274	甲	地	三、九一七	五三	一、六〇四	二二七	〇四二	〇六〇	小川長之助
38	273	丙	地	二一〇	二五	六	〇二〇	〇六〇	〇八九	松尾兼松
38	273	乙ノ二	地	八六	〇〇	八	八五二	〇八九	〇八九	松尾兼松
38	273	乙ノ一	地	一二六	四五	八	八一九	〇八九	〇八九	松尾兼松

等級	地位番	地番	地目	反別	坪數	地價	金	地租	金	所有主氏名
35	284	甲ノ一	地	一一八	〇八	一一	八〇三	一一八	免租	石田與手松
35	284	甲ノ二	地	二二一	六〇	二二	一六〇	二二三	免租	吉田鶴松
35	283	全	地	九八〇	〇〇	一三四	九五八	三五〇	免租	内山喜助
35	282	全	地	一、三四九	五八	六〇	〇〇〇	六〇〇	免租	中村政吉
35	281	乙	地	七五〇	〇〇	七五	〇〇〇	七五〇	免租	折戸巳三郎
38	280	乙	地	七五〇	〇〇	五二	五〇〇	五二五	免租	佐々木辰之助
38	280	甲	地	三二二	四九	二一	八七四	二一九	免租	佐々木辰之助
38	279	全	地	一、三五〇	〇〇	九四	五〇〇	九四五	免租	速見辨輔
37	278	乙	地	一、三五〇	〇〇	一〇八	〇〇〇	〇八〇	免租	福井フカ
35	277	全	地	五五五	〇〇	二五	七九九	二五八	免租	岡田銀太郎
38	276	全	地	一、五七二	四九	一、二五	七九九	二五八	免租	山田龜吉
38	275	乙ノ二	地	九六二	四〇	六七	三六八	六七四	免租	山田龜吉
38	275	乙ノ一	地	二六八	一一	一八	七六八	一八八	免租	逸見小右衛門



39	37	39	...	...	...	37	38	38	38	38	38		
三〇〇	二九八	二九七	二九六	二九六	二九六	二九五	二九五	二九四	二九四	二九三	二九二	二九〇	
...	...	...	戊	丁	丙	乙	甲	乙	甲	...	...	乙	
全	全	全	宅	全	全	全	官用地	...	...	...	...	...	
九一五	九二五	一〇五七	三六五	九三三	一二二	九四七	二〇八一	七一二	一一一六	七〇四	一五七二	一九〇五	五八八
五六一	七四	三七	一五	九一	四五	二〇	六〇	四三	〇〇	九五	三〇	〇〇	四九
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
...	五五	八四	二一	...	...	...	...	五六	七八	四九	一一〇	一三三	四一
...	五四四	五九〇	一九七	...	...	...	...	九九四	一一〇	三四七	〇六一	三五〇	一九四
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
免租	五五五	八四六	二一九	...	...	...	...	五七〇	七八一	四九三	一〇二	三三四	四一二
岡田銀太郎	濱野興市	武彦七	松尾兼松外一名	監獄署付屬地	監獄署付屬地	監獄署付屬地	監獄署付屬地	公立小學校	龜井惣七郎	山田龜吉	山田龜吉	木村成苗	沖田藤助

百七十一

38	...	...	...	...	35	29	29	35	35	35	地位
二九〇	二八九	二八九	二八八	二八八	二八七	二八六	二八五	二八四	二八四	二八四	番地
甲	乙	甲	丙	乙	甲	...	...	乙	甲	寅甲	番地
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	宅	目反別及坪數
五八八	二六一	九三九	四五〇	四五〇	一三一九	一〇一七	八九五	二五〇	三〇〇	六〇	坪合勻
四一	〇八	二四	〇〇	〇〇	五九	五〇	七四	〇〇	〇〇	〇〇	地價
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	金
四一	...	...	...	...	一三一	二三四	二〇六	二五	三〇	六	圓
一八九	...	...	...	...	九五九	〇二五	〇二〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	錢厘
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	地租
四一二	全	全	全	全	免租	三三〇	三四〇	〇六〇	二五〇	三〇〇	圓
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	錢厘
齋藤定八	佐藤石藏	澤邊藤八	岩佐喜太郎	澤邊藤八	藤田由松	富田由松	富田由松	前多善右衛門	佐藤德太郎	佐藤德太郎	所有主氏名

百七十一















38	38	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	37	37
三六	三五	三四	三三	三二	三一	三〇	三〇	二九	二九	二八	二七	二六	二六
甲	...	...	...	...	...	乙	甲	乙	甲	...	...	丙	乙
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
一、五七五	一、五七五	七五八	九四五	九六〇	七五九	一九	一〇五四	四七四	五〇四	一、三五〇	一、三五〇	四九	四五〇
〇〇	〇〇	六八	〇〇	〇〇	六九	二五	九九	〇〇	二二	〇〇	〇〇	一四	〇〇
一一〇	一一〇	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	三	三六
二五〇	二五〇	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	九三一	〇〇〇
一	一	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
一〇三	一〇三	全	全	全	全	全	全	全	全	全	免租	〇三九	三六〇
富田由松	木村成苗	青木清三郎	青木清三郎	小川泰藏	伊藤松三郎	小川宗吉	小川宗吉	伊藤松三郎	伊藤松三郎	齋藤五平	齋藤五平	坂口仁太郎	坂口久作

百七十七

37	37	37	37	37	38	37	37	37	37	37	37	37	等級地位
二六	二五	二五	二五	二五	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	地番
甲	四	三	二	一	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	地番
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	地目
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	反別及坪數
三〇〇	一六〇	二二七	二二二	二二二	二四二	二五八	三一六	一一七	二五三	二五三	二二二	二二二	坪數
〇〇	九六	二五	四二	〇〇	二四	〇七	二五	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	坪合
二四	一二	一八	一七	一七	一六	二〇	二五	九	二〇	二〇	一六	一六	地價
〇〇〇	八七七	九八〇	七二四	六八〇	九五七	六四六	三〇〇	三六〇	二四〇	二四〇	九九二	九九二	金
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	錢厘
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	地租
二四〇	一二九	一九〇	一七七	一七七	一七〇	二〇六	二五三	〇九四	二〇二	二〇二	一七〇	一七〇	金
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	錢厘
關	紫竹勘次郎	紫竹勘次郎	紫竹勘次郎	紫竹勘次郎	大森町	紫竹勘次郎	紫竹勘次郎	紫竹勘次郎	紫竹勘次郎	紫竹勘次郎	紫竹勘次郎	福田由松	所有主氏名

百七十六







地位等級	地番	地番符號	地目	反別及坪數	地價	金	地租	金	所有主氏名
一	三	...	宅地	三〇〇	...	...	免租	...	富田由松
一	三	...	宅地	三〇〇	...	...	免租	...	吉田ハッ
一	四	...	宅地	三〇〇	...	...	免租	...	本間鹿藏
一	五	甲	宅地	三〇〇	...	...	免租	...	富田由松
一	五	乙	宅地	三〇〇	...	...	免租	...	富田由松
一	六	...	宅地	二八六	...	...	免租	...	富田由松
一	七	...	官用地	三〇一	...	...	免租	...	富田由松
...	...	...	官用地	一、四〇三	...	...	免租	...	小銃射的場
...	...	...	宅地	四四八	...	...	免租	...	鈴木忠吉外五名
...	...	...	官有地	一、五〇〇	...	...	免租	...	陸軍省
...	...	...	官有地	六〇〇	...	...	免租	...	佐藤作太郎
...	...	...	官有地	六〇〇	...	...	免租	...	三上長吉

地位等級	地番	地番符號	地目	反別及坪數	地價	金	地租	金	所有主氏名
全	六	...	...	七〇四	...	...	全	...	杉澤善右衛門
全	二	...	...	四〇一	...	...	全	...	杉澤駒五郎
全	三	...	...	七二七	...	...	全	...	有本巳之助
全	四	...	...	一、一八四	...	...	全	...	木村兵作
全	四	...	...	一、二三〇	...	...	全	...	和田兼吉



若松町

町  
松  
若  
町



18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	地位等級
一〇	九	八	七	六	五	四	四	四	三	二	一	地番
...	...	...	...	...	...	乙	甲	甲	...	...	...	地番符號
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	宅	地目
											地	反別及坪數
一四六	六一一	一四〇	二八三	一三六	一六五	一六五	八	一六〇	七四	四九二	一六〇	坪數
三二	二〇	五九	二七	八七	二九	九二	四二	八三	一四	七〇	七八	坪數
												地價
一八二	七六四	一七五	三五四	一七一	二〇六	二〇七	一〇	二〇一	九二	六一五	二〇〇	圓
九〇〇	〇〇〇	七三八	〇八八	〇八八	六一三	四〇〇	五二五	〇三八	六七五	八七五	九七五	錢厘
							...		...			地租
一	七	一	三	一	二	二	...	二	...	六	二	圓
八二九	六四〇	七五七	五四一	七二一	〇六六	〇七四	一〇五	〇一〇	九二七	一五九	〇一〇	錢厘
佐野定七	龜井惣十郎	石川啓吉	杉村富太郎	安達マキ	徳田要助	梅内石松	梅内久次郎	工藤キヲ	明石キヌ	寺井四郎兵衛	佐々木長次郎	所有主氏名



21	21	21	21	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
三四	三三	三二	三一	三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
一七六	一八三	三〇〇	三一〇	二一五	二七一	一五八	一四九	一四八	一五九	一四九	一四七	一四六	一四四
〇三	七九	六六	三七	七二	一一	一三	九一	四〇	三六	七一	九九	二七	五六
一四〇	一四七	二四〇	二四八	二〇四	二五七	一五〇	一四二	一四〇	一五一	一四二	一四〇	一三八	一三七
八一六	〇三二	五二八	二九六	九三四	五六四	二二四	四一五	九八〇	三九二	二二五	五九一	九五七	三三二
一	一	二	二	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一
四〇八	四七〇	四〇五	四八三	〇四九	五七六	五〇二	四二四	四一〇	五一四	四二二	四〇六	三九〇	三七三
藤浪源六	藤浪源六	杉浦嘉七	川内庄三郎	菊地治郎右衛門	角鹿宗兵衛	増田夕九	下條九平太	小野ト七	竟又四郎	徳田要助	佐藤三次郎	秋南長太郎	金澤彦作

20	20	20	19	19	19	19	19	19	19	18	18	等級地
二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一五	一四	一三	一二	一一	一一	地番
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	地番
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	地目
一九	九四	一〇三	一四〇	一三六	八五	五五	一三八	一三六	一二六	七九	七八	反別及坪數
四二	三六	〇六	九七	二八	一〇	三〇	八八	四三	七九	八七	八八	坪合与
一三	八九	九七	一五五	一四九	九三	六〇	一五二	一五〇	一三九	九九	九八	地價
四四九	六四二	九〇七	〇六七	九〇八	六一〇	八三〇	七六八	〇七三	四六九	八三八	六〇〇	金
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	地租
一三四	八九六	九七九	五五一	四九九	九三六	六〇八	五二八	五〇一	三九五	九九八	九八六	金
木村彌兵衛	笹村新吉	四ツ柳龜太郎	折笠キセ	福田由松	本間俊太郎	木村イト	泉藤兵衛	三浦安太郎	佐々木徳松	宮川セノ	下條九平太	所有主氏名



等級	地位	地番	地号	地目	反別及坪數	坪合与	地價	金	地租	金	所有主氏名
							圓	錢厘	圓	錢厘	
24	23	23	23	23	23	23	22	22	22	22	21
四五	四四	四三	四二	四二	四一	四〇	三九	三八	三七	三六	三五
全	全	全	乙	甲	全	全	全	全	全	全	宅
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	地
一七六	一七七	一八四	一三六	一一四	一八五	一九〇	一八二	一八八	一九三	一二一	一九八
〇三	七七	七五	五六	八七	〇三	七九	二八	六六	三八	七三	七九
七九	八八	九二	六八	五七	九二	九五	一一八	一二二	一二五	七九	一五九
二一四	八八五	三七五	二八〇	四三五	五一〇	三九五	四八二	六二九	六九七	一二五	一九二
七九二	八八九	九二四	六八三	五七四	九二五	九五四	一八五	二二六	二五七	七九一	五九二
官野宇一郎	布施多助	木村市太郎	折笠十力	中野	泉藤兵衛	本間	立林長八	吉田萬助	官野宇一郎	西町徳松	米谷與兵衛

等級	地位	地番	地号	地目	反別及坪數	坪合与	地價	金	地租	金	所有主氏名		
							圓	錢厘	圓	錢厘			
24	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	24		
五九	五八	五七	五六	五五	五四	五三	五二	五一	五〇	四九	四八		
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全		
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全		
二六八	一三三	一五四	一四三	一五〇	一六一	一六二	一六一	一六四	一六九	一七一	一七三		
五二	一七	〇七	八六	八七	六五	六八	一九	一一	八七	一一	七五		
一二〇	四九	六一	五七	六〇	六四	六五	六四	六四	七三	七六	七八		
八三四	二六八	六二八	五四四	三四八	六六〇	〇七二	〇七六	四四八	九九四	四四二	一八八		
二〇八	四九三	六一六	五七五	六〇三	六四七	六五一	六四一	六四四	七四〇	七六四	七八二		
坪田源次郎	石館兵右衛門	佐々木喜八	川崎兼吉	徳田要助	萬谷徳三郎	平田新三郎	相馬哲平	岡田勇作	井ノ川傳右衛門	相馬哲平	池田孫十郎	木村彌兵衛	佐藤幾右衛門



等級	地位	地番	地号	地目	反別	坪數	坪合	地價	金	地租	金	所有主氏名
27	27	27	27	27	29	29	29	29	29	24	24	
六四	六四	六四	六四	六三	六三	六三	六二	六二	六一	六〇		
甲	甲	甲	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙		
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	宅	地	
二〇〇	一九八	一九八	一九八	一九八	五八	一三三	二一六	六八	一五二	一六二	一一五	
三〇	一二	一二	一二	一二	五六	二二	二九	〇八	九〇	八八	九一	
六〇	五九	五九	五九	五九	一三	三〇	四九	一五	三四	七三	五二	
〇九〇	四三六	四三六	四三六	四三六	四六九	四一三	七四七	六五八	九三七	二九六	一六〇	
六〇	五九四	五九四	五九四	五九四	一三五	三〇四	四九七	一五七	三四九	七三三	五二二	
森川由松	森川由松	森川由松	森川由松	森川由松	飯田信三	金森イト	立山昌邦	石井亮	金子才	高木忠藏	佐々木小八	

等級	地位	地番	地号	地目	反別	坪數	坪合	地價	金	地租	金	所有主氏名	
21	21	21	22	22	22	23	23	23	23	27	27	27	
七五	七四	七三	七二	七一	七〇	六九	六八	六七	六六	六五	六四		
乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙			
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全		
九七	一二三	九八	二〇八	七一	一二八	三〇〇	二九九	一七八	二二〇	二二一	四五二		
二四	〇七	五九	八九	五七	四三	五一	四六	三五	七〇	四八	九六		
七七	九八	七八	一三五	四六	八三	一九五	一四九	八九	一〇五	一〇五	一三五		
七九二	四五六	八七二	七七九	五二一	四八〇	三三二	七三〇	一七五	三五〇	七四〇	八八八		
七七八	九八五	七八九	三五八	四六五	八三五	九五三	四九七	八九二	〇五四	〇五七	六六四		
增川勇藏	加藤慶次郎	井上サ夕	池田未吉	敦賀モト	敦賀サト	和田元右衛門	渡邊藏之助	三ッ谷鉄造	辻嘉吉	木村市太郎	立林長八	立林長八	布施多助



18	18	18	18	19	19	19	19	19	19	19	20	20	20
一〇〇	九九	九八	九八	九七	二六	九五	九四	九三	九二	九一	九〇	八九	八八
...	...	乙	甲	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
九七	一〇六	六八	五一	一〇五	九二	九五	九〇	八九	九〇	九一	一一〇	九〇	九五
四七	六八	二八	一九三	一一〇	一〇	五八	四四	七六	〇四	五三	四一	八四	〇六
一一一	一三三	八五	六四	一一五	一〇一	一〇五	九九	九八	九九	一〇〇	一一四	八六	九〇
八三八	三五〇	三五〇	九〇〇	七三一	三二〇	一三八	四八四	七三六	〇四四	六八三	三九〇	二九八	三〇七
一	一	...	...	一	一	一	...	...	...	一	一	...	...
二一八	三三四	八五四	六四七	一五七	〇一三	〇五一	九九五	九八七	九九〇	〇〇七	一四四	八六三	九〇三
木村市太郎	井村峯次郎	杉村佐左衛門	前田啓次郎	寺崎宗七	濱岡源助	濱岡源助	橋谷甚右衛門	逸見小右衛門	辻嘉吉	川崎喜左衛門	金澤彦作	脇坂平吉	松永米吉

百九十一

20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	21	21	21	等級位
八七	八六	八五	八四	八三	八二	八一	八〇	七九	七八	七七	七六	七六	地番
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	地番
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	地目
九一	九一	九七	九一	九二	九一	一〇〇	九八	九二	九〇	九五	九一	九一	反別及坪數
九七	六九	四七	九七	三八	〇〇	三四	三六	二五	四五	六二	四四	四四	坪合与
八七	八七	九二	八七	八七	八六	九五	九三	八七	七二	七六	七三	七三	地價
三三二	一〇六	五九七	三七二	七六一	四五〇	三二三	四四二	六三八	三六〇	四九六	一五二	一五二	金
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	錢厘
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	地租
八七四	八七一	九二六	八七四	八七八	八六五	九五三	九三四	八七六	七二四	七六五	七三二	七三二	金
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	錢厘
時松三郎	楠崎政吉	鍋田爲造	木谷キヲ	池田六右衛門	四ッ柳龜太郎	角鹿宗兵衛	金澤彦作	内山利兵衛	渡邊熊四郎	荻野市兵衛	川崎喜左衛門	川崎喜左衛門	所有主氏名

百九十



	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
	一一七	一一六	一一五	一一五	一一五	一一五	一一五	一一四	一一三	一一二	一一二	一一二
	...	...	戊	丁	丙	乙	甲	...	...	丙	乙	乙
	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
	八八一	九二四	七〇三	九七九	九〇四	一〇二〇	四一八	五〇〇	一〇一九	一二七	五四九	一〇四
	八七	六九	八九	五六	二三	四三	七三	〇〇	五一	二七	一八	一〇
	八三七	八七八	六六八	九三〇	八五九	九六九	三九七	四七五	九六八	一二〇	五二一	九八
	七七七	四五六	六九六	五八二	〇一九	四〇九	七九四	〇〇〇	五三五	九〇七	七二一	八九五
	八	八	六	九	八	九	三	四	九	一	五	...
	三七八	七八五	六八七	三〇六	五九〇	六九四	九七八	七五〇	六八五	二〇九	二一七	九八九
	相馬哲平	相馬哲平	梅内石松	佐野定七	服部半左衛門	藤野四郎兵衛	金澤彦作	村田ト	三浦ト	佐々木長次郎	岡田銀太郎	木村市太郎

	20	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	等級地位
	一一二	一一一	一一〇	一〇九	一〇八	一〇七	一〇六	一〇五	一〇四	一〇三	一〇二	一〇一	一〇一	地番
	甲	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	地番
	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	宅	地目
	六六	三四五	八二	一四一	一四〇	七八	八九	九〇	九二	九四	九五	一三一	一三一	反別及坪數
	九〇	一三	一一	四一	六二	四九	六五	八七	一七	三七	七六	三六	三六	坪合勺
	六三	四三一	一〇二	一七六	一七五	九八	一一二	一一三	一一五	一一七	一一九	一六四	一六四	地價
	五五五	四一三	六三八	七六三	七七五	一一三	〇六三	五八八	二二三	九六三	七〇〇	二〇〇	二〇〇	金圓
	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	地租
	...	四	一	一	一	...	一	一	一	一	一	一	一	圓
	六三六	三二四	〇二六	七六八	七五八	九八一	一一一	一三六	一五三	一八〇	一九七	六四二	六四二	金圓
	角鹿宗兵衛	能戸キヨ	相原カ	木下善一郎	村田マサ	渡邊定藏	脇坂平吉	伊藤又市	酒井寅太郎	二本柳庄三郎	金澤龜次郎	二森藤松	二森藤松	所有主氏名



海岸町



27	27	27	27	27	27	27	27	26	26	26	26	地位等級
一	一〇	九	八	七	六	五	四	三	三	二	一	地番
...	...	...	...	...	...	...	...	乙	甲	...	...	地番
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	宅	地目
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	反別及坪數
一八一	一八一	二二三	一八一	一八一	三七六	一九四	一九四	四、五六一	五五八	六九九	五六〇	坪數
四四	四四	三八	四四	四四	一八	七四	七四	八七	〇九	三六	六四	坪合
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	地價
五四	五四	六七	五四	五四	一一二	五八	五八	一、五九六	一九五	二四四	一九六	圓
四三二	四三二	〇一四	四三三	四三三	八五四	四二二	四二二	六五五	三三二	七七六	二二四	錢厘
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	地租
...	...	...	...	...	一	...	...	一五	一	二	一	圓
五四四	五四四	六七〇	五四四	五四四	一二九	五八四	五八四	九六七	九五三	四四八	九六二	錢厘
龜井三郎	森川由松	工藤彌兵衛	金森イト	宮石マシ	高谷重助	筒井又右衛門	吉村文右衛門	佐野定七	佐野定七	佐野定七	佐野定七	所有主氏名



32	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	29	29	29
三五	三四	三三	三二	三一	三〇	二九	二八	二八	二七	二六	二五	二四	二三
...	...	...	...	...	...	...	乙	甲	...	...	...	...	...
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
一〇二	一九一四	一八一	一八一	一八一	一八一	三六二	九〇	九〇	一八一	一八五	一八一	一八一	五五八
〇六	五八	四四	四四	四四	四四	八八	七二	七二	四四	七六	四四	四四	〇九
一六	四〇二	三八	三八	三八	三八	七六	一九	一九	三八	三九	四一	四一	一一八
三三〇	〇六二	一〇二	一〇二	一〇二	一〇二	二〇五	〇五一	〇五一	一〇二	〇一〇	七三一	七三一	三六一
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
一六三	〇二一	三八一	三八一	三八一	三八一	七六二	一九一	一九一	三八一	三九〇	四一七	四一七	二八四
中川源左衛門	今井市右衛門	村田熊藏	四ッ柳龜太郎	相馬哲平	能中シケ	小川幸兵衛	加藤慶次郎	加藤慶次郎	岡田勇作	四ッ柳龜太郎	渡邊藏之助	能登ッタ	龜井惣吉

百九十七

29	29	29	29	28	28	28	28	28	27	27	27
二二	二二	二二	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二
...	乙	甲	...	...	...	...	...	...	...	...	...
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	宅
一八一	三九	一四二	一八一	一九五	二九三	五五八	一八一	一八一	一八一	一八一	一八一
四四	〇〇	五〇	四四	〇八	五一	〇九	四四	四四	四四	四四	四四
四一	...	三二	四一	四八	七三	一三九	四五	四五	五四	五四	五四
七三一	...	七七五	七三一	七七〇	三七八	五二三	三六〇	三六〇	四三二	四三二	四三二
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
四一七	...	三二八	四一七	四八八	七三四	三九五	四五四	四五四	五四四	五四四	一七〇
井上	佐藤三左衛門	佐藤三左衛門	工藤嘉兵衛	田中金次郎	深瀬洋春	明石正三郎	藤井辰藏	山田由松	小島豊吉	釣谷又右衛門	松代孫兵衛

百九十六

所有主氏名



26	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
五一	五〇	五〇	四九	四八	四八	四七	四七	四六	四六	四五	四五	四四	四四
...	二	一	...	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
七二	一一〇	一八六	一六六	四四	九三	二一	六四	七一	一六七	四一	一六九	二一	八五
〇〇	二五	四八	三〇	六二	四一	〇〇	五六	五五	六二	〇〇	八八	九六	一一
二五	四四	七四	六六	一七	三七	八	二五	二八	六七	一六	六七	八	三四
二〇〇	一〇〇	五九二	五二〇	八四八	三六四	四〇〇	八二四	六二〇	〇四八	四〇〇	九五二	七八四	〇四四
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
二五二	四四一	七四六	六六五	一七八	三七四	〇八四	二五八	二八六	六七〇	一六四	六八〇	〇八八	三四〇
田畑房太郎	田畑房太郎	田畑房太郎	德田要助	田原源藏	田原源藏	吉村龜太郎	吉村龜太郎	相馬藤右衛門	相馬藤右衛門	佐野定七	佐野定七	田畑房太郎	田畑房太郎

百九十九

26	27	28	30	34	34	35	35	33	33	31	31	地位
四三	四二	四一	四〇	三九	三九	三八	三八	三七	三七	三六	三六	地番
...	...	...	...	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	地番
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	宅	地目
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	反別及坪數
一〇四	七四	六三	六四	三五〇	八〇	一〇五	六七	一八九	一二二	二九一	二五八	坪合与
〇〇	八〇	八三	七〇	一六	五五	二六	八三	九二	七二	一三	七二	坪合与
三六	二二	一五	一三	四二	九	一〇	六	二六	一七	五五	四九	地價
四〇〇	四四〇	九五八	五八七	〇一九	六六六	五二六	七八三	五八九	一八一	三一五	一五七	金
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	地租
三六四	二二四	一六〇	一三六	四二〇	〇九七	一〇五	〇六八	二六六	一七二	五五三	四九二	金
濱田藤五郎	反保圓平	反保圓平	反保圓平	佐野ノ	佐野ノ	佐野ノ	菊本エ	菊本エ	菊本エ	今井市右衛門	今井市右衛門	所有主氏名

百九十八



29	29	29	35	29	29	29	29	29	29	29	29	29	31
七二	七一	七〇	六九	六八	六七	六六	六五	六四	六三	六二	六一	六〇	
乙	乙	乙	乙	乙	乙	乙	乙	乙	乙	乙	乙	乙	
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	
一九二	一九二	一〇三	二四、四三二	一〇三	一九二	一九二	三三九	五九八	一四九	二四〇	二四〇	二五三	八七〇
五〇	五〇	七八	八五	七八	五〇	五〇	一五	〇四	四七	〇〇	〇〇	〇七	五九
四四	四四	二三	二、四四三	二三	四四	四四	七八	一三七	三四	五五	五五	五八	一六五
二七五	二七五	八六九	二八五	八六九	二七五	二七五	〇〇五	五四九	三七八	二〇〇	二〇〇	二〇六	四一二
四四三	四四三	二二九	四三三	二二九	四四三	四四三	七八〇	三七五	三四四	五五二	五五二	五八二	六五四
菊地治郎右衛門	今井市右衛門	北海道共同競馬會社	北海道共同競馬會社	木下善一郎	梶文藏	佐野定七	上林藤右衛門	佐藤彦左衛門	岩船峯次郎	菊地治郎右衛門	菊地治郎右衛門	入山要助	

31	31	31	31	29	28	25	25	25	25	25	25
六〇	五九	五八	五七	五六	五五	五四	五四	五四	五三	五二	
甲	乙	乙	乙	乙	丙	乙	乙	甲	乙	乙	
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	宅	
二一〇	二、六九一	六四二	五四二	一、二一八	五六〇	一一四	二〇〇	五二九	一一〇	三七〇	一六九
〇〇	〇六	一四	九九	八八	一一	五三	〇〇	八六	〇〇	八九	六二
三九	五一	一二	一〇三	二八〇	一四〇	四九	八〇	二二一	四八	一四八	六七
九〇〇	三〇一	〇〇七	一六八	三四二	〇二八	八一	〇〇〇	九四四	〇〇〇	三五六	八四八
三九	一一三	二二〇	〇三二	八〇三	四〇〇	四九八	八〇〇	一一九	四八〇	四八四	六七八
大越鉄五郎	逸見小右衛門	反保圓平	新田太平	恒吉勝重	佐野定七	加藤善三郎	佐藤藏之助	佐藤藏之助	濱田藤五郎	佐々木定吉	徳田要助



27	27	27	27	27	28	28	28	28	28	28	28	28	28
九八	九七	九六	九五	九四	九三	九二	九一	九〇	八九	八八	八七	八六	八五
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
一九四	一九四	一九四	一九四	一九四	一九四	一九四	一九四	一一七	一九四	一九四	一九四	一九四	一九四
六三	六三	六三	六三	六三	六三	六三	六三	九八	六三	六三	六三	六三	六三
五八	五八	五八	五八	五八	四八	四八	四八	二九	四八	四八	四八	四八	四八
三八九	三八九	三八九	三八九	三八九	六五八	六五八	六五八	四九五	六五八	六五八	六五八	六五八	六五八
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
五八四	五八四	五八四	五八四	五八四	四八七	四八七	四八七	二九五	四八七	四八七	四八七	四八七	四八七
網塚忠兵衛	小島豊吉	品川駒之助	逸見小右衛門	西村利光	佐野定七	小川幸兵衛	今井富三郎	杉浦嘉七	荒木藤八	荒木三ツ井	今井市右衛門	能藤ツタ	小野タカ

35	28	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	地位等級
八四	八三	八二	八一	八〇	七九	七八	七七	七六	七五	七四	七三	...	...	地番
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	地番
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	...	...	地目
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	反別及坪數
三七八五	三〇〇	一九五	一九五	一九五	一九五	一九五	一九五	一九五	一五〇	一九二	一九二	...	...	坪合
〇三	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	五〇	五〇	...	...	數
三七八	七五	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	三四	四四	四四	...	...	地價
五〇三	〇〇	八五〇	八五〇	八五〇	八五〇	八五〇	八五〇	八五〇	五〇〇	二七五	二七五	...	...	金
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	地租
三	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	圓
七八五	七五〇	四四九	四四九	四四九	四四九	四四九	四四九	四四九	三四五	四四三	四四三	...	...	金
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	所有主氏名
北海道共同競馬會社	山崎清吉	山崎清吉	今井市右衛門	種田直右衛門	相馬哲平	筑前善次郎	筑前善次郎	中根庄藏	今井市右衛門	小川幸兵衛	小野ソノ	...	...	...



地位等級	地番	地番符號	地目	反別及坪數	地價	金	地租	金	所有主氏名
27	一〇九	全	宅地	一九四	五八	三八九	五八	五八四	木下榮作
27	一〇八	全	宅地	一九四	五八	三八九	五八	五八四	渡邊熊四郎
27	一〇七	全	宅地	一九四	五八	三八九	五八	五八四	山田由松
27	一〇六	全	宅地	一九四	五八	三八九	五八	五八四	今井市右衛門
27	一〇五	全	宅地	一九四	五八	三八九	五八	五八四	大越鉄五郎
27	一〇四	全	宅地	一九四	五八	三八九	五八	五八四	大越鉄五郎
27	一〇三	全	宅地	一九四	五八	三八九	五八	五八四	小川幸兵衛
27	一〇二	全	宅地	一九四	五八	三八九	五八	五八四	三谷傳助
27	一〇一	全	宅地	一九四	五八	三八九	五八	五八四	渡邊熊四郎
27	一〇〇	全	宅地	一九四	五八	三八九	五八	五八四	高谷重助
27	九九	宅	宅地	一九四	五八	三八九	五八	五八四	渡邊長藏
27	九九	宅	宅地	一九四	五八	三八九	五八	五八四	山本七ノ

地位等級	地番	地番符號	地目	反別及坪數	地價	金	地租	金	所有主氏名
25	一一九	全	宅地	一九四	五八	三八九	五八	五八四	船水米吉
25	一一八	全	宅地	一九四	五八	三八九	五八	五八四	金森イト
25	一一七	全	宅地	一九四	五八	三八九	五八	五八四	近藤嘉助
26	一一六	全	宅地	一九四	五八	三八九	五八	五八四	工藤嘉兵衛
26	一一五	全	宅地	一九四	五八	三八九	五八	五八四	林彦兵衛
26	一一四	全	宅地	一九四	五八	三八九	五八	五八四	池田喜平
26	一一三	全	宅地	一九四	五八	三八九	五八	五八四	吉村文右衛門
26	一一二	全	宅地	一九四	五八	三八九	五八	五八四	龜井惣吉
26	一一一	全	宅地	一九四	五八	三八九	五八	五八四	金森イト
27	一一〇	全	宅地	一九四	五八	三八九	五八	五八四	金森イト



大繩町



地位等級	地番	地目	反別及坪數	地價	地租	所有主氏名
39	一甲	宅地	九三〇 一一	五五 八〇七	一	千葉重吉
39	一乙	宅地	四七六 〇八	二八 五六五	一	千葉重吉
39	二	宅地	三二七 八八	一九六 七三三	一	千葉重吉
39	三	宅地	二、一八六 八五	一三一 二一一	一	川崎 二
39	四	宅地	五三三 三一	三一 九九九	一	東出長四郎
39	五	宅地	一、六六二 六九	九九 七六一	一	川崎 二
39	六	宅地	一、六六五 〇〇	九九 九〇〇	一	岩佐喜太郎
40	七	宅地	一、八七三 二一	九三 六六一	一	杉浦嘉七
39	八	宅地	一、八七五 〇〇	一二二 五〇〇	一	岩佐喜太郎
39	九甲	宅地	三二〇 七八	一九 二四七	一	川上西松
39	九乙	宅地	六三五 七二	三八 一四三	一	岩佐喜太郎
40	一〇	宅地	一、五〇五 四九	七五 二七五	一	千葉重吉



39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39
一九七	一九六	一九五	一九四	一九三	一九二	一九一	一八乙	一八甲四宅	一八甲三水道用地	一八甲二宅	一八甲一宅	一七丙
全	全	全	全	全	全	全	宅地	川敷地	水道用地	宅地	宅地	宅地
六二八	五五五	五四二	五二六	五〇九	四九六	四八三	八、五九四	一、二五	五、八七一	一、五六	五、五三	五、八〇
三二	二一	一九	三三	六八	八〇	〇〇	四六	三二	六九	五六	六七	五六
三七	三三	三三	三一	三〇	二九	二八	五、一五	三、五二	三、九	三、七	三、四	三、四
六九九	三三三	五三一	五八〇	五八一	八〇八	九八〇	六六八	三〇一	二、二四	二、四〇	八、三四	八、三四
三七七	三三三	三二五	三一六	三〇六	二九八	二九〇	一、五七	五、二三	免租	三、九二	三、七二	三、四八
木島豐治	木島豐治	木島豐治	木島豐治	木島豐治	木島豐治	木島豐治	和田元右衛門	佐野定七	函館區	佐野定七	高森忠藏	相馬哲平

39	40	39	39	36	39	39	39	40	40	40	等級地位	
一七乙	一七甲	一六	一五乙	一五甲	一四乙	一四甲	一三	一二	一〇丙	一〇乙	地番	
水道用地	全	全	全	全	全	全	全	全	全	宅地	地番	
一〇一	六、八一五	二、九六一	一、〇四二	一、七九五	三、五九	二、六二一	二、六九九	二、〇九三	三、二七六	八、五五	目反別及坪數	
五六	四六	四一	三三	二六	〇二	八九	〇四	五四	〇三	〇〇	坪合与	
四〇八	一四八	六二	一〇七	二一	一五七	一六一	一二五	一六三	四二	二一	地價	
九二八	〇七一	五四〇	七二六	五四一	三三三	九四二	六一二	八〇三	七五〇	〇〇〇	金	
四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	地租	
免租	〇八九	四八一	六二五	〇七七	二一五	五七三	六一九	二五六	六三八	四二八	金	
函館區	相馬哲平	相馬哲平	北海道共同競馬會社	相馬哲平	相馬哲平	北海道共同競馬會社	北海道共同競馬會社	北海道共同競馬會社	相馬哲平	千葉重吉	今井富三郎	所有主氏名



													39	39	39
													二〇	二〇	一九
													乙	甲	...
													全	全	全
													五、二四六	四、九四五	四八九
													四八	一九	六〇
													三一四	二九六	二九
													七八九	七一一	三七六
													三	二	...
													一四八	九六七	二九四
													山崎清吉	石坂嘉藏	木島豐治

39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	等級地位
一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	地番
一九全	一八全	一七全	一六全	一五全	一四全	一三全	一二全	一一全	一〇全	九全	八宅	地	目	反別及坪數	坪合勻	地價
五〇三	五一六	五三四	五四八	五六四	六三九	六五四	六七五	一、五九〇	七七一	六六六	六四五	六六	三〇	四	三	圓
三〇	三〇	三三	三三	三三	三八	三九	四〇	九五	四六	三九	三八	七四〇	...	...	...	錢
一八二	九八九	〇七七	八八七	八七二	三四〇	二九九	五一〇	四一八	二七八	九七五	...	...	...	...	...	厘
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	地租
三〇二	三一〇	三三一	三二九	三三九	三八三	三九三	四〇五	九五四	四六三	四〇〇	三八七	...	...	...	...	錢
木島豐治	木島豐治	木島豐治	木島豐治	木島豐治	木島豐治	木島豐治	木島豐治	木島豐治	木島豐治	木島豐治	木島豐治	木島豐治	...	...	...	所有主氏名



音羽町



地位等級	地番	地符	地目	反別及坪數	地價	地租	所有主氏名
27	七	...	全	六七	二〇	二九二	佐賀貞右衛門
27	六	...	全	六七	二〇	二九五	佐賀貞右衛門
27	五	乙	全	三〇七	...	...	佐々木文治
27	五	甲	全	一二二	三六	三六七	三ッ谷傳助
26	四	乙	全	五	一	〇一九	佐野定七
26	四	甲	全	八三	二九	二九三	佐野定七
26	三	乙	全	一五	五	〇五四	安藤十ヨ
26	三	甲	全	八三	二九	二九四	安藤十ヨ
26	二	乙	全	二四	八	〇八四	山田金兵衛
26	二	甲	全	八七	三〇	三〇七	山田金兵衛
26	一	乙	全	三二	一一	一一三	佐々木アサ
26	一	甲	宅地	八二	二九	二九〇	佐々木アサ



31	31	31	31	31	30	29	29	29	29	29	29	29	29
二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
八六	七五	一三六	一三六	八一	三四二	一二七	四二〇	七八	一六二	八三	八四	七二	七一
六六	一八	九四	四二	四一	五九	二二	六八	五四	三三	四三	五一	〇七	七六
一六	一四	二六	二五	一五	七一	二九	九六	一八	三七	一九	一九	一六	一六
四六五	二八四	〇一九	九二〇	四六八	九四四	二六一	七五六	〇六四	三三六	一八九	四三七	三四六	五〇五
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
一六五	一四三	二六〇	二五九	一五五	七一九	二九三	九六八	一八一	三七三	一九二	一九四	一六三	一六五
脇坂平吉	萩野市兵衛	村田マサ	木下善一郎	相原カ	能戸キヨ	佐野定七	相馬哲平	山田金太郎	佐野定七	修理新三郎	山田竹次郎	山田藤五郎	深瀬洋春

28	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27
一四	一三	一三	一三	一三	一三	一〇	一〇	九	九	八	八	八	八
...	乙	甲	...	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	宅
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	地
五二八	二五	二六	五四	...	八三	...	九三	...	一二二	...	一二六	...	...
二九	九三	三二	三二	...	三五	...	七八	...	二四	...	四九	...	...
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
二九	七	七	一六	...	二五	...	二八	...	三六	...	三七	...	...
五七三	七七九	八九六	二九六	...	〇六九	...	一五六	...	一三四	...	三七二	...	...
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
二九六	〇七八	〇七九	一六三	...	〇〇一	...	二五〇	...	〇〇二	...	二八一	...	...
村田マサ	近藤嘉助	近藤嘉助	西村ナヲ	藤村イソ	藤村イソ	伊勢ハル	伊勢ハル	梅内久次郎	梅内久次郎	能中シケ	能中シケ	...	...



34	34	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33
五一	五〇	四九	四八	四七	四六	四五	四四	四三	四二	四一	四〇	三九	三八
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	乙
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
八三	八三	八七	八二	八三	八六	八三	五三	八六	八六	八八	八九	九五	...
八一	五三	〇八	八八	四四	〇七	二五	七七	四五	八〇	八八	六〇	六三	八九
一〇	一〇	一一	一一	一一	一一	七	一一	一一	一一	一一	一一	一一	...
〇五七	〇二四	一九一	六〇三	六八二	〇五〇	六五五	五二八	一〇三	一五二	四四三	五四四	三五〇	一一五
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
一〇一	一〇〇	一一三	一一六	一一七	一一二	〇七五	一一二	一一二	一一四	一一五	一一四	一一三	〇〇一
濱岡源助	木谷イト	鍋田爲藏	塩崎政吉	時金次郎	東出安右衛門	脇坂平吉	金澤彦作	川崎喜左衛門	辻嘉吉	逸見小右衛門	橋谷甚右衛門	濱岡源助	濱岡源助

32	32	32	32	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31
三三	三七	三七	三六	三五	三四	三四	三三	三二	三一	三〇	二九	...	...
丙	乙	甲	...	...	乙	甲	...	...	...	...	...	...	...
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	宅
九三	三	一〇八	一一七	一一一	三九	五六	六五	九二	九六	九一	九一	...	...
〇三	二二	〇四	九二	四五	〇〇	九〇	五九	四〇	〇〇	二〇	二〇	...	...
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
一三	...	一七	一八	二一	七	一〇	一一	一七	一八	一七	一七	...	...
〇二四	...	二八六	八六七	一七六	四一〇	八一	四六二	五五六	二四〇	三二八	三二八	...	...
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
一三〇	〇〇五	一七三	一八九	二二二	〇七四	一〇八	一二五	一七六	一八二	一七三	一七三	...	...
濱岡源助	坂本善四郎	坂本善四郎	杉村喜代吉	井村峯次郎	木村市太郎	木村市太郎	二森トキ	倉谷六太郎	二本柳庄三郎	酒井寅太郎	伊藤又市	...	...

所有主氏名



30	30	30	31	32	32	35	35	32	32	32	32	32	32
六六	六六	六六	六五	六四	六四	六三	六三	六二	六二	六二	六二	六二	六二
乙	甲	...	乙	甲	乙	甲	辛	庚	己	戊	丁	丙	...
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
五〇八	一七	三〇四	四七	一〇四八	四九一	一〇二	一〇八一	三七	五七	五四	六五	九四	五九
四〇	九六	五六	六六	五九	一七	〇〇	二二	四〇	八〇	七一	五二	二六	〇四
一〇六	三	六三	九	一六七	七八	一〇	一〇八	五	九	八	一〇	一五	九
七六四	七七二	九五八	〇五五	七七四	五八七	二〇〇	一一一	九八四	二四八	七五四	四八三	〇八二	四四六
一	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
〇六八	〇三八	六四〇	〇九一	六七八	七八六	一〇二	〇八一	〇六〇	〇九二	〇八八	一〇五	一五一	〇九四
小川長之助	木下善一郎	木下善一郎	柏木松藏	杉浦嘉七	泉藤兵衛	北山彦物	北山文作	葛西寅吉	佐々木仙松	平田新三郎	平田新三郎	平田新三郎	木村市太郎

32	32	32	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	等級地位
六二	六二	六一	六〇	五九	五八	五七	五六	五五	五四	五三	五二	...	...	地番
乙	甲	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	地番
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	宅	地目
六八	一七八	一〇〇	一一八	九七	九二	九四	八七	八七	八五	九二	八一	...	...	反別及坪數
六八	七八	七六	二六	一八	一三	五四	七五	四〇	五〇	一八	六八	...	...	坪合与
一〇	二八	一四	一四	一一	一一	一一	一〇	一〇	一〇	一一	九	...	...	地價
九八九	六〇五	一〇六	一九一	六六二	〇五六	三四五	五三〇	四八八	二六〇	〇六二	八〇二	...	...	金
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	地租
一一〇	二八六	一四二	一四二	一一七	一一一	一一三	一〇五	一〇五	一〇三	一一一	〇九八	...	...	金
木村市太郎	清水政次郎	井上廿夕	加藤慶次郎	增川勇作	川崎東右衛門	荻野市兵衛	渡邊熊四郎	内山利兵衛	金澤彦作	角鹿宗兵衛	高橋理助	...	...	所有主氏名



29	26	27	27	27	27	27	27	27	28	28	29	29
八五	八四	八三	八二	八一	八一	八〇	七九	七八	七七	七六	七五	七五
乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	丙
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
五九	八六	一二九	一三八	六八	六八	一二〇	九二	八〇	九六	一三六	一三三	一二七
〇二	四一	〇六	四〇	九七	九七	四一	九三	〇八	〇八	一七四	二二	八〇
二〇	三〇	三八	四一	二〇	二〇	三六	二七	二四	二八	八一	三〇	二九
六五七	二四四	七七八	五二〇	六九一	六九一	一一三	八七九	〇二四	八二四	四三五	六四三	三九四
二〇七	三〇二	三八七	四一五	二〇七	二〇七	三六一	二七九	二四〇	二八八	〇〇四	八一六	三〇六
安藤	筒井	佐賀	逸見	石	石	岡田	池田	龜井	中田	村田	杉浦	杉浦
藤十	又右衛門	貞右衛門	小右衛門	澤岩	澤岩	福太郎	田直二	井三郎	田	田	嘉七	嘉七

29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	等級位
七五	七五	七四	七三	七二	七一	七一	七〇	六九	六九	六八	六八	六八	地番
乙	甲	乙	乙	乙	甲	甲	乙	乙	甲	乙	甲	甲	地番
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	宅	地目
一三六	一二四	九六	一一三	九六	五	八九	九三	一	八八	八七	八七	八七	反別及坪數
七二	四一	〇一	九〇	五四	五〇	七九	二二	八九	四八	五七	二九	二九	坪數
二九	二八	二二	二六	二二	一	二〇	二二	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	地價
一四六	六一四	〇八二	一九七	二〇四	二六五	六五二	四四三	四三五	三五〇	一三一	〇七七	〇七七	金
二九	二八	二二	二六	二二	〇一三	二〇七	二一四	〇〇四	二〇四	〇〇一	二〇一	二〇一	地租
杉浦	杉浦	堀内	堀内	辻快	高坂	高坂	堀内	三浦	三浦	關屋	關谷	關谷	所有主氏名
嘉七	嘉七	源作	源作	三	鶴松	鶴松	源作	兵吉	兵吉	ハナ	八太郎	八太郎	



高砂町

26	地位等級
八六	地番
宅	地番符號
地	地番
五一	反別及坪數
七五	坪合勺
一八	地價
一三	圓金
一三	錢厘
一八	地租
一八	圓金
一八	錢厘
橫山和助	所有主氏名



地位等級	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	28	
地番	九	八	七	六	五	四	三	二	二	二	一	
地番符號	...	...	...	...	...	...	...	丁	丙	乙	甲	
地目	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	宅地	
反別及坪數	八三	八三	八五	八六	八七	八九	九二	一二六	一二八	一二九	一三二	
坪合勺	七〇	五七	七一	五二	六〇	〇九	〇四	七二	九九	二一	八一	
地價	一九	一九	一九	一九	二〇	二〇	二一	二九	二九	二九	三〇	
金	二五一	二二一	七二三	九〇〇	一四八	四九一	一六九	一四六	六六八	七一八	五四六	
地租	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	
金	一九三	一九二	一九七	一九九	二〇一	二〇五	二一二	二九一	二九七	二九七	三〇五	
錢厘	九七八	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	
所有主氏名	佐藤三太郎	三浦兵吉	網塚壽三	高坂鶴松	森田三郎	堀内源作	立花元養	杉浦嘉七	杉浦嘉七	杉浦嘉七	杉浦嘉七	村田



35	35	35	35	35	35	35	32	...	34	34	34	34	34
二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二〇	一九	一八	一八	一八	一八	一八
七	六	五	四	三	二	一	...	...	丙	丙	丙	乙	乙
全	全	全	全	全	全	全	宅	官用地	全	全	全	全	全
六二	六一	六〇	六〇	八五	七五	七一	二八	九四	八二	八二	三〇	三〇	三〇
一三	三六	六五	六六	四五	五七	二四	五三	五一	四三	四四	〇〇	〇〇	〇〇
六	六	六	六	八	七	七	四五	...	九九	九九	三六	三六	三六
一一	一三	〇六	〇六	五五	五五	一一	二〇	...	四一	四一	〇〇	〇〇	〇〇
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
〇六一	〇六一	〇六一	〇六一	〇八五	〇七六	〇七一	四五二	...	九九四	九九四	三六〇	三六〇	三六〇
德田要助	德田要助	下條辰藏	小杉龜吉	西町徳松	下條九平太	菊地彌之助	館田鉄五郎	北海道廳	杉村福松	石垣隈太郎	石垣隈太郎	石垣隈太郎	飯田シユノ

二百二十五

34	34	33	33	33	32	32	31	30	30	30	30	等級地番
一八	一八	一七	一六	一五	一四	一四	一三	一二	一二	一二	一〇	地番
乙	甲	...	...	...	乙	甲	...	乙	甲	...	...	地目
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	宅	地目
一四	二七	九四	九四	九七	五三	一〇	二二	一一	二二	六八	一四	反別及坪數
二八	七七	九九	九七	七七	三五	〇九	二七	一八	二〇	八四	〇八	坪合勺
六〇	六六	四四	一八	八七	七二	九四	〇三	九〇	六七	四六	九八	坪合勺
一七	三三	一三	一一	一三	八五	一七	四三	二四	四六	一四	二九	地價
四三	五一	九二	六六	九〇	七一	五一	一三	九六	三一	七三	八八	圓金
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	圓金
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	圓金
七二	三四	三三	一三	三六	八五	七五	四三	二五	四六	四三	九五	地租
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	圓金
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	圓金
飯田信良	渡邊熊四郎	官野宇一郎	濱岡源助	泉藤兵衛	泉藤兵衛	杉浦嘉七	井上*	公立小學校	杉村佐左衛門	高増治三郎	小川長之助	所有主氏名

二百二十四







地位等級	39	39	39	39	39
地番	二四乙全	二四甲五全	二四甲四全	二四甲三全	二四甲二宅
地目					地
反別及坪數	二八六八二	六四六九四	五八一六三	七四四六四	二、二四六七四
地價	一七二〇九	三八八一六	三四八九八	四四六七八	一三四八〇四
地租					一
所有主氏名	近江正太郎	近江新三郎	近江五郎吉	近江正太郎	來住野源吉



請  
法  
令

地位等級	地番	地番符號	地目	反別及坪數	地價	地租	所有主氏名
39	二四乙全	二四甲三全	地	二、二四六七四	一三四八〇四	一三四八	來住野源吉
39	二四甲五全	二四甲四全		六四六九四	三八八一六	三四八	近江新三郎
39	二四甲四全			五八一六三	三四八九八	三四九	近江五郎吉
39				七四四六四	四四六七八	四四七	近江正太郎
39				二八六八二	一七二〇九	一七二	近江正太郎



# 諸法令目錄

地所名稱區別	二百二十九丁
地租條例	二百三十一丁
地租條例施行細則	二百三十四丁
土地分合筆取扱規則	二百三十七丁
岨地保存規則	二百三十七丁
官有地取扱規則	二百三十八丁
官有地特別處分規則	二百四十丁
官ニ屬スル公有水面埋立ノ出願免許法	二百四十一丁
官有地賣渡貸渡方	二百四十四丁
水面埋立並ニ使用出願手續	二百四十四丁
官有森林原野及產物特別處分規則	二百四十九丁



官有森林原野及產物特別處分規則ニ據リ隨意契約ニテ原野ヲ賣渡スル標準條項	二百五十丁
北海道土地拂下規則	二百五十三丁
北海道土地拂下規則施行手續	二百五十五丁
土地收用法	二百六十八丁
登記法	二百七十五丁
公証人規則	二百八十四丁
登記法取扱規則	二百九十八丁
執達吏規則	三百十丁
執達吏手数料規則	三百十四丁
抗告手續	三百十九丁
代人規則	三百二十一丁

地所名稱區別

明治七年十一月  
布告第百二十號

官有地

- 第一種 地券ヲ發セス地租ヲ課セス地方稅ヲ賦セサルヲ法トス
- 一 皇宮地 皇居離宮等ヲ云
- 一 神地 伊勢神宮山陵官國幣社府縣社及ヒ民有ニアラサル地ヲ云
- 第二種 地券ヲ發シ地租ヲ課セス地方稅ヲ賦セサルヲ法トス  
尤府縣所有ノ地ハ地券ヲ發セス唯帳簿ニ記入ス  
但此地ニ在ル官舎ヲ貸渡ス時ハ借地料ヲ賦スヘシ
- 一 皇族賜邸 官院省使寮司府縣縣(本文)廳裁判所警視廳陸海軍(本令)廳其他政府ノ許可ヲ得タル所ノ地ヲ云フ
- 一 官用地 (本文)廳其他政府ノ許可ヲ得タル所ノ地ヲ云フ
- 第三種 地券ヲ發セス地租ヲ課セス地方稅ヲ賦セサルヲ法トス  
但人民ノ願ニヨリ右地所ヲ貸渡ス時ハ其間借地料ヲ納メシムヘシ
- 一 山岳丘陵林藪原野河海湖沼澤溝渠堤塘道路田畑屋敷等其他民有地ニアラサルモノ
- 一 鐵道線路敷地
- 一 電信架線柱敷地
- 一 燈明臺敷地
- 一 各所ノ舊跡名區及公園等民有地ニアラサルモノ



一 人民所有ノ權理ヲ失セシ土地  
 一 民有地ニアラサル堂宇敷地及墳墓地  
 一行刑場

第四種 地券ヲ發セズ地租ヲ課セス地方稅ヲ賦セサルヲ法トス  
 一 寺院大中小學校說教場病院貧院等民有地ニアラサルモノ  
 民有地

第一種 地券ヲ發シ地租ヲ課シ地方稅ヲ賦スルヲ法トス  
 一 人民各自所有ノ確証アル耕地宅地山林等ヲ云

但此地買賣ハ人民各自ノ自由ニ任スト雖モ潰シ地開墾等ノ如キ大ニ地形ヲ變換スルハ官ノ許可ヲ乞フヲ法トス

一 人民數人或ハ一村或ハ數村所有ノ確証アル學校病院鄉倉牧場秣場社寺等官有地ニアラサル土地ヲ云

但此地買賣ハ其所有者一般ノ自由ニ任スト雖モ潰シ地或ハ開墾等ノ如キ大ニ地形ヲ變換スルハ官ノ許可ヲ乞フヲ法トス

第二種 地券ヲ發シテ地租地方稅ヲ賦セサルヲ法トス  
 一 官有ニアラサル鄉村社地及ヒ墳墓地等ヲ云

一 民有ノ用惡水路溜池敷堤敷及井溝敷地  
 一 公衆ノ用ニ供スル道路

但地形ヲ變換スルトキハ管轄廳ノ許可ヲ請フヘシ

地租條例

明治十七年三月  
 布告第七號

第一條 地租ハ地價百分ノ二箇半ヲ以テ一年ノ定率トス

但本條例ニ地價ト稱スルハ土地臺帳ニ掲ケタル價額ヲ謂フ

第二條 地租ハ年ノ豐凶ニ由リテ増減セス

第三條 有租地ヲ區別シテ二類ト爲ス

第一類 田、畑、郡村宅地、市街宅地、鹽田、鑛泉地

第二類 池沼、山林、牧場、原野、雜種地

第一類中又ハ第二類中ノ各地目變換スルモノヲ地目變換ト謂フ

第二類地ニ勞費ヲ加ヘ第一類地ト爲スモノヲ開墾ト謂フ

第一類地又ハ第二類地ノ山崩、川欠、押堀、石砂入、川成、海成、湖水成等ノ如キ天災ニ罹リ地形ヲ變シタルモノヲ荒地ト謂フ

第四條 公立學校地、鄉村社地、墳墓地、用惡水路、溜池、堤塘、井溝、鐵道用地、禁伐林及公衆ノ用ニ供スル道路ハ地租ヲ免ス

第五條 土地ノ丈量ハ曲尺ヲ用ヒ六尺ヲ間ト爲シ方一間ヲ以テ步トナシ三十步ヲ畝ト爲シ十畝ヲ段ト爲シ十段ヲ町トナス但市街宅地ハ方一間ヲ以テ坪ト爲シ坪ノ十分一ヲ合ト爲シ合ノ十



分一ヲト勾ト爲ス

- 第六條 地價ヲ定メ又ハ地價ヲ修正スルトキハ地盤ヲ丈量ス
- 第七條 地價ハ地目變換又ハ開墾ニ非サレハ修正セス
- 第八條 一般ニ地價ノ改正ヲ要スルトキハ前以テ其旨ヲ布告スヘシ
- 第九條 地價ハ其地ノ品位等級ヲ詮定シ其所得ヲ審査シ尙ホ其土地ノ情況ニ應シ之ヲ定ム
- 第十條 地目ヲ變換シ若クハ第一類地ヲ第二類地ニ變換シタルトキハ地方廳ニ届出ツヘシ
- 地目變換ノ土地ハ五年以内ニ於テ地價ヲ修正シ六年目ヨリ修正地價ニ依リ地租ヲ徵収ス但第十六條第六項ノ場合ハ此限ニ在ラス
- 第十一條 第一類地ヲ第二類地ニ變換シタルモノハ五年間其地價ヲ据置六年目ニ至リ之ヲ修正ス
- 第十二條 免租地ヲ有租地ト爲サントスルトキハ地方廳ノ許可ヲ受クヘシ地價ハ其地ノ現況ニ依リ之ヲ定ム
- 第十三條 地租ハ土地臺帳記名者ヨリ徵収ス但賃入ノ土地ハ其質取主ニ於テ之ヲ納ムヘシ
- 第十四條 有租地ヲ公立學校地、鄉村社地、墳墓地、禁伐林ト爲ストキ其地租ハ許可又ハ命令ヲ受ケタル月分ヨリ月割ヲ以テ之ヲ免シ用悪水路、溜池、堤塘、井溝、鐵道用地、公衆ノ用ニ供スル道路ト爲ストキ其地租ハ其地工事着手ノ月分ヨリ月割ヲ以テ之ヲ免ス
- 第十五條 免租地ヲ有租地ト爲ストキハ其地租ハ許可ヲ得シ翌月分ヨリ月割ヲ以テ徵收ス
- 第十六條 地價修正ノ土地ハ其年ヨリ修正地價ニヨリ地租ヲ徵収ス但第十條第二項ノ場合ハ此限ニアラス

- 第十五條 荒地又ハ新墾地ハ免租年期明ノ翌年分ヨリ地租ヲ徵収ス
- 第十六條 開墾ヲ爲サントスルトキハ地方廳ノ許可ヲ受クヘシ開墾地ハ十五年以内ノ墾下年期ヲ許可ス但年期中ハ原地價ニヨリ地租ヲ徵収ス
- 第十七條 除削
- 第十八條 第十六條第三項第四項第五項ノ年期明ニ至リ事業成功ニ至ラサル者ハ更ニ二十年以内ノ繼年期ヲ許可ス
- 第十九條 墾下年期明地價据置年期明新開免租年期明ノトキ地價ヲ定メ又ハ修正ス
- 第二十條 荒地ハ其被害ノ年ヨリ十五年以内免租年期ヲ定メ年期明ニ至リ原地價ニ復ス
- 囮ノ爲メ潮水侵入シ作土ヲ損害シタルモノハ其狀現ニ依リ前項ニ準據スルトアルベシ
- 第二十一條 免租年期明ニ至リ其地ノ現況原地價ニ復シ難キモノハ十五年以内七割以下ノ低價年期ヲ定メ年期明ニ至リ原地價ニ復ス
- 第二十二條 低價年期明ニ至リ尙ホ原地價ニ復シ難キモノ及ヒ荒地免租年期明ニ至リ原地目ニ復セス他ノ地目ニ變スルモノハ其地ノ現況ニ依リ地價ヲ定ム
- 第二十三條 免租年期明ニ至リ尙ホ荒地ノ形狀ヲ存スルモノハ更ニ十五年以内免租繼年期ヲ定ム其年期明ニ至リ原地價ニ復シ難キモノハ第二十一條第二十二條ニ依テ處分ス
- 第二十四條 川成、海成、湖水成ニシテ免租年期明ニ至リ原形ニ復シ難キモノハ更ニ二十年以内免租繼年期ヲ許可ス其年期明ニ至リ尙ホ原地目ニ復セス他ノ地目ニ變セサルモノハ川、海、湖ニ歸スルモノトス



第二十五條 土地ヲ欺隱シ地租ヲ逋脱スル者ハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處シ現地自ニ依リ地價ヲ定メ欺隱年間ノ地租ヲ追徴ス但發覺ノ日ヨリ三年前ニ溯ルコトヲ得ス

第二十六條 第十一條第十六條ニ違犯スル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處シ且現地目ニ依リ定價ヲ定メ其地租ヲ追徴ス但發覺ノ日ヨリ三年前ニ溯ルコトヲ得ス

第二十七條 第十條第一項第十六條第一項ニ違犯スル者ハ一圓以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス其開墾ノ届出ヲ爲サ、ルモノハ現地目ニ依リ地價ヲ定メ其地租増額ヲ追徴ス但發覺ノ日ヨリ三年前ニ溯ルコトヲ得ス

第二十八條 第二十五條以下ノ所犯借地人、小作人、ノ所爲ニ係リ所有主其情ヲ知ラザルトキハ其借地人、小作人、ヲ罰シ地租ハ所有主ヨリ追徴ス

第二十九條 第二十五條第二十六條第二十七條第二十八條ノ刑ニ當ル者自首スルトキハ其罰金科料ヲ免ス但其追徴スヘキ地租ハ仍ホ之ヲ納メシム

地租條例施行細則

明治二十二年十二月二十九日 大藏省令第十九號

第一條 條例第三條中第二類牧場ハ牧畜用ノ土地ニシテ一區域ヲ爲ス土地トス

第二條 條例第四條中免租ノ制限左ノ如シ  
公立學校地ハ校舍建設アル一構内ノ土地及授業上ニ必要ナル土地又ハ公立農學校ニ於テ實際用ニ供スル五町歩以内ノ土地ニシテ借地ニ非サルモノニ限ル

鄉村社地ハ鄉村社ノ現境内ニシテ該社有ノモノニ限ル

禁伐林ハ明治十七年太政官布達第三號ニ據リ樹木斫伐停止ノ土地

鐵道用地ハ明治二十年勅令第十二號私設鐵道條例第八條ノ土地

第三條 條例第五條ノ丈量ヲ爲スニ方リ尺度ノ用法ハ左ノ如シ

一間未滿ノ尺度ハ六尺ノ十分一ヲ分ト爲シ分ノ十分一ヲ厘ト爲シ丈量ノ際端尺三寸ヨリ五尺七寸マテ三寸ヲ増ス毎ニ六除ノ數ニ適セサルモノハ之ヲ切捨テ五厘ニ止メ其積算上ニ於テ一步未滿ヲ切捨ツ可シ但一筆ノ土地ニシテ一步未滿ナルモノハ勺位迄ヲ用ユ

市街宅地ノ丈量ハ厘未滿ヲ切捨テ厘位ニ止メ其積算上ニ於テ一勺未滿ヲ切捨テ勺位ニ止ム

第四條 條例第六條ノ丈量ハ所有主之ヲ爲シ地方廳其當否ヲ検査ス但本條ノ場合ニ於テ一筆ノ土地ヲ分裂シ又ハ二筆以上ノ土地ヲ合併スルトキハ其殘地若クハ全部ヲ丈量シ其二類地ニ係ルモノハ適宜之ヲ省略スルフトヲ得

第五條 地盤ヲ丈量スルニハ三斜法ヲ用ユ但山林原野等ハ其地形ニ因リ適宜ノ方法ヲ以テ丈量スルコトヲ得

第六條 田畑ハ畦畔際ヨリ宅地ハ境界線ヨリ丈量ス

第七條 田畑ノ畦畔ニシテ其所有主自由ニ變更ス可キモノハ之ヲ本地ニ量入シ其常ニ變更セサルモノハ之ヲ除却シ其步數ヲ外書トス

畑宅地ノ一筆地ノミニ通スル道路及一筆内ニシテ其所有主便宜ニ設クル小逕ノ類ハ總テ本地ニ量入ス



畦高ノ地其畦脚中ノ畝入ニ必要ナル土地ハ之ヲ本地ニ量入シ其畦脚ニシテ相當ノ収利アルモノハ之ヲ本地ニ量入シ若クハ別ニ一筆地トス

田畑宅地内ニ別地目ノ瑣少ナルモノ存スルトキハ之ヲ本地ニ量入シ内書トス

第八條 地價ヲ定メ又ハ修正ス可キ土地ハ所有主ニ於テ近傍類地ト其地力ヲ比較シ又實地ノ情況ニ依リ相當ノ地位等級ヲ調ヘ其願届書ニ記入スルモノトス

前項ノ場合ニ在テ所有主多數ナルトキハ其所有主中ヨリ二名以上ノ總代人ヲ撰ミ調理セシムルコトヲ得

前項ノ地價ハ地方廳ニ於テ檢査ノ上之ヲ定ム

第九條 條例第十條第二項ノ土地ハ便宜檢査ヲ爲シ五ヶ年以内ニ檢了スヘシ

第十條 條例第十三條第一項未段ノ土地ハ工事ニ着手セシ一筆地限リ其月ヨリ免租ス

第十一條 條例第十六條第二項ノ土地ハ同條第一項届書ニ開墾着手ノ年月ヲ記載スヘシ

第十二條 條例第十六條第三項第四項第五項第六項及第二十條年期ノ長短ハ其事業ノ難易被害ノ深淺ニ依リ府縣知事之ヲ定ム

第十三條 條例第十八條第二十一條第二十三條第二十四條年期ノ長短ハ實地ノ狀況ニ依リ府縣知事之ヲ定ム

第十四條 條例第二十六條第二十七條ノ追徴租額ハ犯罪發覺ノ日即チ其月分ヨリ計算ス

第十五條 條例中地方廳ヘ差出ス可キ願届書式ハ府縣知事之ヲ定ム

### 土地分合筆取扱手續

明治二十年四月十一日  
大藏省訓令第二十五号

第一條 一筆ノ土地ヲ分割シ二筆以上ノ土地ヲ合併セントスル者ハ其段別地價及野取圖ヲ添ヘ戸長役場ヲ經由シ郡區役所ヘ届出ツヘシ

第二條 戸長ハ第一條ノ届書ヲ受領シタルトキハ奥書ヲナスヘシ若シ段別地價ノ分配ニ於テ不適當ト視認ムルコトアルトキハ實地臨檢ノ上其旨ヲ說示シ承服セサルモノハ意見書ヲ作り郡區役所ヲ經由シ地方廳ヘ具申セシムヘシ

第三條 地方廳ハ第二條ノ具申書ヲ受領シタルトキハ規定ノ手續キニヨリ更ニ實地審査シ適當ノ地價ヲ定メ之ヲ所有者ニ示達スヘシ

### 畦地保全規則

明治十三年四月二十一日  
開拓使函館支廳第三十一號布達

第一條 凡ソ甲乙兩地ノ中間ニアル畦地ハ土層地ノ所屬ニスベシト雖モ從來ヨリ下底所屬ノ確証アルモノハ其據置クベシ

第二條 畦地ニシテ傾斜ノ甚シカラス開墾シテ桑茶蔬菜等ヲ植付得ベキ地ヲ除クノ外ハ除租ノ上本地券面腹書ニスヘシ

第三條 畦地ハ上下地主其所屬何レニ在ルヲ問ハス均シク該畦地保全ノ義務アルヲ以テ畦上其下共ニ一己ノ便益ヲ圖リ土砂ヲ堀取隣地ノ崩壞ヲ致スベキ事功ヲ起スヲ得ス



第四條 畦地ハ必ス其所属ニ於テ石垣又ハ竹木柵等ヲ以テ土止ヲナスベシ

第五條 石垣又ハ竹木柵等ヲ以テ土止保全ヲナセル畦地ハ從前ノ証據即チ上層地方ノ一方ニ於テナセルモノハ上層地主ノ所属トナシ上下協同土止ヲナシキタルモノハ上下地主ノ共有トナスベシ

第六條 從前上下地主協同又ハ上下ノ一方ニ於テ土止保全ヲナシタルニ拘ラス將來上下地主ノ内孰レカ一方ニ於テ土止保全ヲナスベキコトヲ相對約束ノ上願出ルニ於テハ之ヲ許可シ更ニ將來止保全ヲナスベキモノ、所属トスルコトアルベシ

官有地取扱規則

明治二十三年十一月二十四日 勅令第二百七十六號

第一條 官有地ノ賣買讓與交換及貸付ハ内務大臣之ヲ處理ス

第二條 官有地ニ關スル願書ノ指令契約ノ締結登記ノ請求收入ノ徵収及收納並訴訟ハ内務大臣地方長官ヲシテ之ヲ取扱ハシムベシ

第三條 各廳ニ於テ官有地ヲ使用セントスルトキハ内務大臣ニ請求スベシ

第四條 各廳ノ使用地不用ニ歸シタルトキハ内務大臣ニ還付スベシ

第五條 甲乙兩廳ノ間ニ於テ官有地ノ使用ヲ移サントスルトキハ内務大臣其手續ヲ爲スベシ

第六條 各廳ノ所用ニ供スル爲メ民有地ヲ寄付セントスルモノアルトキハ内務大臣受納ノ手續ヲ爲スベシ

第七條 官有地ヲ開墾センコトヲ請フモノアルトキハ無料ニテ之ヲ貸付スベシ但開墾成功ノ後事業者ニ於テ該地ヲ拂下ケントスルトキハ豫メ契約ニ依テ其代價ヲ定メ置クベシ

第八條 官有地ト民有地ノ交換ハ両地ノ坪數及價格稍相均シキモノニアラサレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第九條 借地人ハ特ニ許可ヲ受クルニアラサレハ其地ヲ當初借用ノ目的以外ニ使用スルコトヲ得ス

借地人前項ノ規定ニ違反スルトキハ地方長官ハ其使用ヨリ生シタル損害ヲ賠償セシメ返地ヲ命スルコトヲ得

第十條 借地人官ノ許可ヲ得テ土地ノ原形ヲ變シタルトキハ借地満期ニ至リ自費ヲ以テ之ヲ原形ニ復シ返納スベシ但特ニ許可ヲ受ケタルモノハ此限ニアラス

第十一條 官ニ屬スル公有地及公有水面ハ其公用ヲ廢シタルニアラサレハ賣拂讓與交換又ハ貸付スルコトヲ得ス但公衆ノ妨害トナラサル限リハ公用ニ供シタル儘有料又ハ無料ニテ其使用ヲ許スコトヲ得

第十三條 官ニ屬スル私有水面ノ賣拂讓與交換貸付及使用ハ本令ニ定ムル土地ノ規定ニ準據スベシ

第十四條 隨意ノ契約ニ依リ官ニ屬スル土地又ハ水面ノ賣拂讓與交換又ハ有料貸付有料使用ヲ爲サントスルトキハ地方長官其評價ヲ爲サシムベシ

既ニ貸付シ又ハ使用セシメタル土地又ハ水面ヲ引續キ貸付シ又ハ使用セシムル場合ニ於テモ



亦前項ヲ準用ス

- 第十五條 官有地ニ關スル事項ニシテ本令ニ規定セサルモノハ官有財産管理規則ニ依ル
- 第十六條 本令ハ勅令ヲ以テ特ニ規定シタルモノ及官有森林原野ニ適用セス
- 第十七條 官有地臺帳ニ關スル規定ハ別ニ之ヲ定ム

### 官有地特別處分規則 明治二十三年七月二十一日 勅令第三百二十五號

- 第一條 內務大臣ハ左ノ場合ニ限リ官有地ヲ競争ニ付セス隨意ノ契約ヲ以テ貸渡又ハ賣渡スコトヲ得
  - 一 直接公用ニ供スル爲又ハ公共ノ利益トナル事業ノ爲府縣郡市町村及公共組合又ハ其他ノ起業者ニ官有地ヲ貸渡又ハ賣渡ストキ
  - 二 不用ニ屬スル官有地一箇所ノ坪數百五十坪ニ滿タス其評定價格二百圓以内ノモノヲ賣渡又ハ其渡料一箇年五圓以内ニシテ貸渡期限五箇年以内ノモノヲ貸渡ストキ但望人二名以上アルトキハ此限ニアラス
  - 三 鑛山ニ於ケル鑛物運搬道路、冷温泉場ニ於ケル汲泉場又ハ導泉敷地ノ如キ官許ヲ與ヘタル主タル事業ニ直接附隨シ必要缺クヘカラスト認メタル官有地ヲ其事業者ニ貸渡又ハ賣渡ストキ
  - 四 會計法施行以前土地ノ形質ヲ變更シ又ハ建物ヲ建設スルカ爲貸渡シタル官有地ヲ其借地

人ニ賣渡シ又ハ引續キ貸渡ストキ

- 第二條 直接公用ニ供スル官有地ヲ特ニ府縣郡市町村又ハ公共組合ノ直接公用ニ供スルトキハ借地料ヲ徵收セサルモノトス
- 第三條 府縣郡市町村又ハ公共組合ニシテ直接公用ニ供スル官有地ノ修繕保存費ヲ負擔スルモノハ其直接公用ヲ廢スルトキ官有財産管理上必要ノモノヲ除ク外之ヲ其費用負擔者ニ無代下付ス府縣郡市町村又ハ公共組合ニ於テ其土地ヲ賣拂ハントスルトキハ隣接地主ハ先買ノ權ヲ有スルモノトス
- 第四條 北海道官有未開ノ土地並官有森林原野ニハ本令ヲ適用セス

### 官ニ屬スル公有水面埋立ノ出願免許方 明治二十三年十月二十日 內務省訓令第三十六號

- 第一條 官ニ屬スル公有水面ヲ埋立テントトシテ出願スル者アルトキハ關係市町村會ノ意見ヲ聞キ然後技術者ヲシテ調査セシメ第二條以下ニ規定シタル命令書ヲ下付シテ之ヲ免許ス可シ
- 第二條 公有水面埋立ノ命令書ニハ左ノ條項ヲ記載ス可シ
  - 一 出願人ノ住所姓名
  - 一 埋立ノ位置並區域
  - 一 埋立ノ目的
  - 一 埋立ノ方法



- 一 着手ノ期限
- 一 成功ノ期限
- 一 既ニ免許ノ與ヘタル後ト雖モ其成功ノ認可ヲ與フルマテノ間ハ公害ヲ生シ若クハ之ヲ發見スルトキハ地方長官ハ何時ニテモ無償ニテ命令書ノ條項ヲ改メ得ルコト
- 一 着手ノ期限ニ至テ着手セズ成功ノ期限ニ至テ成功セズ其他命令ノ條項ニ從ハサルモノハ免許ノ効ヲ失ヒ且障害ヲ加ヘ又ハ加ヘントスルコトアラハ出願人ノ費用ヲ以テ之ヲ除カシメ又ハ豫防セシムルコト
- 一 免許權ハ官許ヲ受クルニ非サレハ擔保貸付ニ供シ又ハ他ニ移スコトヲ得サルコト
- 一 天災事變ノ爲メニ期限内ニ着手若クハ成功シ難キ事情アルモノハ其事由ノ止ミタル後二箇月内ニ出願スルニ於テハ相當ノ延期ヲ與フルコト
- 第三條 通船ノ便利用悪水ノ疏通ヲ保護スル等埋立ノ地位ト季節トニヨリテ公益上制限ヲ加フルノ必要アルモノハ精細ニ其仕様ヲ命令書中ニ記載ス可シ
- 第四條 埋立成功ノ後其地所ノ道路溝渠物揚場等公共ノ用ニ供ス可キ分ハ無償ニテ官有トナス可シ其他ハ出願人ノ所有ニ定ムルコトヲ得
- 前項官有ニ歸ス可キ地區ト出願人ノ所有トス可キ地區トハ豫メ命令書並ニ圖面ニ明記ス可シ
- 第五條 大土工ニハ埋立方法書ノ外精密ナル設計書ト圖面ヲ造ラシメ之ヲ命令書ニ附屬ス可シ本條ノ場合ニ於テハ埋立ノ區域ヲ數區ニ分テ着手及成功ノ期限ヲ異ニシ殘工事ノ成功ニ妨ケナク且公益ニ害ナキ限リハ其成功スル毎ニ出願人ノ所有ト定ムルコトヲ得

- 第六條 公有水面ヲ變シテ出願人ノ所有トナシタル後公害アルコトヲ發見スルトキハ特價ヲ以テ買收スルカ又ハ收用スルニ非サレハ回復スルコトヲ得
- 第七條 舊慣ニヨリテ捕魚採藻ノ業ヲ營ムノ外公有水面ヲ其儘使用セシコトヲ出願スルモノアルトキハ前々條ノ例ニ準シ命令書ヲ下付シテ之ヲ免許ス可シ但本條ノ場合ニ於テハ相當ノ料金ヲ國庫ニ納メシム可シ
- 第八條 官ニ屬スル私有水面ノ埋立ハ第一條ノ手續ヲナシタル後一般ノ官有地質貸ニ關スル規則ニ隨ヒ其地ヲ賣却又ハ貸與シテ之ヲ埋立シム可シ其使用ハ一般貸地ノ手續ニ依ル可シ
- 第九條 水上ノ取締ニ關スル規則ニヨリテ公有水面ノ使用ヲ許スノ類ハ命令書ヲ下付スルニ及ハス又使用料ヲ納メシムルニ及ハス公共ノ障礙ナキニ於テハ無料使用ヲ許スコトヲ得
- 第十條 何レノ場合ニ於テモ使用料額ハ五箇年ヲ期シテ定ム可シ
- 第十一條 凡ソ一箇所ノ場所ヲ二人以上同時ニ埋立又ハ使用ヤシコトヲ出願スル者アルトキハ共ニ内務大臣ニ稟議シテ其指令ヲ乞フ可シ
- 第十二條 公有水面ノ埋立ハ公益上必要アルモノ並特別ノ理由アルモノノ外五ク年以内ニ成功シ難キ廣キ場所ヲ一手ニ免許スルコトヲ得
- 第十三條 若シ水面ノ埋立使用ハ特ニ其処分ヲ委任シタルモノ及第九條ヲ除クノ外總テ意見ヲ具シ地圖ヲ添ヘ本大臣ニ稟請スヘシ但公有水面ニシテ使用ノ慣行アルモノニ限り地方ノ狀況ニ依リ特ニ其処分ヲ委任スルコトアルヘシ
- 其本大臣ノ指令ヲ得テ下付シタル命令書設計書圖書又本大臣ノ認可ヲ受タルニ非サレハ變更



スルコトヲ得ス

官有地賣渡貸渡方

明治二十三年十月二十日  
内務省訓令第三十七号

本年勅令第三百二十五号官有地特別處分規則ニ依リ官有地ヲ賣渡シ又ハ貸渡サントルルトキハ其應ニ於テ便宜評價委員ヲ設ケ其地價又ハ貸渡料ヲ評定セシムヘシ其繼續シテ貸渡ス場合ニ於テモ亦同シ但最前貸渡ノ際豫メ地價ヲ定メ開墾成功ノ上賣渡スコトヲ許シタルモハ此ノ限ニアラス  
前項賣渡貸渡ニシテ從來經同ヲ要セシ分ハ評價書ヲ作り願人申立金額アレハ其金額ヲモ記載シ圖面ヲ添ヘ本大臣ニ具申スヘシ

水而埋立並使用出願手續ヲ定ム

明治廿三年十二月十八日  
北海道廳令第七十四号

但明治廿一年當廳令第十七号ハ廢止ス

水面埋立使用出願手續

第一條 官ニ屬スル公私有水面ヲ埋立テントスル者ハ埋立方法書ニ給圖面并入費概算調ヲ添ヘ第一号式公有水面第二号式私有水面ニ依リ出願スヘシ  
但埋立地積一町歩以上ニ涉ルモノハ埋立方法書ノ外精密ナル設計書ヲ添付スヘシ

第二條 埋立成功ノトキハ第三号式ニ依リ出願認可ヲ請フヘシ

第三條 舊慣ニ依リテ捕漁採藻ノ業ヲ營ムノ外公有水面ヲ其儘使用セントスルモノハ第四号式ニ依リ出願スヘシ

第四條 官ニ屬スル私有水面ヲ使用セントスル者ハ一般ノ貸地規則ニ依リ出願スヘシ

第五條 第一條第三條第四條ノ場合ハ接續地主及使用者并ニ保証人連署ノ上願書差出スヘシ

附則

第六條 北海道湖沼池埋立規則ニ依リ出願許可ヲ得タルモノハ尙従前ノ手續ニ依ル

第一号式

公有水面埋立願

何國何郡區何町村何番地

一海面(又ハ河湖)間口何間 別紙繪圖面ノ通  
此坪數何程

右ハ御命令ヲ遵守シ宅地(又ハ何々)ノ目的ヲ以テ埋立仕度尤接屬地主へ及示談致候處支障無之候間御許可被成下度別紙方法(設計書)並ニ繪圖面相添へ保証人連署此段願候也

何(府)(縣)(華)(士族)(平民)

何國何郡區何町村何番地

當時何國郡區何町村何番地寄留

年月日

願人

何 某

印



第二号式

北海道廳長官宛

(郡區戶長ノ奥書ヲ要ス)

私有水面埋立地拂下(貸下)願

何國何郡區何町村何番地

一河(又ハ湖沼池)埋立地間口何間別紙繪圖ノ通  
此坪數何程

右ハ今般御拂下(貸下)ノ上宅地(又ハ何々)ノ目的ヲ以テ埋立仕度尤接屬地主等ノ故障ハ聊カ無  
之候間相當ノ代價(料金)ヲ以テ拂下(貸下)被下度別紙方法書(設計書)并ニ繪圖面相添保証人連  
署此段奉願候也

(肩書前ニ做フ)

接屬地主

何 某 印

(全 上)

保証人

何 某 印

年月日

何(府)(縣)(華)(士族)(平民)

何國何郡區何町村何番地

當時何國何郡區何町村何番地寄留

願 人

何 某 印

(肩書前ニ做フ)

接屬地主

何 某 印

(全 上)

保証人

何 某 印

北海道廳長官宛

(郡區長戶長ノ奥書ヲ要ス)

第三号式

水面埋立成功御認可願

何國何郡區何町村何番地

一水面埋立地間口何間別紙繪圖面ノ通  
此坪數何程

右埋立ノ義明治何年何月何日御許可ヲ得候處今般悉皆成功仕候間御檢査ノ上御認可被成下府此  
段奉願候也

(何)(府)(縣)(華)(士族)(平民)

何國何郡區何町村何番地

當時何國何郡區何町村何番地

願 人

何 某 印

北海道廳長官宛



(郡區長戸長ノ與書ヲ要ス)

第四号式

公有水面使用願

何國何郡區何町村何番地

一海面(亦ハ河湖面)間口何間 別紙繪圖面ノ通  
此坪數何程

右ハ命令ヲ遵守シ何々ノ目的ヲ以テ何年何月ヨリ向テ何ケ年間使用仕度接屬地主(及隣接使用者及示談候処支障無之候ニ付相當ノ使用料上納可仕候間御許可被成下度別紙繪圖面相添保証人連署此段奉願候他

何(府)(縣)(華)(士族)(平民)

何國何郡區何町村何番地

當時何國何郡區何町村何番地寄留

願 人 何 某 印

(肩書前ニ做テ)

接屬使用者 何 某 印

(肩書前ニ做テ)

接屬使用者 何 某 印

(全 上)

年 月 日

北海道廳長官宛

保証人

何 某 印

(郡區長戸長ノ與書ヲ要ス)

官有森林原野及產物特別處分規則

明治二十三年四月三日  
勅令第六十九号

第一條 農商務大臣ハ左ノ場合ニ限リ官有森林原野及其產物ヲ競争ニ付セス隨意ノ契約ヲ以テ貸渡又ハ賣却スルコトヲ得

- 一 官廳又ハ公供ノ用ニ供スル爲メ森林原野ヲ貸渡シ若クハ賣渡シ及其建築材料ヲ賣渡ストキ
- 二 開墾若クハ牧畜ノ爲メ森林原野ヲ貸渡シ若クハ賣渡ストキ
- 三 鑛業ノ爲メ森林原野ヲ貸渡シ若クハ建築材料又ハ薪炭材ヲ賣渡ストキ
- 四 植樹ノ爲メ森林原野ヲ貸渡ストキ
- 五 非常ノ災害ニ罹リタル地方人民ノ爲メ建築材料ヲ賣渡ストキ
- 六 從來ノ慣行ニヨリ地元人民ニ木竹薪炭材下草秣小柴若クハ土石ヲ賣渡ストキ
- 七 部分木ヲ仕付人ニ賣拂フトキ
- 八 社寺建築營繕ノ爲メ該社寺上地ノ木材若クハ土石ヲ賣渡ストキ
- 九 地押調査ニ由リ發見シタル開墾地ヲ其開墾人ニ賣渡ストキ



- 十 建築其他ノ用ニ供スヘキ土石ヲ發見シタル場合ニ於テ之ヲ其發見人ニ賣渡ストキ
  - 十一 季節アル生産物ヲ賣拂フトキ
  - 十二 開墾牧畜若クハ植樹ノ爲メ貸渡シタル森林原野ノ區域内ニアル産物ヲ其借受人ニ賣拂フトキ
  - 十三 林業附帶ノ用ニ供スル爲メ森林原野ヲ貸渡シ若クハ産物ヲ賣渡ストキ
  - 十四 部分方法ニ由リ林産物製造ノ爲メ其原料ヲ請負人ニ賣渡ストキ
  - 十五 見積借地料一ケ年金二百圓ニ超ヘサル森林原野ヲ貸渡ストキ
  - 十六 拾町歩以下ニシテ見積代價金二百圓ニ超ヘサル森林原野ノ民有地又ハ道路河川ニ介在セルモノヲ接屬地ノ所有者ヘ賣拂フトキ
  - 十七 見積代價金二百圓ニ超ヘサル木竹ヲ賣拂フトキ
- 第二條 農商務大臣ハ競争入札ニ付シタル物件ノ豫定價格ニ違セス該入札ヲ取消シタル場合ニ於テ爾後三十日以内ニ豫定價格ヨリ低カラサル代價ヲ以テ同一物件ノ拂下ヲ望ム者アルトキハ隨意ニ之ヲ賣拂フトコトヲ得

官有森林原野及産物特別處分規則ニ據リ隨意契約ニテ原野ヲ賣渡スル標準條項

明治二十三年七月二日農商務省訓令第三十四号

- 第一條 原野賣渡願書ハ地方長官宛ニテ地元町村長ヲ經由シ所轄官廳ニ差出サシム可シ其願書ニハ賣渡出願ニ係ル原野所在ノ國郡町村字名地目段別素地相當代價ヲ記載シ且事業方法書收支豫算書及實測圖ヲ添付セシムルヲ要ス
- 第二條 前條ニ據リ願書ヲ差出シタル者アルトキハ地方長官ハ其願書ニ意見ヲ附シ事業方法書收支豫算書及實測圖ヲ添ヘ本大臣ノ指揮ヲ請クヘシ其出願ニ係ル原野ノ段別五町歩以下ナルトキハ之ヲ專決スルコトヲ得
- 第三條 原野賣渡願書ハ總テ書留郵便ヲ以テ之ヲ差出サシメ若シ二人以上同地ニ付テ出願シタルトキハ地方長官ハ願書發送時日ノ前後ヲ取調ヘ意見ヲ附シ本大臣ノ指揮ヲ請クヘシ
- 第四條 原野ノ賣渡ハ總テ豫約ノ方法ニ據リ代價ヲ納付シタル後ニアラサレハ其所有權ヲ拂受人ニ移轉セシメサルモノトス其代價ハ事業成功ノ後拂受人又ハ其保証人ヲシテ所轄官廳ニ納付セシム可シ
- 但事業成功ノ部分ニ對スル所有權ハ拂受人ノ請求ニ依リ其部分ニ相當スル代價ヲ納付セシメタル上之ヲ拂受人ニ移轉セシムルコトヲ得
- 第五條 賣渡ノ豫約ヲナスヘキ原野ノ段別ハ四百町歩已内トス
- 但土地ノ區域又ハ事業ノ方法ニ依リテハ特ニ此制限ノ超過ヲ許可スルコトアルヘシ
- 第六條 事業ノ成功期限ハ十五年已内ニ於テ之ヲ定メシメ若シ天災其他止ヲ得サル事由ニ依リ中途拂受人ニ於テ豫定ノ事業方法又ハ成功期限ノ變更ヲ要スルコトアルトキハ地方長官ハ其拂受人ヲシテ更ニ事業方法書及收支豫算書ヲ添ヘ願書ヲ差出サシメ本大臣ノ指揮ヲ請クヘシ
- 第七條 賣渡ノ豫約ヲナシタル土地ノ使用料等ハ總テ之ヲ徴収セサルノモトス



第八條

- 左ニ記載スル條項ハ拂受人ヲシテ之ヲ遵守セシムヘシ
- 一 賣渡豫約ニ係ル土地ハ所轄官廳ノ許可ヲ得スシテ之ヲ他人ニ貸渡スヲ得サルコト
  - 二 賣渡豫約土地ニ對スル負擔及其土地ヨリ生スル損害ニ就テハ拂受人其責ニ任スヘキコト
  - 三 拂受人ハ賣渡豫約許可ノ日ヨリ滿六箇月已内ニ豫定ノ方法ニ從ヒ事業ニ着手スヘキコト
  - 四 拂受人ハ前年ニ於ケル事業ノ功程ヲ翌年一月中ニ所轄官廳ニ報告スヘキコト
  - 五 拂受人ニ於テ事業ニ着手シ及事業ノ成功シタルトキハ十日已内ニ所轄官廳ニ報告スヘキコト
  - 六 賣渡豫約土地内ニ在ル木竹其他指定シタル物件ハ拂受又ハ特別ノ契約ヲナスニアラサレハ拂受人ニ於テ之ヲ採取シ若クハ使用ス可ラサルコト
  - 七 地方長官ニ於テ官吏ヲ派遣シ事業ノ進否及方法ヲ検査セシムルトキハ之ヲ拒ムヲ得サルコト
  - 八 拂受人ハ賣渡豫約許可ノ日ヨリ十日已内ニ標杭ヲ境界ニ建設スヘキコト
  - 九 事業ハ必ス豫定ノ方法書ニ依テ之ヲ爲ス可キコト
- 第九條 拂受人第八條ニ記載スル事項ヲ遵守セス又ハ成功期限ニ至リ事業成功セサルトキハ豫定成功セル部分ニシテ相當ノ代價ヲ納付シタルモノハ之ヲ除キ其他ハ所轄官廳ニ返還セシムヘシ
- 前項ノ場合ニ於テ返還地ニ係ル勞費ハ官廳ニ於テ之ヲ辨償セス又返還地ニ在ル植物建物等ハ相當ノ期限ヲ定メ之ヲ取拂ハシム可シ

第十條 従前開墾牧畜ノ爲メ原野賣渡豫約ヲナシタルモノニシテ既定ノ契約ナキ事項ハ更ニ此規定ニ據リ取扱フヘシ

●北海道土地拂下規則

明治十九年 閣令第十九号

- 第一條 北海道官有未開ノ土地ハ本規則ニ依リ北海道廳ニ於テ之ヲ拂下クヘシ
- 第二條 土地拂下ノ面積ハ一人拾萬坪ヲ限リトス但盛大ノ事業ニシテ此制限外ノ土地ヲ要シ其目的確實ナリト認ムルモノアルトキハ特ニ其拂下ヲ爲スコトアルヘシ
- 第三條 土地ノ拂下ヲ請ハントスル者ハ其書面ニ地名坪數并事業ノ目的着手ノ順序及成功ノ程度ヲ詳悉シ先ツ其土地ノ貸下ヲ北海道廳ニ願出ツヘシ但耕宅地ニ爲サントスル者ハ其坪數ヲ毎年ニ配當シ其成功期限ヲ詳記スヘシ
- 北海道廳ニ於テ其方法確實ナリト認ムルトキハ其土地ヲ貸下クヘシ但借地料ヲ徴收セス
- 第四條 貸下期限ハ十年以内トス土地ノ景況ト事業ノ難易トニ依リ之ヲ定ム但牧場ハ貸下年期ノ滿限ニ際シ更ニ貸下延期ヲ必要トスルトキハ其願ニ依テ之ヲ許可スルコトアルヘシ
- 第五條 耕宅地ハ毎年其配當坪數ノ成功ヲ點檢シ又海産干場及牧場ハ隨事其事業ノ現況ヲ點檢スヘシ
- 第六條 耕宅地ハ其年配當ノ事業成ラサルトキハ其成功シタル土地ヲ除キ其他ハ總テ返納セシメ海産干場牧場ハ第三條出願書ノ如ク成ラサルトキハ悉皆之ヲ返納セシムヘシ



天災地變其他避クベカラザル事故アリテ成功セサルトキハ北海道廳ニ願出テ其指揮ヲ請フヘシ

第七條 貸下地ヲ返納セシメタルトキハ其地内ノ樹木ニシテ既ニ伐採シタルモノアレハ相當ノ樹木代價ヲ納メシムヘシ

第八條 貸下地ハ公益ノ爲メ必要アルトキハ其期限内ト雖モ之ヲ返納セシムルコトアルヘシ但此ノ場合ニ於テハ其事業ノ爲メ既ニ費シタル費用ハ之ヲ辨償スルモノトス

第九條 貸下地ハ他人ニ讓渡スコトヲ得ス若シ不得止事故アリテ讓渡サントスルトキハ讓渡人讓受人連署ノ上北海道廳ニ願出其指揮ヲ請フヘシ但讓受タル土地ノ貸下期限ハ更ニ之ヲ定ムルコトアルヘシ

第十條 素地代價ハ千坪ニ付金壹圓トシ成功ノ後拂下グベシ但其土地ハ拂下ノ翌年ヨリ二十箇年ノ後ニアラザレハ地租及地方稅ヲ課セス

第十一條 本規則施行手續ハ北海道廳長官之ヲ定ム

附則

第十二條 削除

第十三條 明治五年第三百四号公布北海道土地賣貸規則明治七年開拓使第四號布達明治十一年開拓使第四號布達ヲ廢止ス

●北海道土地拂下規則施行手續

明治二十六年三月二十四日  
北海道廳令第五號

第一條 規則第三條ニ依リ貸下クヘキ土地ハ當廳ニ於テ區畫ヲ施設シ毎年公告スヘシ  
前項區畫外ノ土地ト雖モ豫メ區域ヲ指定シテ貸下シルコトアルヘシ

第二條 左ニ列記スル土地ハ前條ニ拘ハラス特ニ貸下ヲ許可スルコトアルヘシ

- 一 宅地
- 二 海産乾場
- 三 牧場

四 沿海ノ土地

五 從前貸下ヲ受ケタル土地成功ノ上其地ニ接近シテ要スヘキ増地

第三條 土地貸下ヲ受ントスルモノハ願書書式第一號ニ起業方法書書式第二號圖面書式第三號但區畫地ヲ用ヘス及戶籍寫原籍市町村長若クハ區長ノ證明書アルモノヲ添付シ地元戶長役場ヲ經テ當廳ニ差出スヘシ

第四條 規則第四條ニ依リ貸下期限ノ標準ヲ定ムル左ノ如シ

- 耕地
- 十萬坪以下 十年以内
- 六萬坪以下 八年以内
- 三萬坪以下 六年以内
- 六千坪以下 四年以内



宅地

三年以内

海産乾場

三年以内

牧場

十年以内

第五條 起業方法書ニハ左ノ事項ヲ明確ニ記載スヘシ

一 願地ノ素地名稱坪數其所在國郡町番地又ハ字區村

二 樹木ノ有無其樹木アルトキハ全地ノ樹種目通周尺樹數

但十坪平均ノ樹數ニ依リ全數ヲ算出スルモ妨ケナシ

三 事業ノ目的

四 貸下ノ期限

五 貸下期限内毎年成功スヘキ配當坪數(耕宅地ニ限ル)

六 風除風致放牧薪炭用等ノ爲メ樹木存置ヲ要スルモノアルトキハ其坪數ノ十分一以内ヲ目的トス

七 建築物ヲ造築スルモノハ其落成期限

八 漁具若クハ海藻採收具ノ種類員數及實地營業着手ノ期限(海産乾場ニ限ル)

九 牧場柵圍間數及事業ニ要スル建築物造築落成期限(牧場ニ限ル)

十 牧草畑地坪數及播種ノ期限(全上)

十一 牧畜ノ種數牝牡頭數毎年繁殖ノ豫算(全上)

第六條 土地貸出願人ハ其調査ノ爲メ吏員出張ノ通知ヲ受ケタルトキハ其地境界ニ假標ヲ建設シ現場ニ出頭シテ吏員ノ指揮ニ從フヘシ但第一條一項區畫地ニハ本條ヲ適用セス

第七條 土地貸出願人ハ許可書受領ノ日ヨリ三十日以内更ニ貸下地ノ境界ニ標木離形ニ建設スヘシ

但積雪ノ爲メ標木ヲ建設スルコト能ハサルトキハ消雪後速ニ之ヲ建設スヘシ

第八條 土地貸下ノ期限ハ許可シタル翌年一月ヨリ起算スルモノトス

但許可ヲ受ケタルトキヨリ事業ニ着手スルコトヲ得

第九條 土地ノ貸下ヲ得タル者ハ貸下期限内毎年事業ノ功程ヲ記載シ書式第四號其翌年一月三十一日限リ地元戸長役場ヲ經テ當廳ニ届出ヘシ

第十條 規則第五條ニ依リ点檢スヘキ期日ノ通知ヲ受ケタル者ハ成功區域ニ標杭ヲ建設シ現場ニ立會スヘシ

第十一條 貸下満期ニ至リ全地成功シタルモノハ土地拂下願書書式第五號ニ圖面書式第六號ヲ添付シ地元戸長役場ヲ經テ當廳ニ差出スヘシ

貸下期限内ト雖モ全地成功シタルトキハ本人ノ願ニ依リ拂下クルコトアルヘシ

第十二條 規則第六條一項前段ノ場合ニ於テ主タル事業ヲ成功セシテ之ニ附隨スル通路堤塘濠渠柵納屋廐等ノミヲ設營シタルモノアルトキハ其敷地ハ未成功トシテ之ヲ處分ス

第十三條 規則第六條一項ニ依リ返地ヲ命シタルトキハ命令書受領ノ日ヨリ七日以内ニ其受書ヲ地元戸長役場ヲ經テ當廳ヘ差出スヘシ



第十四條 規則第六條一項ニ依リ返地ヲ命シタルトキハ命令書受領ノ日ヨリ三十日以内ニ施設ノ物件ヲ取除キ其土地ヲ返納スヘシ

但返納地ニ係ル勞費アルモ當廳ハ之ヲ辨償セス

前項期限内ニ施設ノ物件ヲ取除カサルトキハ當廳ニ於テ之ヲ取除キ其費用ヲ返地人ヨリ辨償セシムルコトアルヘシ

第十五條 規則第六條一項ニ依リ返地ヲ命シタルトキ已ニ成功シタル耕宅地ハ第十一條ニ準シ拂下ヲ出願スヘシ

第十六條 規則第七條ニ依リ伐木代價ヲ徵収スルニハ起業方法書ニ記載シタル種類周尺樹數ニ照ラシ別ニ定ムル所ノ官林木特賣價額表ノ價額ニ依ル

第十七條 規則第八條ニ依リ返地ヲ命シタルトキハ命令書受領ノ日ヨリ三十日以内ニ施設ノ物件ヲ取除キ費用調書ヲ差出シ其土地ヲ返納スヘシ

第十八條 規則第九條ニ依リ不得止事故アリテ貸下地ヲ讓渡サントスルトキハ第三條ニ準シ出願スヘシ

但既ニ成功シタル部分ハ其成績ヲ詳記シ且成功未成功地ノ區別ヲ圖面ニ朱記スヘシ

第十九條 土地貸下ヲ出願中ノ者若クハ土地貸下ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ判地元戸長役場部内ニ居住セサルトキハ其部内ノ居住者ヲ以テ代人ニ定メ地元戸長役場へ届出ツヘシ居住者不在ノ時亦同シ

第二十條 規則第二條但書ニヨリ土地貸下ヲ願出ルルハ第三條規定ノ外起業設計書ヲ添付スヘシ

但實測圖及ヒ財産調書ヲ徵スルコトアルヘシ

第廿一條 左ノ事項ニ該當スルモノアルトキハ其願書ヲ無効トス

一 第六條ノ規定ニ從ハサルモノ  
二 土地貸下ヲ許可スルニ際シ本人若クハ代人ノ所在不詳ニシテ六十日ヲ過クルモ尙指令書ヲ下付スルニ由ナキトキ

第廿二條 左ノ事項ニ該當スルモノアルトキハ返地ノ處分ヲ結了シタルモノトス

一 第十三條ノ期限内ニ受書差出サ、ルモノ  
二 本人若クハ代人ノ所在不詳ニシテ六十日ヲ過クルモ返地命令書ヲ下附スルニ由ナキトキ

附則

第廿三條 従前ノ手續ニ依リ土地貸下期限中ノモノハ總テ此手續ノ規定ニ從フヘシ

第廿四條 本年三月三十一日以前ニ貸下ヲ出願シタル土地ハ本手續キ第一條ニ依ルノ限ニアラス

○書式第一號(用紙半紙)

土地貸下願

何國何郡何町村字何々番地

一原野地 又ハ 何坪 田(畑)(宅地)又ハノ見込(他ニ土地貸下ノ許可ヲ得タル者又ハ土地貸

下出願中ノ者ハ左ノ事項ヲ附記スヘシ)



外

何國何郡何町(村)字何々番地ニ於テ明治何年何月何日土地貸下許可ノ分  
何坪 田(畑)(宅地)又ハ

内

何坪

明治何年何月迄成功

何坪

未 成 功

何國何郡何町(村)字何々何番地ニ於テ明治何年何月何日土地貸下出願中ノ分  
何坪 田(畑)(宅地)又ハ

右北海道土地拂下規則並施行手續ヲ遵守シ別紙起業方法書ノ通り無相違成功可致候間該地積御  
貸下相成度此段奉願候也

何府(縣)(北海道)何國何郡(區)何市(町)

(村)字何々番地戸主(某何男)職業

「當時何國何郡(區)何市(町)(村)字何々

番地(某方)寄留」

明治何年何月何日

北海道廳長官宛

前書之通り出願候ニ付進達候也

明治何年何月何日

區戸長 氏 名 印

○書式第二號(用紙半紙)

起業方法書

一 原野地又ハ 何坪別紙圖面ノ個所

一 何國何郡何町(村)字何々番地

一 全地ニ目通何尺廻何木何本(樹木無之)

一 田(畑)(宅地)(海産乾場)(牧場)又ハノ見込

一 農(工)(商)(何漁)業若シクハ何製造(牧畜)(養蠶)又ハ經營並ニ其着手順序ノ詳細

一 明治何年ヨリ何年迄何年間御貸下同年限内ニ全地成功其毎年事業ノ配當ハ左ノ如シ  
初年 (明治何年) 何坪田(畑)又ハニ開墾

但普通農具何々又ハ西洋農具何々(馬何頭)ヲ用ヒ家族何人勞働若クハ小作人何戸又ハ耕夫

何人(此金何程)ヲ以テ田(畑)又ハ何々ニ墾成牛(馬)(羊)(豚)牝何頭飼育(新ニ購入スルモ

金額ヲ詳記スヘシ) 牝何頭飼育(新ニ購入スルモ

小屋掛(居小屋)(牧舎)又ハ何棟何坪築造(此費用金何程)

道路延長 尺 何間新開(同上)

二年目(明治何年) 何坪田(畑)又ハニ開墾(何牧草播種)

但初年ノ例ニ準シ詳記スヘシ

牛(馬)(羊)(豚)牝何頭飼育(新ニ購入ノモノト蕃殖ノモノトヲ區別シ)

排水延長 巾何尺 何間新開(此費用金何程)



堤塘延長 高何尺敷何尺 何間新設(同上)

三年目(明治何年) 何坪田(畑)又ハ開墾

但(初年ノ例ニ準シ詳記スヘシ)

養蠶室(何製造場)又ハ何棟何坪造築(此費用金何程)

牧柵延長 何寸角又ハ九本高何尺 何間新設(同上)

四年目(明治何年) 以後各年ノ分ハ前例ニ準シ詳記スヘシ

一風防(薪炭用)地等トシテ存置スヘキ木立地何坪樹木何々 目通何尺廻 何本(立木無之何年目(明治何年)ニ於テ何木何本植付ノ見込)

一雌鯉飼建網引網差網何統何艘明治何年何月迄ニ準備

但明治何年何月何日何漁業若シハ何海藻採取營業許可又ハ出願ニ付明治何年何月ヨリ漁業ニ着手ノ見込

一何年目(明治何年)ヨリ牛馬羊豚何種 牝何頭 雄何頭 番殖毎年何々何頭販賣何々何頭宛飼育ノ見込

右ノ通相違無之候也

右願人

氏名印

氏名印

願人

氏名印

一原野地又ハ何坪

明治何年何月何日

○書式第三號 何國何郡何町(村)字番地

此譯

甲 何坪

乙 何坪

丙 何坪

丁 何坪

(第三號圖ニ入ル)

備考

基点 道路河川ノ辻若クハ近接貸下地等ノ隅角(若シ之レナキトキハ)ノ如キ移動ナキ個所ニ「何」印ヲ以テ基点ヲ明カニスヘシ(大標ヲ設立スヘシ)

繫線 前項基点ノ例ニ依リ一筆毎ニ二個所以上ヲ實測シ朱点ヲ付シ其間ヲ記入スヘシ

間數 地域ニ從ヒ周圍ニ間數ヲ明記スヘシ

區畫 數年ニ配當シ開墾スルモノハ其區域ニ朱線ヲ引クヘシ風防薪炭用地區域モ亦同シ

除地 道路河川及溝渠ヲ狭ムトキハ各筆(例ハ甲)ニスヘシ

敷地 新ニ道路及用悪水路ヲ設ルモノハ其個所ニ二條ノ朱点ヲ施スヘシ

右ノ外四至ノ景況ヲ詳記スヘシ

○書式第四號(用紙半紙)

事業成功程度御届

明治何年何月何日貸下許可



何國何郡何町(村)字何々番地

貸下總地積

一田(畑)(宅地)又ハ何坪

外家屋(居小屋)又ハ何棟何坪造築濟

(二年目以後ハ左ノ如内譯ヲ付シ其總計ヲ本項ニ記入スヘシ)

内

何坪

初年成功地積

初年成功

又ハ

自初年成功

外家屋(居小家)又ハ何棟何坪造築濟

何坪 何年目成功 届出ル年ノ前年中

外牧舍(何製造場)又ハ何棟何坪造築

右成功ノ實況御届仕候也

何府(縣)(北海道)何國何郡(區)何市(町)(村)

字何々番地戸主(某何男)職業

〔當時何國何郡(區)何町(村)字何々番地

(某方)寄留〕

氏名印

明治何年何月何日

北海道廳長官宛

右届出候ニ付進達候也

明治何年何月何日

○書式第五號(用紙半紙)

貸下土地拂下願

何國何郡何町(村)字何々番地別紙圖面ノ個所

元貸下地何坪

一田(畑)(宅地)又ハ

何々

但明治何年何月何日貸下許可

ヨリ讓受又ハ相續名義書換

右ハ北海道土地拂下規則ニ依リ御貸下ノ處今回全地墾成

拂下相成度別紙圖面相添此段奉願候也

何町何反何畝何歩

(他ヨリ讓受又ハ相續者等名義書換ヲ)

爲スモノハ下文ノ如ク付記スヘシ

何町村字何々番地何某

事業成功候ニ付地代金上納可致候間御

何府(縣)(北海道)何國何郡(區)何市(町)(村)字何

々番地戸主(某何男)職業

〔當時何國何郡(區)何市(町)(村)字何々番地

某方寄留〕

氏名印

明治何年何月何日

北海道廳長官宛



前書之通願出候ニ付進達候也

明治何年何月何日

○書式第六號

何國何郡何町(村)字番地

元貸下地何坪

一段別 何反何畝何步

内

甲畑 段別何反何畝何步

(イ) 何十何坪何合何夕

乙畑 段別何反何畝何步

(イ) 何十何坪何合何夕

丙田 段別何反何畝何步

(イ) 何十何坪何合何夕

(ロ) 何十何坪何合何夕

(ハ) 何十何坪何合何夕

計 何百何十何坪何合何夕

區戸長 氏 名 印

願人 氏 名 印

拂下願地

此二除何百何十何坪何合何夕

丁風防林 段別何反何畝何步

(イ) 何百何十何坪何合何夕

此二除何百何十何坪何合何夕

合段別何町何段何畝何步

外

道路敷地段別何反何畝何步

用惡水路段別何反何畝何步

(第六號圖入ル)

備考

道路河川ノ辻若クハ近接貸下地等隅角(若シ之レナキトキハ)ノ如キ移動ナキ箇所ニケ所

以上ニ繫線ヲ施シ實測間數ヲ記入スヘシ(大標ヲ設立スヘシ)丈量ハ實地ニ於テ三斜ヲ施スヘシ

道路河川及溝渠ヲ挿ムトキハ分筆(例ハ甲)ニ丈量スヘシ(乙ノ如シ)

風防薪炭用地ハ別筆ニスヘシ

新設道路及ヒ用惡水路敷地ニシテ公共ノ用ニ供セサルモノハ其墾成地積ニ算入スヘキヲ

以テ外書ヲ要セス

一筆内ヲ分筆スルトキハ甲乙丙丁ノ符號ニヨリ相當番號ヲ付スヘシ

右ノ外四至ノ景況ヲ詳記スヘシ(附屬圖略ス)



土地收用法

明治二十二年七月三十日  
法律第十九號

第一章 總則

第一條 公共ノ利益ノ爲メノ工事ニシテ必要アルトキハ此法律ノ定ムル所ニ依リ損失ヲ補償シテ土地ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得

土地ノ使用ハ三年以内ニ限ル但一年以上ニ亘リ又ハ使用ノ爲メ土地ノ形質ヲ變更スルトキ又ハ建物アル土地ハ所有者ノ請求ニ依リ之ヲ収用スヘシ

第二條 左ノ種類ノ工事ニ要スル土地ハ内閣ニ於テ公共ノ利益ニシテ必要ナルコトヲ認定シタル後此法律ヲ適用スルコトヲ得但國防上ノ工事ニ關スル認定ハ此限ニアラス

- 一 國防其他兵事ニ要スル土地
- 二 政府、府縣郡市町村及公共組合ノ直接ノ公用ニ供スル土地
- 三 官立公立ノ學校病院其他學藝及慈善ノ用ニ供スル土地
- 四 鐵道電信航路標識及測候所ノ建設用地
- 五 河川溝渠ノ掘鑿道路橋梁埠頭水道及下水ノ築造用地
- 六 防火及水害豫防並檢疫所火葬場其他公衆ノ衛生ニ要スル土地

第三條 前條ノ工事ノ爲メ土地ヲ收用又ハ使用セントスルノ必要アルトキハ起業者ハ工事計畫書並圖面ヲ製シ地方長官ニ差出スヘシ地方長官ハ之ヲ審査シ内務大臣ニ具申シ内務大臣ハ之ヲ閣議ニ提出スヘシ

前項ノ工事政府ノ起業ニ係ルトキハ主務大臣ハ工事計畫書並圖面ヲ製シ内務大臣ト協議シ之ヲ閣議ニ提出スヘシ

第四條 内閣ニ於テ工事ヲ認定シタルトキハ官報ヲ以テ起業者及起業地並工事ノ種類ヲ公告スヘシ

國防上ノ工事ニ關シテハ主務大臣ヨリ地方長官ニ通知シ地方長官ハ其土地所有者及關係人ニ通知スヘシ

第二章 土地収用ノ手續

第五條 工事ノ認定ヲ得タル後起業者ハ工事準備ノ爲メ其土地ニ立入り測量又ハ検査ヲ爲スコトヲ得

第六條 前條ノ場合ニ於テハ起業者ヨリ工事準備ノ爲メ立入ルヘキ場所及期日ヲ豫メ其地ノ市町村長及各所有者ニ通知スヘシ但準備ノ爲メニ生スル所ノ損失ハ起業者之ヲ補償スヘシ

第七條 工事ノ認定前起業者計畫準備ノ爲メ其土地ニ立入り測量又ハ検査ヲ爲スノ必要アル場合ニ於テハ豫メ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ但政府ノ起業ニ係ルトキハ主務大臣ヨリ豫メ地方長官ニ通知スヘシ

地方長官前項ノ認可ヲ爲シ又ハ通知ヲ受ケタルトキハ其旨ヲ告示シ又ハ其土地所有者及關係人ニ通知スヘシ

起業者本條第一項ノ測量又ハ検査ヲ爲ストキハ其場所及期日ヲ各所有者ニ通知スヘシ但損失



ヲ補償スルトキハ前條ノ例ニ依ル

第八條 工事ノ仕様及収用又ハ使用スヘキ土地ノ區域確定シタルトキハ起業者ハ其仕様書並圖面及損失補償金額見積書ヲ所有者及關係人ニ示シ協議ヲ遂クヘシ但國防上ノ用地ニ關シテハ其區域及損失補償金額見積書ヲ示シ仕様書及圖面ヲ添フルヲ要セス

若シ協議關ハサルトキハ起業者ハ各市町村別ニ左ノ事項ヲ記載シ前項ニ掲ケタル書類ト共ニ地方長官ニ差出シ土地収用審査委員會ノ裁決ヲ請フヘシ但政府ノ起業ニ係ルトキハ主務大臣ヨリ其書類ヲ地方長官ニ送付シ土地収用審査委員會ノ裁決ヲ求ムヘシ

一 収用又ハ使用スヘキ土地ノ番號地目並隣地ノ番號地目

二 収用又ハ使用スヘキ土地ノ段別若シ建物木石作物等アルトキハ其建坪數量但土地又ハ建物ニ分割ヲ來ス場合ニ於テハ其全部ノ段別建坪ヲ併セ記スヘシ

三 土地臺帳登記簿ニ依テ知リ得ヘキ所有者及關係人ノ氏名

四 収用又ハ使用ノ時期

五 損失補償金額並其内譯但収用又ハ使用スヘキ土地ニ在ル建物木石作物等ノ移轉ヲ請求スルトキハ其移轉料

第九條 地方長官前條ノ書類ヲ受取リタルトキハ之ヲ市町村長ニ下付スヘシ市町村長ハ之ヲ市役所又ハ町村役場ニ備置キ十四日間公衆ノ縦覽ニ供スル旨ヲ公告スヘシ且起業者ヲシテ特ニ所有者及關係人ニ其旨ヲ通知セシムヘシ

前項ノ公告ニハ土地収用審査委員會ヲ開クヘキ場所、期日、所有者及關係人ヨリ意見書ヲ差出

スヘキ場所ヲ記載スヘシ

第十條 収用又ハ使用スヘキ土地ノ所有者及關係人ハ前條公告ノ日ヨリ十四日以内ニ意見書ヲ差出スヘシ若シ其期限ヲ過クルトキハ意見ヲ申立ツルコトヲ得ス

第十一條 地方長官ハ前條公告ノ日ヨリ十四日間ヲ過キタル後土地収用審査委員會ヲ開クヘシ土地収用審査委員會ハ仕様其他ノ手續ヲ審査シ所有者及關係人ヨリ差出シタル意見書ノ當否、土地収用又ハ使用ノ區域収用ノ時期並補償ノ金額ヲ裁決スヘシ

補償ノ金額ヲ裁決スルトキハ先ツ二名以上ノ鑑定人ヲ選ヒ其見積書ノ當否ヲ調査セシムヘシ

第十二條 土地収用審査委員會ハ七日以内ニ裁決ヲ終リ地方長官ニ之ヲ報告スヘシ但其期限内ニ裁決スルコトヲ得サル事由アルトキハ地方長官ノ認可ヲ經テ其期限ヲ延スコトヲ得

第十三條 地方長官土地収用審査委員會ノ裁決ノ報告ヲ受ケタルトキ市町村長ヲシテ之ヲ起業者及所有者並關係人ニ達セシムヘシ

第十四條 地方長官ヨリ裁決ノ達ヲ受ケタルトキハ起業者ハ補償金ヲ所有者及關係人ニ拂渡シ又ハ地方廳ニ預置キ土地ヲ受取ルヘシ但工事仕様ニ關スル裁決ニ服セス内務大臣ニ訴願シタル場合ハ此限ニアラス

第十五條 土地収用審査委員會ノ工事仕様ニ關スル裁決ニ服セサル者ハ裁決ノ達ヲ受ケタル日ヨリ七日以内ニ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得内務大臣ノ裁決ヲ終ルマテハ起業者其工事ニ着手スルコトヲ得ス但内務大臣ノ裁決ハ之ヲ終審トス

補償金額ニ關スル裁決ニ服セサル者ハ裁決ノ達ヲ受ケタル日ヨリ三箇月以内ニ裁判所ニ出訴



コルストヲ得此場合ニ於テハ起業者其工事ノ着手ヲ猶豫セサルコトヲ得

第十六條 起業者土地ヲ受取リタルトキハ其登記ト俱ニ該土地ハ第三十五條ノ場合ニ於テ舊所有者原價ヲ以テ買戻ノ權ヲ有スル旨ノ記入ヲ求ムヘシ

第三章 損失補償

第十七條 收用又ハ使用スヘキ土地其他ノ補償金額ハ所有者及關係人ヲシテ相當ノ價值ヲ得セシムルヲ目的トシテ之ヲ定ムヘシ

第十八條 收用ノ爲メ土地ノ分割ヲ來シタル場合ニ於テ收用地ノ補償價格殘地ノ價格ヨリ高キ事實アルカ又ハ殘地ノ價格ヲ減スヘキ事實アルトキハ併セテ其損失ヲ補償スヘシ  
土地ノ一部ヲ使用スルカ爲メ殘地ノ損失ヲ來ストキハ其補償ニ付テモ亦前項ニ同シ

第十九條 收用又ハ使用ノ爲メ所有者及關係人ニ於テモ新ニ道路溝渠橋梁柵柵及井等ヲ設ケサルヲ得サル場合ニ於テハ其費用ヲ補償スヘシ

第二十條 收用ノ爲メ土地ノ分割ヲ來シ所有者ニ於テ從來該地ヲ使用セル目的ニ供スルコトヲ得サル場合ニ於テハ其土地全部ノ收用ヲ請求スルコトヲ得  
收用ノ爲メ建物ノ分割ヲ來ス場合ニ於テハ所有者其建物ノ全部並建物ニ屬スル土地全部ノ收用ヲ請求スルコトヲ得

第二十一條 收用又ハ使用ノ土地ニ附屬スル建物木石等ハ併セテ之ヲ収用又ハ使用シ作物ハ之ヲ収用スヘシ但所有者ニ於テ其移轉ヲ請求スルトキハ移轉料ヲ補償スヘシ

第二十二條 所有者補償金額ヲ増サンカ爲メ故ラニ建物雜作ヲ修補シ又ハ木石作物等ヲ増加シタル實蹟アルトキハ之ヲ補償金額中ニ算入セス所有者ヲシテ自費ヲ以テ其土地ノ收用又ハ使用ノ日マテニ之ヲ取拂ハシムヘシ

第二十三條 土地ト建物木石作物等ト其所有者ヲ異ニスル場合又ハ借地人借家人小作人等其土地ニ對シ特別ノ關係ヲ有スル者アル場合ニ於テハ其収用又ハ使用ニ因テ生スル損失ニシテ金額ニ見積ルコトヲ得ルモノニ限リ各別ニ之ヲ補償スヘシ  
書入又ハ質入トナリタル土地建物ノ補償金ハ地方廳ニ預置カシメ所有者及債主連署シテ其下渡ヲ請求スルヲ俟テ拂渡スヘシ

第二十四條 補償金ノ受取人ノ受取ルコトヲ拒ムトキハ起業者ハ之ヲ地方廳ニ預置クヘシ

第二十五條 工事ノ仕様並補償金額ノ決定ノ後起業者其土地ヲ収用又ハ使用セサル以前其工事ヲ廢スル場合ニ於テ所有者及關係人ノカ爲メニ損失ヲ被リタルトキハ其補償金ヲ請求スルコトヲ得收用又ハ使用ノ時期ヲ過キテ仍ホ土地ヲ収用又ハ使用セサルトキモ亦同シ  
若シ補償ニ付協議調ハサルトキハ第六條第二項ノ例ニ依ル

第二十六條 收用又ハ使用ノ補償金額ノ決定ニ漏レタル損失ヲ發見シタルトキハ所有者及關係人ハ其収用又ハ使用ノ日ヨリ三箇年以内ニ其補償金ヲ請求スルコトヲ得  
若シ補償ニ付協議調ハサルトキハ土地收用審査委員會ノ裁決ヲ請フヘシ

第二十七條 天災時變ニ際シ急施ヲ要スル公共ノ利益ノ爲メノ工事ハ起業者ノ申立ニ依リ郡市長之ヲ認定シ直ニ土地ヲ收用又ハ使用セシムルコトヲ得但補償ニ關スル手續ハ執行後此法律ニ依リ之ヲ行フヘシ



第二十八條 國防又ハ道路堤防鐵道及埠頭ノ工事ニ供スル土石砂礫ニシテ宅地外ニ在テ所有者使用セサルモノハ此法律ニ依リ之ヲ收用スルコトヲ得

第四章 土地收用審査委員

第二十九條 土地收用審査委員ハ府縣會常置委員ヲ以テ之ニ充テ地方長ヲ會長トス地方長官故障アルトキハ上席高等官之ヲ代理ス

第三十條 工事ノ仕様ヲ裁決スル場合ニ於テハ其工事ノ狀況ニ依リ專門技術家ヲ委員中ニ加フヘシ

第三十一條 起業者及收用又ハ使用スヘキ土地ノ所有者及關係人並其父子兄弟ハ土地收用審査委員會ノ會議ニ與ガルコトヲ得ス

前項ノ場合ニ於テ府縣會常置委員ニ缺員ヲ生スルトキハ補缺員ノ内ヲ以テ補充スヘシ

第三十二條 土地收用審査委員會ハ起業者并所有者及關係人ヲ呼出スコトヲ得

第三十三條 土地收用審査委員會ハ委員半數以上出席スルニ非ヤレハ開會スルコトヲ得ス

會議ハ多數ニ依テ決ス若シ可否ノ數相半ハスルトキハ會長之ヲ決ス

第五章 雜則

第三十四條 收用又ハ使用ノ手續ニ關スル費用土地收用審査委員會并第六條ニ於テ要スル鑑定人ノ費用ハ總テ起業者ノ負擔トス但所有者及關係人ノ書類差出ニ關スル費用ハ總テ其自辨トス

第三十五條 起業者工事ヲ廢シ又ハ其他ノ事故ニ由リ收用シタル土地ノ全部若クハ一部不用ニ歸シタルトキハ起業者ハ直ニ其旨ヲ舊所有者ニ通知スヘシ若シ其所在不分明ナルトキハ官報及其地方ノ新聞紙ヲ以テ三回以上公告スヘシ

前項ノ土地ハ舊所有者原價ヲ以テ之ヲ買戻スコトヲ得

第三十六條 前條ノ通知後二箇月以内又ハ公告後六箇月以内ニ舊所有者何等ノ申込ヲ爲サ、ルトキハ買戻ノ權ヲ失フモノトス

第三十七條 起業者若シ第三十五條ノ通知又ハ公告ヲ爲サシテ他人ニ土地ヲ賣却讓與シタルトキハ舊所有者ハ現所有者ニ就テ原價ヲ以テ其土地ヲ買戻スコトヲ得

第三十八條 國防其他兵事上工事ノ急施ヲ要スル場合ニ於テ土地ヲ收用又ハ使用スルハ特ニ定メタル法律ノ條規ニ依ル

第三十九條 北海道沖繩縣ニ於テハ土地收用審査委員會ノ爲スヘキ事務ハ北海道廳長官沖繩縣知事之ヲ行フ

第四十條 市制町村制ノ施行ニ至ラサル地方ニ於テハ此法律ニ依リ市町村長ノ爲スヘキ事務ハ區戶長之ヲ行フ

島司ヲ置キタル地ニ於テハ郡長ノナスヘキ事務ハ島司之ヲ行フ

第四十一條 明治八年太政官第三百二十三號達公用土地買上規則ハ此法律施行ノ日ヨリ廢止ス

登記法 明治十九年八月十一日 法律第一號



第一章 總則

- 第一條 地所建物船舶ノ賣買讓與質入書入ヲ爲スモノハ本法ニ從ヒ地所建物ハ其所在地船舶ハ其定繫場ノ登記所ニ登記ヲ請フヘシ  
農商務省特許局ニ於テ登録シタル特許意匠及商標ノ登記ハ本人ノ居住地ヲ管轄スル登記所ニ於テ之ヲ爲スヘシ
- 第二條 地所建物船舶ノ賣買讓與質入書入ノ登記ハ始審裁判所長之ヲ監督ス可シ
- 第三條 登記事務ハ治安裁判所ニ於テ之ヲ取扱フモノトス治安裁判所遠隔ノ地方ニ於テハ郡區役所其他司法大臣指定スル所ニ於テ之ヲ取扱ハシム
- 第四條 登記所ノ位置及其管轄ノ區域ハ司法大臣之ヲ定ム
- 第五條 登記官吏ハ登記事務取扱ニ付テハ始審裁判所長ノ監督ヲ受クルモノトス
- 第六條 登記簿ニ登記ヲ爲サ、ル地所建物船舶ノ賣買讓與質入書人ハ第三者ニ對シ法律上其効ナキモノトス
- 第七條 地所建物船舶ノ賣買讓與質入書入ニ付登記スヘキ概目左ノ如シ
  - 第一 地所ハ郡區町村名、字、番地、地目、反別若クハ坪數、地券面ノ價格
  - 第二 建物ハ郡區町村名、字、番地、地目、構造ノ種類、建坪、造作ノ有無
  - 第三 西洋形船舶ハ汽船、風帆船ノ區別、船名、番號、登簿噸數、公稱馬力、汽機及汽罐ノ種類、端船其他必要ノ所屬品
  - 第四 日本形船舶ハ船名、番號、積石數、間數、端船其他必要ノ所屬品

第五 登記ノ事由

第六 金額

第七 質入書入ハ其期限及利息

第八 所有者及登記ヲ受クル者ノ氏名住所

第九 一筆ノ地所又ハ一棟ノ建物ヲ區別シ賣買讓與質入書入ヲ爲ストキハ其事實

第十 二番以後書入ヲ爲シ又ハ書入ニ爲シタルモノヲ質入ト爲シ質入ト爲シタルモノヲ書入ト爲ストキハ其事實

第十一 登記ノ年月日

第八條 登記ハ契約者双方又ハ其代理人登記所ニ出頭シテ之ヲ請求ス可シ

登記ヲ請フ者アルトキハ登記官吏ハ之ヲ受付帳ニ記載シ契約者ヨリ差出シタル書類ノ受取証ヲ下付ス可シ

登記ヲ爲スニハ登記ノ番號ヲ記シ登記官吏之ニ署名捺印スヘシ

第九條 地所建物船舶ニ關スル差押假差押差留假差留假處分及地所建物ノ收益差押ニ付テハ裁判所ノ命令書又ハ官廳ノ照會書ニ依リ登記簿ニ其記入ヲ爲スヘシ

前項ノ記入ハ裁判所又ハ官廳ヨリ直チニ之ヲ求ムヘシ

第十條 登記ハ第十五條第二項及第十六條第十七條第十八條ヲ除クノ外契約者雙方ノ請求若クハ裁判所ノ命令アルニ非カレハ之ヲ爲シ又ハ變更シ又ハ取消スコトヲ得ス

第十一條 登記ノ謄本又ハ抜書又ハ一覽ヲ要スルモノハ其登記所ニ之ヲ請求スルコトヲ得



第十二條 登記官吏ノ職務執行上ニ關シ不服アル者ハ管轄始審裁判所ニ抗告スルコトヲ得  
第十三條 登記ニ關スル取扱ノ手續及登記簿ノ書式ハ司法大臣之ヲ定ム

第二章 賣買讓與

第十四條 地所建物船舶ノ賣買讓與ニ付キ登記ヲ請フトキハ契約者双方出頭シテ其証書ヲ示シ  
其署名捺印シタル原本一通ヲ差出スヘシ但第九條第十六條第十七條第十八條第十九條ノ登記  
ニ付テハ證書ヲ示スノ限ニ在ラス

本條ノ原本ハ登記簿ノ一部トシテ之ヲ添ヘ置ク可シ  
證書ニ塗抹改竄アリテ利害關係人ノ承諾シタルノ証ナク登記官吏ノ求ニ應シ請求者ヨリ之ヲ  
説明スルコト能ハサルトキハ登記官吏ハ登記ヲ拒絕スルコトヲ得

第十五條 家督相續ニヨリ地所建物船舶ノ登記ヲ請フトキハ雙方出頭シ其證書ヲ示スヘシ  
死亡者失踪者若クハ離縁戸主ノ遺留シタル地所建物船舶ヲ相續スル者登記ヲ請フトキハ親屬  
二名以上又親屬ナキトキハ近隣ノ戸主二名以上連署ノ書面ヲ差出シ且證明書類アルモノハ之  
ヲ示スヘシ

第十六條 行政官廳ノ公賣處分ニ因リ地所建物船舶ノ所有權ヲ得タル者登記ヲ請フトキハ落札  
違書及其代金完納ノ證書ヲ示スヘシ  
本條ノ登記ハ其處分ヲ爲シタル官廳ヨリ直ニ之ヲ求ム可シ本項ノ規定ハ第十七條及第十九條  
ノ場合ニモ亦之ヲ準用ス

第十七條 官有ノ地所建物船舶ノ拂下又ハ無代價下渡ヲ受ケ登記ヲ請フトキハ其指令ノ本書若

クハ違書ヲ示ス可シ

第十八條 民有ノ地所建物船舶ヲ官有ト爲シタルトキハ其官廳ハ第七條ノ概目ヲ示シテ登記ヲ  
求ムヘシ

第十九條 裁判執行上ノ羅賣若クハ入札ニ依リ地所建物船舶ノ所有權ヲ得タル者アルトキハ裁  
判所ノ命令ニ依リ其登記ヲ爲ス可シ

第二十條 地所船舶賣買讓與ニ由リ地券鑑札ノ下付若クハ書換ヲ請ハントントスル者ハ登記所  
ヨリ登記簿ノ證ヲ受クヘシ

第三章 質入書入

第二十一條 地所建物船舶ノ質入書入ニ付テモ亦第十四條ヲ準用ス  
貸借ノ爲メニ非スシテ義務ヲ果ス可キ保證ノ爲メ地所建物船舶ヲ質入書入ト爲シ其登記ヲ請  
フ者モ亦前項ノ記定ニ依ル可シ

第二十二條 書入ノ地所建物船舶ヲ重ネテ書入ト爲ストキハ第二債主ニ於テ之ヲ了知セル旨ヲ  
申出其記人ヲ請フ可シ書入ト爲リタル地所ヲ質入ト爲シ又ハ質入トナリタル地所ヲ書入ト爲  
ストキ亦同シ

第二十三條 質入書入ノ契約全部若クハ一部ノ解除又ハ變更ニ付テモ亦第十四條ヲ準用ス  
第二十四條 同一ノ地所建物船舶ニ付キ數個ノ登記ヲ爲ストキハ其登記ヲ請フ日時ノ前後ニ因  
リ登記ノ順序ヲ定ムルモノトス

第四章 登記料及手数料



第二十五條 地所建物船舶賣買ノ登記ニ付テハ其買受人左ノ賣買代價ノ區別ニ從ヒ每一件ニ其

登記料ヲ納ムヘシ

賣買代價

五圓未滿	五圓以上
拾圓未滿	拾圓以上
貳拾圓未滿	貳拾圓以上
伍拾圓未滿	伍拾圓以上
百圓未滿	百圓以上
貳百圓未滿	貳百圓以上
三百圓未滿	三百圓以上
四百圓未滿	四百圓以上
五百圓未滿	五百圓以上
七百圓未滿	七百圓以上
千圓未滿	千圓以上
千五百圓未滿	千五百圓以上
貳千圓未滿	貳千圓以上
貳千五百圓未滿	貳千五百圓以上
五千圓未滿	五千圓以上
壹萬圓未滿	壹萬圓以上
壹萬圓以上	壹萬圓以上

登記料
五錢
拾錢
貳拾五錢
五拾錢
壹圓
貳圓
三圓
四圓
五圓
六圓
七圓
八圓
九圓
拾圓
拾貳圓

以上五千圓マテ毎ニ貳圓ヲ増加ス

第二十六條 地所建物船舶讓與ノ登記ニ付テハ其讓渡人讓受人ニ於テ時價相當ノ價格ヲ定メ前條ニ掲クル金額ノ區別ニ從ヒ每一元ニ其讓受人ヨリ登記料ヲ納ム可シ

第二十七條 地所建物船舶買入書入ノ登記ニ付テハ其買入人書入人ハ第二十五條ニ掲クル金額ノ區別ニ從ヒ每一件ニ其登記料ノ半額ヲ納ム可シ但一件ニ付キ金五錢ヨリ下スコトヲ得ス

第二十八條 第二十一條第二項ノ登記ニ付テハ價格ヲ定メ前條ノ例ニ依リ其登記料ヲ納ム可シ

第九條第一項ノ記入ニ付テハ其價格ノ定マリタル物件ハ其價格又其價格ノ定マラサル物件ハ時價相當ノ價格ヲ定メ前條ノ例ニ依リ其登記料ヲ納ムヘシ

第九條第十六條第十七條及第十九條ノ場合ニ於テ處分ヲ爲シタル官廳ヨリ登記ヲ求ムルニハ登記料ハ登記印紙ヲ請求書ニ貼用シテ其官廳ニ納メシメ官廳ヨリ之ヲ登記所ニ送付ス可シ

第二拾九條 第十五條ノ登記ニ關シ地所ニ付テハ一筆毎ニ金三錢ヲ納メシメ建物船舶ニ付テハ時價相當ノ價格ヲ定メ第二十五條ニ掲クル金額ノ區別ニ從ヒ每一件ニ其登記料ノ五分ニ納メシム但一件ニ付金三錢ヨリ下スコトヲ得ス

第十五條第一項ノ場合ニ於テ家督相續ノ日ヨリ六十日ヲ經過シタルモノニ付テハ讓與ノ登記料ヲ納メシム

第三十條 左ニ掲クル者ハ手数料トシテ金五錢ヲ納ム可シ

- 第一 登記事件ノ取消又ハ其變更ノ登記ヲ請フ者ハ每一件
- 第二 登記ノ謄本若クハ抜書ヲ請フ者ハ每一枚



第三 登記ノ一覽ヲ請フ者

第三十一條 左ニ掲クルモノハ登記料及手数料ヲ要セス

第一 官廳ノ請求ニ係ル登記

第二 公立ノ學校病院、公園及養育院ニ係ル登記

第三 社寺、堂宇及墳墓地ニ係ル登記

第四 人民共有ノ用悪水路溜池敷、堤敷、井溝敷及公衆ノ用ニ供スル道路ニ係ル登記

第三十二條 登記所ニ於テ第二十五條第二十六條第二十八條第二項及第二十九條ニ從ヒ届出タル價格ヲ不相當ト認ムルトキハ其事件ニ關係ナキ者三名ヲ選ビ之ヲ評價人ト爲シテ其價格ヲ評定セシムヘシ

第三十三條 評價人ノ評定シタル價格届出ノ價格ヨリ増加スルトキハ其評價ニ關スル費用ハ其登記料ヲ納ムル者之ヲ負擔スヘシ若シ其價格届出ノ價格ト同價又ハ低下ナルトキハ該費用ハ其登記所ニ於テ之ヲ支辨スヘシ

第三十四條 評價人ニ選ハレタル者ハ正當ノ事由ナクシテ之ヲ辭スルコトヲ得ス

第三十五條 評價人ノ日當ハ登記所ノ見込ヲ以テ一日金二拾錢ヨリ五拾錢マテヲ給ス可シ

第五章 罰則

第三十六條 詐偽ノ所爲ヲ以テ登記料ヲ減脱シ及之ニ通謀シタル者ハ二圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十七條 本法ニ依リ罰金ニ處スル者ハ刑法ノ不論罪及減輕再犯加重數罪俱發ノ例ヲ用ヒス

附則

第三十八條 明治十年第二十八號布告船舶買賣書入質手續同十三年第五十二號布告土地買賣讓渡規則同十四年第三十號布告地券證印稅則其他從前ノ法律規則中本法ニ牴觸スルモノハ本法施行ノ日ヨリ廢止ス

第三十九條 地所賣買讓與荒地起返開墾嶽下年期明等總テ地券下付書換ニ係ル手續及其手数料ハ大藏大臣之ヲ定ム

第四十條 登記簿ニ未ダ登記セサル地所建物船舶ニ付キ從來保有セル所有權ヲ明確ナラシメント欲スル者ハ管轄登記所ニ其所有權ノ登記ヲ請フコトヲ得

右ノ登記ヲ請フ者ハ物件ヲ明示シタル請求書ニ其所有權ノ證明書類ヲ添ヘ之ヲ登記所ニ差出ス可シ但其所有權ヲ取得シタルコトヲ証スル證書ヲ其證明書トシテ差出ストキハ第十四條ヲ準用ス

本條ノ登記ニ關シ地所ニ付テハ一筆毎ニ金壹錢ヲ納メシメ建物船舶ニ付テハ一件毎ニ金壹錢ヲ納メシム

第四十一條 登記所ハ初テ登記ヲ爲シタル地所ニ付テハ之ヲ其地ノ土地臺帳所管廳ニ通知シ其所管廳ヨリハ右ノ地所ニ付キ分合筆又ハ地番号及地目ノ變換アル毎ニ之ヲ登記所ニ通知ス可シ

土地臺帳所管廳ハ明治二十二年勅令第三十九号ニ依リ登記所ヨリ所有ノ移轉又ハ質入ニ付キ通知ヲ受ケタル地所ニ關シ各項ノ變換アルトキモ亦通知ヲ爲ス可シ



登記所ハ前二項ノ通知ニ依リテ登記簿ニ其變換ノ旨ヲ追記ス可シ

### 公證人規則

明治九年八月十一日  
法律第二號

#### 第一章 總則

- 第一條 公證人ハ人民ノ囑託ニ應シ民事ニ關スル公正證書ヲ作ルヲ以テ職務ト爲ス
- 第二條 公證人ハ法律命令ニ背キタル事件ノ公證書又ハ他ノ官吏ノ作ル可キ公證書類ヲ作ルコトヲ得ス若シ之ヲ作リタルトキハ公正ノ効ヲ有セス
- 第三條 公證人ノ作リタル公正證書ハ完全ノ證據ニシテ其正本ニ依リ裁判所ノ命令ヲ得テ執行スル力アルモノトス但刑事裁判所ニ偽造ノ訴アルトキハ其證書ノ執行ヲ中止ス可シ又民事裁判所ニ偽造ノ申立アルトキハ其證書ノ執行ヲ中止スルコトヲ得
- 第四條 公證人ハ治安裁判所ノ管轄地ヲ以テ受持區トシ其區内ニ於テ司法大臣ノ認可ヲ受ケタル町村内ニ住居シ其居宅ニ役場ヲ設ケ役場ニ於テ職務ヲ行フ可シ但役場外ニ住居セントスルトキハ管轄始審裁判所ノ認可ヲ受ク可シ
- 已ムヲ得サル事件ニ付テハ受持區内ニ限り役場外ニ於テ其職務ヲ行フ可シ
- 第五條 各區内公證人ノ員數ハ司法大臣之ヲ定ム
- 第六條 公證人ハ司法大臣ニ隸屬シ控訴院長始審裁判所長ノ監督ヲ受クルモノトス
- 第七條 公證人其受持區内ニ於テハ區外人ノ爲メニモ職務ヲ行フ可シ但受持區外ニ於テハ何人

- ノ爲メニモ職務ヲ行フコトヲ得ス若シ之ヲ行ヒタルトキハ其書類ハ公正ノ効ヲ有セス
- 第八條 公證人ハ理由ナクシテ人民ノ囑託ヲ拒ムコトヲ得ス若シ之ヲ拒ミタルトキ囑託人ノ求アレハ其理由ヲ記シテ渡ス可シ
- 第九條 公證人ノ職務執行上ニ關シ不服アル者ハ管轄始審裁判所ニ抗告スルコトヲ得
- 第十條 公證人ハ公證人何某ト刻シタル方六分ノ役印ヲ作り其印鑑ニ氏名ヲ手書シ之ヲ管轄始審裁判所及治安裁判所ニ差出ス可シ
- 前項ノ印鑑ヲ差出サ、ル間ハ職務ヲ行フコトヲ許サス若シ之ヲ行ヒタルトキハ其書類ハ公正ノ効ヲ有セス
- 第十一條 公證人已ムヲ得ザル事故アリテ職務ヲ行フコト能ハサルトキハ近隣ノ公證人ニ代理ヲ囑シ管轄始審裁判所ニ其旨ヲ届出可シ
- 第十二條 公證人ハ筆生ヲ置キ書類ヲ作ル補助ヲ爲サシムルコトヲ得
- 第十三條 公證人ノ作ル證書及謄本ノ用紙ハ某始審裁判所管内公證人役場ト刻シタル罫紙ヲ用フ可シ
- 第十四條 公證人ノ取扱フ可キ書類左ノ如シ
- 第一 原本 証書ノ本紙ニシテ公證人ノ保存スルモノ
- 第二 正本 原本ノ全文ヲ記シタルモノニシテ本文義務ノ執行ヲ裁判所ニ願出可キ旨ヲ其末尾ニ記載シタルモノ
- 第三 抄録正本 原本ノ一部分ヲ記シ其末尾ニ前項ト同一ノ記載アルモノ



第四 正式謄本 原本ノ全文ヲ寫シタルモノニシテ原本ニ代ヘ得可キモノ  
 第五 抄録正式謄本 原本ノ一部分ヲ抄寫シタルモノニシテ原本ニ代ヘ得可キモノ  
 第六 謄本 原本ノ全文ヲ寫シタルモノ  
 第七 抄録謄本 原本ノ一部分ヲ抄寫シタルモノ  
 第八 見出帳 日々授受シタル書類ノ番號種類等ヲ順次ニ記入スルモノ  
 第十五條 原本其他書類ノ本書ハ役場ニ之ヲ保存シ他ノ官吏ノ公證ヲ受クル爲メノ外裁判所ノ命令ニ依ルニ非サレハ役場外ニ出スコトヲ得ス  
 第十六條 裁判所ノ命令ニ依ルノ外關係外ノ者ニ書類ノ謄本ヲ渡スコカラス  
 第十七條 公證人ハ其取扱ヒタル公證事件ヲ漏洩ス可カラズ  
 第二章 公證人ノ選任及試験  
 第十八條 公證人タル可キ者ハ左ノ件々ヲ具備スルヲ要ス  
 第一 滿二十五歳以上ナル事  
 第二 身元保證金ヲ管轄始審裁判所ニ差入ル、事  
 第三 定式試験ノ及第證書ヲ有スル事但裁判官檢察官タリシ者及法學士法科大學卒業生代官人ハ此條件ヲ要セス  
 第四 丁年者二名以上ニテ其品行ヲ保證スル證書ヲ有スル事  
 第十九條 保證金ノ額ハ土地ノ狀況ニ從ヒ二百圓以上五百圓以下ニ於テ豫メ司法大臣之ヲ定ム  
 第二十條 左ニ掲グル者ハ公證人タルヲ得ス

第二 公權剝奪者クハ停止中ノ者  
 第二 盜罪詐僞罪賄賂收受ノ罪及贖物ニ關スル罪ヲ犯シ刑ヲ受ケタル者  
 第三 身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ辨償ヲ終ヘサル者  
 第四 官吏懲戒令ニ依リ免職セラレタル者  
 第二十一條 公證人ヲ試験スル場所及期日ハ司法大臣之ヲ定メ少クトモ二箇月前ニ告示ス可シ  
 第二十二條 試験委員ハ控訴院若クハ始審裁判所ノ裁判官二名檢察官一名トシ司法大臣臨時之ヲ命ス  
 第二十三條 試験ノ科目ハ公證人規則、民法、訴訟法、商法其他公證人ノ職務ニ關スル法律命令トス  
 第二十四條 公證人タラント欲スル者ハ願書ニ試験及第證書ノ寫ヲ添ヘ管轄始審裁判所若クハ控訴院ヲ經テ司法大臣ニ差出スヘシ但裁判官檢察官タリシ者ハ其官記法學士ハ其學位記法科大學卒業生ハ其卒業證書代官人ハ其免許狀ヲ以テ及第證書ニ代フルコトヲ得  
 第二十五條 公證人ハ司法大臣之ヲ任ス  
 第二十六條 試験ノ方法ハ筆記口述ノ二種トス筆記試験ニ合格セサル者ハ口述試験ヲ受クルコトヲ得ス  
 第二十七條 試験及第者ニハ及第證書ヲ授與ス  
 第三章 證書  
 第一節 證書ノ原本



第二十八條 公證人證書ヲ作ルニハ其囑託人ノ氏名ヲ知り面識アルヲ必要トシ且丁年者一名ノ立會人ヲ要ス之ニ違ヒタルトキハ其證書ハ公正ノ効ヲ有セス

公證人囑託人ノ氏名ヲ知ラス面識ナキトキハ其本籍或ハ寄留地ノ郡區長若クハ戶長ノ證明書又ハ公證人氏名ヲ知り面識アル丁年者二人以上ヲ以テ其人ヲ證セシム可シ之ニ違ヒタルトキハ其證書ハ公正ノ効ヲ有セス

第二十九條 左ニ掲ケル者ハ立會人タルコトヲ得ス

第一 公證人及囑託人ノ親屬雇人又ハ公證人ノ筆生

第二 第二十條ニ掲ケタル者

第三十條 證書ニハ其本旨ノ外左ノ件々ヲ記載ス可シ

第一 囑託人及立會人ノ族籍住所職業氏名年齢

第二 囑託人代理人ナルトキハ委任狀ヲ所持シタルコト及其本人ノ族籍住所職業氏名年齢

第三 囑託人後見人ナルトキハ後見人タルノ證書ヲ所持シタルコト及其本人ノ族籍住所職業氏名年齢

第四 郡區長戶長ノ證明ヲ以テ證シタルトキハ其旨又證人ヲ要シタルトキハ其族籍住所職業氏名年齢

第五 證書ヲ作リシ場所及其年月日若シ場所ヲ記セス又ハ年月日ノ記入ヲ遺脱シタルトキハ其證書ハ公正ノ効ヲ有セス

第三十一條 證書ヲ作ルニハ普通平易ノ語ヲ用ヒ字畫明瞭ナルヲ要ス

接續ス可キ字行ニ空白アルトキハ黒線ヲ以テ之ヲ接續ス可シ

數量並ニ年月日ヲ記スルコトハ壹貳參肆伍陸柒捌玖拾陌阡萬ノ字ヲ用フヘシ

第三十二條 度量衡貨幣ノ數量、名稱及曆法ハ法律ノ定ムル所ニ從ヒ之ヲ記スヘシ

既ニ廢シタル度量衡、貨幣、曆法又ハ外國ノ度量衡、貨幣、曆法ヲ記セサルヲ得サル場合ニ於テハ之ヲ用フルコトヲ得

第三十三條 證書ニ追加改正ヲ爲ストキハ其文字並ニ何行ニ追加改正ヲ爲シタルコトヲ欄外又ハ末尾ノ餘白ニ附記シ公證人並ニ關係人捺印スヘシ又文中消字ヲ爲ストキハ其原字ノ尙ホ明

カニ讀得可キコトヲ要ス且何行ニ若干字ヲ消シタルコトヲ欄外又ハ末尾ノ餘白ニ附記シ公證人並ニ關係人捺印ス可シ之ニ違ヒタルトキハ追加、改正、消字ノ効ヲ有セス

第三十四條 證書ヲ作リタルトキハ關係人ニ讀聞セ其旨ヲ記入シ然ル後ニ公證人並ニ關係人各自署名捺印シ公證人ハ某治安裁判所管内某地住居ト肩書ス可シ

公證人並ニ關係人ノ署名捺印ナキトキハ其證書ハ公正ノ効ヲ有セス

若シ署名スル能ハザル者アルトキハ明治十年第五十號ノ布告ニ從フ可シ之ニ違ヒタルトキハ其證書ハ其公正ノ効ヲ有セス

第三十五條 證書ノ綴目合目ニハ公證人並ニ囑託人之ニ捺印スヘシ

第三十六條 公證人ハ自己及親屬ノ爲メニ證書ヲ作ルコトヲ得ス其親屬他人ノ代理人タルトキモ亦同シ之ニ違ヒタルトキハ其證書ハ公正ノ効ヲ有セス

第三十七條 公證人若シ囑託人ノ爲メ訴訟代人若クハ代言人ト爲リ又ハ爲リタルコトアルトキ



ハ其訴訟事件ニ付證書ヲ作ルコトヲ得ス之レニ違ヒタルトキハ其證書ハ公正ノ効ヲ有セス  
第三十八條 公證人ハ自己親屬立會人又ハ證人ノ爲メニ利益アル條件ヲ證書中ニ記ス可カラス  
若シ之ヲ記シタルトキハ其條件ハ無効トス

第三十九條 公證人ハ證書ノ原本ヲ保存ス可シ若シ之ヲ保存セス又ハ亡失シタル場合ニ於テ第  
四十七條ノ手續ヲ爲サ、ルトキハ其證書ハ公正ノ効ヲ有セス

第四十條 囑託人若シ代理人又ハ後見人ナルトキハ其委任狀又ハ其證書ノ寫ヲ原本ニ連綴ス可  
シ其寫ニハ本書ト對照シ相違ナキ旨ヲ附記シ公證人並ニ關係人署名捺印シ其寫ト本書トニ割  
印ス可シ

第四十一條 證書ニ關係ノ書類ハ之ヲ原本ニ連綴スルコトヲ得之ヲ連綴シタルトキハ其旨ヲ原  
本ノ欄外又ハ末尾ニ附記シ公證人並ニ關係人捺印ス可シ

第四十二條 原本ニハ證券印稅規則ニ定メタル印紙ヲ貼用スヘシ  
第二節 正本及謄本

第四十三條 正本ハ數量ノ定マリタル金錢其他換用物若クハ有價證券ノ支辨ニ限リ權利者ノ請  
求ニ依リ之ヲ渡ス可シ之ニ違ヒタルトキハ正本ノ効ヲ有セス

正式謄本及抄録正式謄本ハ權利者ノ請求ニ依リ之ヲ渡ス可シ  
第四十四條 正本又ハ正式謄本ハ原本ト同時ニ又ハ原本ヲ作りタル後ニ於テ之ヲ作ルコトヲ得  
原本ト同時ニ作ルトキハ關係人ノ面前ニ於テシ原本ヲ作りタル後ニ作ルトキハ更ニ義務者ノ  
立會ヲ以テス可シ義務者出席セザルトキハ正本又ハ正式謄本ヲ求ムル者ヨリ管轄始審裁判所

ニ出願シ其命令ニ依テ他ノ公證人一員又ハ裁判所ノ裁判官檢察官又ハ書記一員ノ立會ヲ以テ  
之ヲ作ル可シ之ニ違ヒタルトキハ其効ヲ有セス  
裁判所ノ命令ニ依テ原本又ハ正式謄本ヲ作りタルトキハ其末尾并ニ原本ノ末尾ニ其旨ヲ附記  
シ其命令書ハ之ヲ原本ニ連綴ス可シ

第四十五條 正本又ハ正式謄本ヲ作ルトキハ第三十一條第三十三條第三十四條第三項及第三十  
五條ノ規定ニ依ル可シ

正本又ハ正式謄本ニハ權利者ノ氏名並ニ之ヲ作りタル年月日及場所ヲ記シ公證人並ニ義務者  
署名捺印ス可シ前條第一項ノ場合ニ於テハ公證人及他ノ公證人又ハ裁判所ノ官吏署名捺印ス  
ヘシ之ニ違ヒタルトキハ其効ヲ有セス

第四十六條 正本又ハ正式謄本ヲ渡シタルトキハ原本ノ末尾其旨ト年月日トヲ附記シ權利者ヲ  
シテ署名捺印セシムヘシ

第四十七條 正本又ハ正式謄本ハ原本ノ亡失シタルトキ管轄始審裁判所ノ認可ヲ經之ヲ原本ト  
シテ保存スヘシ

第四十八條 數事件ヲ列記シ數人各自ニ關係ヲ異ニスル證書ハ權利者ノ請求ニ依リ其有用ノ部  
分ヲ抄録シテ正本又ハ正式謄本ヲ作ルコトヲ得

正本又ハ正式謄本ヲ渡シタル者ニハ更ニ抄録正本又ハ抄録正式謄本ヲ渡ス可ラス又抄録止  
本又ハ抄録正式謄本ヲ渡シタル者ニハ更ニ正本又ハ正式謄本ヲ渡ス可カラス之ヲ渡スト雖モ  
其効ヲ有セス

其効ヲ有セス

其効ヲ有セス

其効ヲ有セス

其効ヲ有セス



第四十九條 正本又ハ正式謄本ハ管轄始審裁判所ノ命令アルニ非サレハ再度之ヲ渡スコトヲ得  
ス之ヲ渡スト雖モ其効ヲ有セス  
再度以上正本又ハ正式謄本ヲ得ント欲スル者ハ其事由ヲ具シテ管轄始審裁判所ニ願出ツ可シ  
管轄始審裁判所ハ謄本ヲ保存スル公證人ニ其正本又ハ正式謄本ヲ渡スコキコトヲ命スルコト  
アルヘシ

其正本又ハ正式謄本ニハ幾度ノ正本又ハ正式謄本ナルコトト末尾ニ附記シ公證人署名捺印ス  
ヘシ之ニ違ヒタルトキハ其効ヲ有セス

第五十條 抄録正本又ハ抄録正式謄本ハ總テ正本又ハ正式謄本ト同一ノ手續ニ依リ之ヲ作ルヘ  
シ其効力モ亦同シ

第五十一條 證書ノ謄本及其附屬書類ノ寫ハ關係人ノ求メニ應シ之ヲ渡スヘシ

第五十二條 謄本ニハ原本ノ全文ヲ寫シ其末尾ニ謄本ト記シ公證人署名捺印ス可シ

第五十三條 抄録謄本ニハ原本ノ年月日及囑託人ノ族籍住所職業氏名ヲ記シ末尾ニ抄録謄本ト  
記シ公證人署名捺印ス可シ

第五十四條 管轄始審裁判所ノ命令ニ依リ關係外ノ者ニ謄本ヲ渡シタルトキハ其命令書ヲ原本  
ニ連綴シ末尾ニ命令書ヲ受ケタル旨並ニ年月日ヲ附記シ受取人ヲシテ署名捺印セシムヘシ

第三節 見出帳

第五十五條 公證人ハ見出帳ヲ作り記入前管轄始審裁判所ニ差出シ綴目合目ニ其所長ノ官印ヲ  
受クヘシ

第五十六條 見出帳ニハ日々取扱ヒタル書類中ヨリ第三十一條及第三十三條ノ規定ニ從ヒ左ノ  
件々ヲ記入ス可シ

第一 囑託人ノ住所氏名

第二 書類ノ番號種類

第三 書類ヲ取扱ヒタル年月日

第四節 兼任及書類授受

第五十七條 公證人死去失踪免職辭職轉職又ハ他ノ役場ニ轉シテ直チニ後任者ノ命セラレサル  
場合又ハ停職ノ場合ニ於テハ管轄始審裁判所ハ近鄰ノ公證人ニ命シテ其ノ事務ヲ兼任セシム  
可シ

役場ヲ廢シタルトキハ書類ノ引繼ヲ近隣ノ公證人ニ命ス可シ

第五十八條 前條ノ場合ニ於テ兼任者ナキトキ其他必要ト見認ムル場合ニ於テハ管轄始審裁判  
所ハ直ニ其役場ノ書類ニ封印ヲ爲ス可シ

第五十九條 公證人免職辭職又ハ他ノ役場ニ轉シタル場合ニ於テハ後任者又ハ兼任者ハ前任者  
ト立會ヒ書類ノ提要目錄ヲ作り共ニ署名捺印シテ授受スヘシ

死去失踪其他ノ事故ニ因リ引渡人ナキ場合ニ於テハ後任者又ハ兼任者ハ管轄始審裁判所ノ官  
吏ト立會ヒ提要目錄ヲ作り受取ル可シ

書類封印後ニ命セラレタル後任者又ハ兼任者ハ管轄始審裁判所ノ官吏ト立會ヒ封印ヲ解キ提  
要目錄ヲ作り受取ル可シ



後任者又ハ兼任者ハ提要目錄ヲ作リタル日ヨリ一月以内ニ其目錄ノ寫一通ヲ管轄始審裁判所ニ差出ス可シ

第六十條 公證人停職ノ場合ニ於テハ兼任者ハ第五十九條ノ手續ヲ爲スニ及ハス書類ノ保存ハ停職者之ヲ擔當スヘシ

兼任者ハ停職者ノ役場ニ於テ其職務ヲ行フヘシ

第六十一條 兼任者引繼ノ書類ヲ更ニ他ノ公證人ニ引渡ストキハ其命ヲ受ケタル日ヨリ三日以内ニ自己ノ引繼キタルトキノ目錄ニ依テ引渡ヲ爲シ其始末書ヲ作り受繼人ト共ニ署名捺印ス可シ

受繼人ハ始末書ヲ作りタル日ヨリ一月以内ニ其寫一通ヲ作り管轄始審裁判所ニ差出スヘシ

第六十二條 停職者復任スルトキハ管轄始審裁判所ヨリ兼任者ニ解任ヲ命ス可シ

第六十三條 前任者ノ作りタル原本ニ依テ後任者正本又ハ謄本ヲ渡ストキハ其受繼人タル旨ヲ附記ス可シ

附記ス可シ

本任者ノ作りタル原本ニ依テ兼任者正本又ハ謄本ヲ渡ストキハ兼任者タル旨ヲ附記ス可シ

第四章 手数料及旅費日當

第六十四條 公證人ハ此章ニ定メタル程限ニ從ヒ囑託人ヨリ手数料及旅費日當ヲ受クルコトヲ得

第六十五條 手数料ハ原本一枚ニ付キ貳十五錢正本及謄本ハ一枚ニ付拾錢但一行二十字二十行ヲ以テ一枚トシ十行以上ハ一枚十行以下ハ半枚ヲ以テ算ス

第六十六條 囑託人ノ求メニヨリ先ツ証書ノ草案ヲ渡シ後其原本ヲ作りタルトキハ草案ノ手数料ヲ別ニ請求スルコトヲ得ス但其原本ヲ作ラサルトキハ原本手数料ノ半額ヲ受クルコトヲ得

第六十七條 公證人其役場ヨリ一里以外ノ地ニ往テ職務ヲ行フトキハ往返トモ旅費トシテ一里毎ニ貳拾錢ヲ受クルコトヲ得其職務ヲ行フ爲メ或ハ災變ノ爲メニ其場所又ハ途中ニ滞留スルトキハ日當七拾錢ヲ受クルコトヲ得

第六十八條 兼任者本任者ニ代リテ職務ヲ行フトキハ其手数料ハ總テ兼任者之ヲ受ク可シ

第六十九條 手数料ノ外證券印紙并ニ郵紙ノ代價ハ囑託人ヨリ之ヲ受クルコトヲ得

第七十條 囑託人ノ求メアルトキハ手数料等ノ計算書ヲ與フ可シ

第七十一條 手数料等ニ係リ争ノ生シタルトキハ其金額ニ拘ハラヌ管轄始審裁判所ニ訴フ可シ

第五章 懲罰

第七十二條 公證人此規則ヲ犯シタルトキハ管轄始審裁判所ニ於テ第七十三條ヨリ第七十六條マテニ定メタル規定ニ依リ處分スヘシ

第七十三條 左ノ違犯ハ五十錢以上一圓九十五錢以下ノ過料ニ處ス

第八條ニ違ヒタル時

第十一條ニ違ヒタル時

第十三條ニ違ヒタルキト

第三十條ノ第一第二第三第四ノ規定ニ違ヒタル時

第三十一條ノ第二項又ハ第三項ニ違ヒタル時



- 第三十二條ノ第一項ニ違ヒタル時
- 第三十四條ノ第一項ニ違ヒ譴問セシコトヲ記入セス又ハ肩書ヲ爲サ、リシ時
- 第三十五條ニ違ヒタル時
- 第四十條ニ違ヒタル時
- 第四十一條ニ違ヒタル時
- 第四十二條ニ違ヒタル時
- 第四十四條ノ第二項ニ違ヒタル時
- 第四十六條ニ違ヒタル時
- 第五十二條ニ違ヒタル時
- 第五十三條ニ違ヒタル時
- 第五十四條ニ違ヒタル時
- 第五十五條ニ違ヒタル時
- 第五十九條ノ第四項ニ違ヒタル時
- 第六十一條ニ違ヒタル時
- 第六十三條ニ違ヒタル時
- 第七十四條 左ノ違犯ハ二圓以上五圓以下ノ過料ニ處ス
- 第四十三條ニ違ヒタル時
- 第四十四條ノ第二項ニ違ヒタル時

- 第四十五條ノ第二項ニ違ヒタル時
- 第四十八條ノ第二項ニ違ヒタル時
- 第四十九條ノ第一項又ハ第三項ニ違ヒタル時
- 第七十五條 左ノ違犯ハ五圓以上三十圓以下ノ過料ニ處ス
- 第二條ニ違ヒタル時
- 第七條ニ違ヒタル時
- 第十條ノ第二項ニ違ヒタル時
- 第二十八條ニ違ヒタル時
- 第三十條ノ第五ノ規定ニ違ヒタル時
- 第三十三條ニ違ヒタル時
- 第三十四條ノ第二項又ハ第三項ニ違ヒタル時
- 第三十六條ニ違ヒタル時
- 第三十七條ニ違ヒタル時
- 第三十八條ニ違ヒタル時
- 第三十九條ニ違ヒタル時
- 第七十六條 左ノ違犯ハ一ヶ月以上四ヶ月以下ノ停職ニ處ス
- 第四條ノ第一項ニ違ヒタル時
- 第十五條ニ違ヒタル時



第十六條ニ違ヒタル時

第十七條ニ違ヒタル時

第七十七條 公證人前數條ニ掲ケタル懲罰處分ニ對シ不服アルトキハ管轄控訴院ニ抗告スルコトヲ得但抗告ハ其處分ノ執行ヲ停止スルノ効力ナキモノトス

第七十八條 公證人停職ニ當ル所爲三度ニ及ヒタルトキハ司法大臣其職ヲ免ス

第二十條ノ第一第二第三ニ記載シタル處分ヲ受ケ又ハ身許保證金ヲ差入レサルトキ亦前項ニ同シ

第七十九條 公證人此規則ヲ犯シタルニ依リ他人ニ損害ヲ生セシメタルトキハ之ヲ賠償ス可シ

登記法取扱規則 明治二十三年十月二十九日 司法省令第七號

第一章 地所建物船舶ノ登記

第一節 登記簿

第一條 登記簿ハ地所建物船舶ヲ分チ別冊ト爲ス可シ

登記簿ハ前項ノ外町村毎ニ冊ヲ分チ之ヲ設ク可シ但事件寡少ナル町村ニ付テハ數町村ヲ合セ一冊ト爲スコトヲ得此場合ニ於テハ各町村毎ニ見出ヲ付ス可シ

市及ヒ事件夥多ナル町村ニ付テハ大字其他從前ノ區畫ニ從ヒ分冊スルコトヲ得

第二條 登記簿ハ一用紙毎ニ登記物件ノ番號ヲ付シ且其一用紙ヲ表題登記簿用紙中物件ノ欄ヲ設ケタル所ヲ云フ以下準之

及ヒ甲乙丙ノ三區ニ分チ仍ホ其表題及ヒ各區ヲ數欄ニ分ツモノトス

其表題ハ登記法第七條ノ第一號第二號第三號第四號及ヒ商法第八百二十六條ノ第一號第二號

第三號第四號ニ掲ケタル項目ヲ登記スルノ所トス

其甲區ハ賣買讓與等所有權ノ移轉及ヒ從來保有セル所有權ヲ登記スルノ所トス

其乙區ハ質入書入及ヒ商法第八百五十二條ノ船舶ニ對スル債權ヲ登記スルノ所トス

其丙區ハ登記法第九條ニ記載シタル諸件ヲ記入スルノ所トス

船舶登記簿ハ第一號書式ニ準シ地所建物ノ登記簿ハ從前ノ例ニ依ルヘシ

第三條 登記簿ハ登記所ノ請求ニ因リ地方裁判所長之ヲ渡スモノトス

登記所ハ凡一年間用フヘキ登記簿ノ冊數及ヒ各冊ノ枚數ヲ見積リ豫メ前項ノ請求ヲ爲ス可シ

第四條 登記簿ハ地方裁判所長其枚數ヲ表紙ノ裡面ニ記載シテ之ニ職氏名ヲ署シ職印ヲ捺シ且每葉ニ契印ス可シ

第五條 町村ノ分合アリタル場合ニ於テハ登記所ハ其旨ヲ地方裁判所長ニ申告シ更ニ分合セシ町村ニ對スル登記簿ノ下付ヲ受クヘシ

前項ノ場合ニ於テ舊登記簿其他之ニ屬スル帳簿ハ現状ノ儘之ヲ保存シ已ニ登記シタル事件ノ變更取消ハ其登記簿ニ登記ス可シ

第二節 登記手續

第六條 登記ヲ請フ者ハ第二號書式ニ準シ登記ノ件目等ヲ記載シ實印ヲ押シタル名刺ヲ登記所ニ差出スヘシ但商法ニ依リ船舶ノ登記ヲ受クルモノハ明治二十三年省令第八號第五條ニ從ヒ



陳述書ヲ差出スヘシ

登記簿ノ謄本若クハ抜書又ハ登記簿ノ閲覧ヲ請フ者又同シ

第七條 後見人ヨリ登記ヲ請フトキハ後見人タルノ證書ヲ登記所ニ差出ス可シ

代人ヲ以テ登記ヲ請フトキハ代理ノ委任狀ヲ付與シ之ヲ登記所ニ差出サシムヘシ

第八條 登記所ニ於テハ受付帳ヲ製シ置キ登記ノ出願若クハ請求等ノ順序ニ從ヒ之ニ其受付事  
件ヲ記載シ番號ヲ付シ第三號書式ニ準シ書類ノ受取證ヲ下付ス可シ

第九條 登記官ハ受付番號ノ順次ニ從ヒ願人ヲ取調ヘ證書類ヲ審査シ登記ノ手續ヲ爲ス可シ

第十條 登記簿ニ未タ登記セサル地所建物船舶ニ付キ初テ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ先ツ登記簿  
表題ノ部ニ其物件ヲ記載シ相當區ニ登記ノ手續ヲ爲スヘシ

第十一條 乙區ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テ未タ物件及ヒ所有者ノ登記アラサルトキハ前條ノ手續  
ヲ爲シタル上甲區中登記事由ノ欄内ニ書入若クハ質入ノ登記出願ニ付記載セシ旨ヲ記シ乙區  
中ニ出願事件ノ登記ヲ爲ス可シ

丙區ノ記入ヲ爲ス場合ニ於テ未タ所有者ノ登記アラサルトキハ前條及ヒ本條前項ニ準シ物件  
及所有者ノ氏名ヲ記載シ丙區中ニ命令事件ノ記入ヲ爲スヘシ

第十二條 登記物件ノ番號ハ初テ其物件ヲ記載スル毎ニ出願若クハ請求ノ順序ニ從ヒ之ヲ付ス  
ルモノトス但其番號ハ町村毎ニ之ヲ區別シテ仍ホ地所建物船舶ヲ區別シテ之ヲ付スヘシ  
同時ニ登記ヲ求メ且ツ同一ノ所有者ニ屬スル同種類ノ物件ハ同町村内ニ在リテ且合録ノ爲メ  
混雜ヲ生スルノ憂ナキニ於テハ之ヲ同番號中ニ記載ス可シ若シ其物件多數ニシテ同番號中ニ

記載スル能ハサルトキハ所有者ノ意見ヲ聽キ便宜分割シテ次ノ番號中ニ記載スルコトヲ得

第十三條 一番號中ニ記載セシ數物件ヲ分テ又ハ一物件ヲ割テ賣買讓與スルトキハ表題部中取  
消ノ欄内ニ其要領及ヒ第何號ニ移シタルコトヲ記載シ分割シタル物件ハ未タ登記ヲ爲サ、ル  
用紙ニ記載シテ新番號ヲ付シ且第何號ヨリ移シタルコトヲ付記ス可シ其他ノ手續ハ通常ノ場  
合ニ同シ

前項ノ場合ニ於テ舊番號中分割セラレタル物件ハ之ヲ抹ス可シ若シ一物件ヲ割キタルトキ  
ハ更ニ殘餘ノ現狀ヲ記載ス可シ

數番號ニ登記セシ物件ヲ合併シテ賣買讓與スルトキハ各番號中甲區登記事由ノ欄内ニ其旨ヲ  
明記シテ登記ヲ爲ス可シ

第十四條 一番號中ノ物件ヲ分割シテ質入書入若クハ差押等ヲ爲ストキハ乙區若クハ丙區ノ登  
記事由欄内ニ何々ノ物件ヲ質入書入若クハ差押等ヲ爲シタルコトヲ明記シテ登記ヲ爲スヘシ  
數番號ニ屬スル物件ヲ合併シテ質入書入ト爲ストキハ各番號中乙區登記事由ノ欄内ニ其旨ヲ  
明記シテ登記ヲ爲スヘシ

第十五條 登記法第二十二條ノ場合ニ於テハ乙區登記事由欄内ニ第二債主ニ於テ其質入又ハ書  
入中ニ係ルコトヲ了知セル旨ヲ明記シテ登記ヲ爲ス可シ

第十六條 物件ヲ分割シテ賣買讓與スル爲メ第十一條ノ手續ヲ爲ス場合ニ於テ新ニ番號ヲ付ス  
ヘキ物件既ニ舊番號ノ物件ト共ニ書入質入ト爲リタルモノナルトキハ新番號ノ表頭部中物件  
ヲ記載シタル側ニ第何號舊番號ノ物件ト連帶シテ書入若クハ質入トナリタルモノナルコトヲ



付記ス可シ

其書入若クハ質入ヲ取消シタル場合ニ於テハ前項ノ付記ヲ朱抹ス可シ

第十七條 質入書人ノ權ヲ賣買讓與シ相續ノ場  
合ヲ除ク又ハ他人ニ於テ負債者ノ負債ヲ辨濟シテ債主ノ權

ニ代ル等權利ノ他人ニ移リタル場合ニ於テ登記ヲ出願シタルトキハ之ヲ乙區變更ノ欄内ニ登  
記スヘシ

質入書入ノ債主負債主ト協議ノ上質入書入トナシタル物件ヲ引取り所有者ト爲リタル場合ニ  
於テハ乙區取消ノ欄内及甲區登記事由ノ欄内ニ其要旨ヲ登記ス可シ

第十八條 質入ヲ變更シテ書入ト爲シ書入ヲ變更シテ質入ト爲シ又ハ利息期限等ヲ變更シタル  
場合ニ於テハ之ヲ乙區變更ノ欄内ニ登記スヘシ

商法第八百五十四條ノ裏書讓渡モ亦タ乙區變更ノ欄内ニ登記ス可シ

第十九條 登記法第十五條及ヒ第四十條ノ場合ニ於テ登記ヲ爲ス可キ土地若シ華族世襲財產ナ  
ルトキハ請求者ノ申出ニ依リ世襲財產タル旨ヲ表題部中物件ノ側ニ記入ス可シ

第二十條 登記法第四十條ノ場合ニ於テハ甲區登記事由欄内ニ從來保有スル所有權ヲ明確ナラ  
シメシカ爲メ登記出願ニ付何々ノ證明書類ニ依リ登記スル旨ヲ記載シ價格及權利移付者ノ欄  
ヲ朱抹ス可シ

第二十一條 従前ノ公證簿ニ登記セシ書入質入ノ取消ヲ願出タルトキハ手数料ヲ徵收セス舊手  
續ニ依リ之ヲ終結ス可シ

若シ變更ノ登記ヲ願出タルトキハ第十一條ノ例ニ準シ所有者及ヒ原契約ヲ登記シタル上乙區

變更ノ欄内ニ其登記ヲ爲ス可シ此場合ニ於テハ變更ノ手数料ヲ徵收ス可キモノトス

第二十二條 登記ヲ受ケタル物件ノ全部若クハ一部毀壞燒失流亡等ニ依リテ消滅シタルトキハ  
其物件ノ所有者ヨリ登記ヲ爲シタル登記所ニ書面ヲ以テ其旨ヲ届出ツ可シ但其物件質入書入  
又ハ差押等ニ係ルトキハ債主又ハ差押等ノ權利者ノ連印ヲ要ス

地目變換ノ場合ニ於テモ亦前項ノ例ニ準シ届出ヲ爲ス可シ

第二十三條 前條ニ依リ毀壞燒失流亡等ノ届出アリタルトキハ表題部中取消欄内ニ之ヲ登記シ  
其物件ハ朱抹ス可シ若シ殘餘アルトキハ第十三條第二項ノ例ニ準シ其現狀ヲ記載ス可シ  
地目變換ヲ届出タルトキハ表題部中記載シタル地目ヲ更正シ其旨ヲ付記ス可シ

前二項ノ場合ニ於テハ手数料ヲ徵收ス

登記法第四十一條ニ依リ土地臺帳所管廳ヨリ變換ノ通知ヲ受タルトキモ亦タ表題部ノ物件ニ  
付テ訂正ヲ爲ス可シ

第二十四條 船舶ノ登記ニ付テハ明治二十三年勅令第二百十九號船舶規則第一條ニ依リ定メタ  
ル船舶港ヲ管轄スル登記所ヲ以テ定繫場ノ登記所トス

第二十五條 商法ニ依リ爲スベキ船舶ノ登記ハ明治二十三年省令第八號第六條第七條及ヒ第十  
條ヲ適用ス

第二十六條 鑑札アル船舶ニ付始メテ登記ヲ請フモノハ其鑑札ヲ示ス可シ但船舶ニ釘付シタル  
モノハ此限リニ在ラス

商法ニ依リ船舶ノ登記ヲ請フモノハ船舶證書其他商法ノ規定ニ從ヒ必要ナル證明書類ヲ示ス



可シ

第二十七條 登記所ノ同管内ニ在リテ船舶ノ定繋場ヲ更改シタルトキハ登記ノ變更ヲ請フ可シ其登記所ハ轉入セシ町村ノ登記簿ニ其物件及ヒ所有者ヲ轉寫シ表題部中物件ヲ記載シタル側ニ某町村ヨリ轉入セシ旨ヲ付記シ若シ船舶既ニ書入質入又ハ差押等トナルタルモノナルトキハ其旨ヲモ付記ス可シ轉出セシ町村ノ登記簿ニハ其表題部中取消ノ欄内ニ轉出ノ旨ヲ記載シテ其物件ハ朱抹ス可シ

若シ他ノ登記所ニ屬スル町村ニ轉入スルトキハ原登記所ヨリ登記簿ノ抜書ヲ受ケ之ヲ轉入地ノ登記所ニ差出シ其登記ヲ請フ可シ

前項ノ抜書ニハ現存セル所有權、書入質、差押其他ノ負擔ヲ摘載シ且轉出ノ旨ヲ付記シ之ヲ本人ニ下付シテ轉入スル登記所ニ差出サシメ其登記所ハ其抜書ニ依リ登記ヲ爲シ登記簿ノ通知ヲ原登記所ニ送致ス可ク原登記所ハ其通知ニ依リ前項ノ例ニ準シ轉出ノ旨ヲ記載ス可シ

前二項ノ場合ニ於テハ登記法第三十條第一號第二號ノ規定ニ依リ變更及ヒ抜書ノ手数料ヲ徵收スルモノトス

第二十八條 建物ニ付キ登記ヲ請フトキハ其圖面ヲ登記所ニ差出ス可シ

建物ノ圖面ハ邸地ノ形狀、坪數、(段別)方位及ヒ建物ノ形狀、間尺、位置等ヲ記シ登記ヲ受ク可キ建物ノ圖ハ墨引墨字ト爲シ登記外ナル建物アルトキハ其圖ハ朱引朱字ト爲ス可シ

建物ノ圖面ニハ登記法第九條第十六條第十七條第十八條第十九條ノ場合ヲ除クノ外結約者雙方之ニ署名捺印ス可シ但同第十五條第二項ノ場合ニ於テハ親屬又ハ近隣戶主之ニ連署ス可シ

地所船舶ニ付キ圖面アルトキモ亦前項ニ定メタル署名捺印若クハ連署ヲ要ス

第二十九條 登記事件ニ附屬スル圖面アルトキハ登記簿表題中ニ其旨ヲ記載シ其圖面ニ登記物件ノ番號ヲ記シ帳簿ニ編入ス可シ

第二十條 登記ノ爲メ差出シタル原證書ニハ登記簿ノ上登記官吏之ニ登記物件ノ番號及ヒ登記簿ノ旨ヲ記載シ年月日ヲ附シ且登記所ノ印ヲ捺シテ受取證持參人ニ其受取證ト引換ニテ還付ス可シ

前項ノ記載ヲ以テ登記法第二十條ニ定メタル登記簿ノ證トス但此記載ヲ爲スベキ證書ナキトキハ物件ヲ記シタル書面ヲ差出サシメ前項ニ準シ登記簿ノ旨ヲ記入シテ本人ニ下付スベシ

第三十一條 登記簿ノ一用紙中或ル欄内更ニ登記ヲ爲ス可キ餘白ナキニ至リタルトキハ其登記簿中未タ登記ヲ爲サル他ノ用紙ニ原番號ヲ轉寫シ之ニ其番號ノ第二ナルコトヲ付記シ原用紙番號ノ下ニハ第一ノ文字ヲ追加シ且第何冊何丁ニ續ク旨ヲ記載ス可シ第三以下ノ續ク設クルトキ亦此例ニ準ス

前項ノ場合ニ於テ新用紙ニハ原用紙ニ記載アル登記ノ順番ヲ繼續シテ之ヲ付ス可シ

第三十二條 登記簿ニ登記ヲ爲ス字畫ハ鮮明ナルヲ要ス又金錢物品ノ數量ヲ記スルニハ必ス壹貳參拾ノ文字ヲ用フ可シ

登記ヲ爲スニハ之ヲ墨書ス可シ

文字ハ之ヲ改竄ス可カラス若シ削除スルトキハ讀得ヘキ爲メ字體ヲ存ス可シ  
訂正挿入削除等ヲ爲シタルトキハ登記官吏之ニ認印ス可シ



本條ノ規定ハ受付帳ニモ亦タ之ヲ適用ス

第三節 帳簿及ヒ謄本抜書

第三十二條 登記簿及ヒ受付帳ノ外登記所使用ノ帳簿ハ左ノ如シ

- 一 登記見出帳
  - 二 證書謄本綴込帳
  - 三 謄本下付帳
  - 四 登記済証下付帳
  - 五 圖面綴込帳
  - 六 請求書綴込帳 裁判所又ハ行政廳ノ登記請求書ヲ綴込シタルモノ
  - 七 登記願書綴込帳 登記法第十五條第二項ノ書面ヲ綴込タルモノ
  - 八 證明書綴込帳 登記法第四十條ノ證明書類ヲ綴込タルモノ
  - 九 名刺綴込帳
  - 十 代理及ヒ後見ノ證書綴込帳
- 商法ニ依リ船舶登記ヲ受クル爲メ差出タル書類ハ明治二十三年省令第八號第八條ニ從ヒ之ヲ保存ス可シ
- 第三十四條 登記見出帳ハ地所建物ニ付テハ地所ノ番號ニ依リ船舶ニ付テハ十五噸以上及ヒ百五十石以上ハ其船名ニ依リ其以下ノモノハ鑑札ノ番號ニ依リ登記物件ノ番號ヲ付スル毎ニ各番號ヲ記入スルモノトス

同番號ノ地所ニシテ數筆ニ分レタルモノニ付テハ其分筆ノ爲メニ付シタル符號ヲ番地ノ下ニ記載ス可シ

同番地ニアル建物ニシテ棟ヲ異ニシタルトキハ建物ノ番號ヲ番地ノ下ニ記載シテ之ヲ區別ス可シ

番地若クハ棟ヲ同フスル建物ヲ分割シテ賣買讓與質入書入ト爲ストキハ其各部ノ建物ニ于テ寅卯ノ符合ヲ付シテ之ヲ區別ス可シ

前三項ノ區別ハ登記簿ニモ亦之ヲ記載ス可キモノトス

第三十五條 登記ヲ請フ爲メ登記法第十四條第二十一條第一項及ヒ第二十三條ニ依リ差出シタル證書ノ謄本ハ甲部乙部ニ別テ綴込シ各箇ニ番號ヲ付シ且登記簿ノ市町村名冊號及ヒ丁數ヲ記ス可シ其登記簿ニハ相當欄内ニ何部謄本綴込帳第何號ト記入スヘシ

甲部謄本綴込帳ハ登記簿中甲區ノ登記ニ關スルモノヲ保存スルモノトス

乙部謄本綴込帳ハ登記簿中乙區ノ登記ニ關スルモノヲ保存スルモノトス

謄本綴込簿ハ一箇年ヲ以テ一冊ト爲シ其表紙ニ明治何年分ト記ス可シ但事件夥多ナル登記所ニ在リテハ第一第二ノ符號ヲ以テ一箇年分ヲ分冊シテ綴込ムコトヲ得

第三十六條 登記済ノ證ヲ請フ者アルトキハ其願書ニ記載アル物件ヲ登記簿ト照査シタル上登記済ノ旨ヲ朱記シ登記済下付帳ト割印シテ之ヲ下付スヘシ



登記ニ關スル帳簿ハ之ヲ保存スル爲メノ外登記所外ニ出スコトヲ得ス  
第三十八條 登記簿ノ閲覧ヲ請フ者アルトキハ官吏ノ職務ヲ以テ閲覧スルノ外吏員ノ面前ニ於テ之ヲ閲覧セシム可シ

第三十九條 登記簿ノ謄本若クハ抜書ヲ請フ者アルトキハ其用紙ニ謄寫シ謄本下付帳ト割印シテ之ヲ下付ス可シ但手数料ヲ領收セサル前ニ謄本又ハ抜書ヲ下付スルコトヲ得ス  
第四十條 謄本ハ登記簿用紙ノ全部ヲ遺漏ナク謄寫シテ之ヲ作ル可シ  
抜書ハ請求アル部分ノニ登記簿ヨリ摘寫シテ之ヲ作ル可シ

第四十一條 登記所ニ出頭セスシテ謄本又ハ抜書ヲ請フ者アルトキハ手数料ノ外郵送料ヲ前納スルニ於テハ之ヲ送付ス可シ

第四節 登記料手数料及ヒ評價費用

第四十二條 登記印紙ハ名刺又ハ陳述書ニ之ヲ貼用ス可シ但登記官吏ハ貼用印紙ノ過不足ヲ調査シタル後之ヲ消印セシムルコトヲ得

第四十三條 登記法第三十二條ニ依リ評價ヲ要スル場合ニ於テハ登記料ヲ納ムル者ヨリ登記所ノ見積タル費用金額ヲ豫納ス可シ

第四十四條 登記所ニ於テハ評價人ヲシテ速ニ物件ノ所在ニ就キ價格ヲ評定シ其評價書ヲ差出サシム可シ  
評價人中ノ一名意見ヲ異ニスルトキハ他ノ二名ノ意見ニ依リ價格ヲ定ム可ク若シ各自意見ヲ異ニスルトキハ更ニ評價人ヲ撰定ス可シ

第四十五條 登記法第三十三條ニ依リ評價ノ費用ヲ本人ニ負擔セシム可キトキハ豫納金ヲ以テ之ヲ支辨シ殘額アルトキハ之ヲ還付ス可ク不足スルトキハ納完スルマテ登記ヲ爲ス可カラス

第二章 特許、意匠及ヒ商標ノ登記

第四十六條 特許、意匠及ヒ商標ノ登記ハ農商務省特許局ノ通知ニ依リ第四號書式ニ準シ之ヲ爲スモノトス

第四十七條 明治二十三年十一月一日以後ニ特許、意匠及ヒ商標ノ登録ヲ受ケ又ハ賣與、讓與、共有、書入ヲ爲シタル者其居住地ヲ轉スルトキハ從前ノ居住地ヲ管轄スル登記所ニ自身ニテ又ハ郵便ヲ以テ其旨ヲ届出ツ可シ

前項ノ届出アリタルトキハ登記所ハ登記簿ノ謄本ヲ作リ之ヲ轉住地ノ登記所ニ送付シ登記簿ニ轉出ノ旨ヲ記載ス可シ

其送付ヲ受ケタル登記所ハ其謄本ニ依リ登記簿ニ登記ヲ爲シ且轉入シタル旨及ヒ其年月日ヲ附記ス可シ

第四十八條 第三條第四條第三十二條第三十七條第三十八條第三十九條及第四十條ハ本章ノ登記ニモ之ヲ適用ス

附則

第四十九條 既ニ登記簿ニ登記シアル船舶ニ付商法第八百二十五條及ヒ商法施行條例第二十九條ニ依リ登記ヲ請フモノアルトキハ登記官吏ハ其登記簿ノ物件欄内ノ餘白ニ商法第八百二十六條ニ規定シタル事項ヲ追記シ年月日ヲ付シ署名捺印ス可シ



(參照) 明治十九年十二月司法省令甲第五號ハ登記請求手續ナリ

執達吏規則 明治二十三年七月二十四日  
法律第五十一號

執達吏規則

- 第一條 執達吏ハ區裁判所ニ屬シ法律ニ從ヒ訴訟ニ關スル書類ヲ送達シ及裁判ヲ執行スルモノトス
- 第二條 執達吏ハ當事者ノ委任ニ依リ左ノ事務ヲ取扱フコトヲ得
  - 第一 告知及催告ヲ爲スコト
  - 第二 動産不動産ノ任意競賣ヲ爲スコト
  - 第三 拒證書ヲ作ルコト
- 第三條 執達吏ハ法律規則ニ定メタル職務ノ外裁判所及檢事局ノ命令ニ依リ其職務ニ應スル事務殊ニ左ノ事務ヲ取扱フノ義務アリ
  - 第一 書類物品ノ送付ヲ爲スコト
  - 第二 罰金科料過料ヲ徴収シ及沒收物品ノ取上ケ若クハ賣却スルコト
  - 第三 令狀ノ執行ヲ爲スコト
- 第四條 執達吏ハ所屬區裁判所ノ一人ノ判事若クハ監督判事ノ監督ヲ受ク  
他ノ判事又ハ檢事ニシテ職務上事務ヲ命シタルトキハ其事務ニ限リ執達吏ニ對シ監督權ヲ有

ス

- 第五條 執達吏ハ所屬區裁判所所在地ニ住居ヲ定ムヘシ但地方裁判所長ノ許可ヲ得タルトキハ其區裁判所管轄内ニ限リ他ノ地ニ住居ヲ定ムルコトヲ得
- 第六條 執達吏ハ所屬區裁判所所在地ニ役場ヲ設クヘシ
- 第七條 一區裁判所ニ數名ノ執達吏アルトキハ裁判所及檢事局ノ命令ニ依ル事務ト裁判所書記ヲ經テ委任スヘキ事務トヲ各執達吏ニ分配スベシ此分配ハ成ルベク土地ノ區域ニ從フヘシ  
事務分配ハ毎司法年度ノ終ニ於テ區裁判所ノ一人ノ判事若クハ監督判事前以テ之ヲ定ム  
執達吏ノ爲シタル事務ハ事務分配上其事務他ノ執達吏ニ屬シタリトノ事實ノミニ因リ其効力ヲ失フコトナシ
- 第八條 執達吏ハ左ノ場合ニ於テハ其職務ノ施行ヨリ除斥セラルヘシ
  - 第一 自己又ハ其婦カ當事者若クハ被害者タルトキ又ハ當事者ノ一方若クハ雙方又ハ被害者ト共同權利者共同義務者若クハ償還義務者タルノ關係ヲ有スルトキ
  - 第二 自己又ハ其婦カ當事者ノ一方若クハ雙方又ハ被害者又ハ其配偶者ト親族ナルトキ但姻族ニ付テハ婚姻ノ解除シタルトキト雖亦同シ
  - 第三 自己カ同一ノ事件ニ付證人若クハ鑑定人ト爲リテ訊問ヲ受クルトキ又ハ法律上代理人ト爲ルノ權利ヲ有スルトキ若クハ之ヲ有シタルトキ
- 第九條 執達吏ハ民事訴訟ニ付テ其婦又ハ自己若クハ其婦ノ親族ノ爲ニシテ訴訟代理人及補佐人トシテ法廷ニ出ルコトヲ得但姻族ニ付テハ婚姻ノ解除シタルトキト雖亦同シ



第十條 執達吏ハ其職務ヲ行フヘキ命令若クハ委任ヲ受クルトキハ正當ノ理由ナクシテ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第十一條 執達吏ハ特別ノ命令若クハ委任ヲ受ケタル場合ノ外自己ノ責任ヲ以テ左ニ掲クル者ニ臨時其職務ノ執行ヲ委任スルコトヲ得

第一 執達吏ノ登用試験ニ及第シタル者

第二 執達吏ノ職務修習者ニシテ三箇月以上其職務ヲ修習シタル者

第三 裁判所書記ノ登用試験ニ及第シタル者

第四 區裁判所ノ一人ノ判事若クハ監督判事ニ於テ臨時執達吏ノ職務ヲ行フニ適當ト認メタル者

第十二條 執達吏正當ノ理由アリテ其職務ヲ行フコトヲ得サルトキ又ハ之ヲ委任スルコトヲ得

サルトキハ命令ヲ爲シタル裁判所及檢事局又ハ委任ヲ爲シタル本人ニ速ニ其旨ヲ通知スベシ  
委任ヲ爲シタル本人ニ通知スルコト能ハサルトキ又ハ急速ノ處分ヲ要スルトキハ其旨ヲ區裁判所ノ一人ノ判事若クハ監督判事ニ申立ツベシ

第十三條 前條ノ場合其他執達吏差支アルトキハ區裁判所ノ一人ノ判事若クハ監督判事ハ申立

ニ因リ又ハ職權ヲ以テ第十一條ニ掲クル者ニ執達吏ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

第十四條 執達吏ハ一定ノ制服ヲ著スベシ

第十五條 臨時職務執行ノ委任ヲ受ケタル者ハ區裁判所ヨリ交付スベキ鑑札ヲ携帯スベシ  
第十六條 執達吏ハ裁判所書記ヲ經タルト否トヲ問ハス委任ヲ受ケ職務ヲ行フニ付テハ定規ノ

手数料ヲ受ケ及立替金ノ辨濟ヲ受ク

第十七條 執達吏ハ定規ノ手数料ヲ増減シ又ハ手数料及立替金ノ外報酬ヲ受クルコトヲ得ス

第十八條 執達吏第三條ニ掲クル職務ヲ行フニ付テハ立替金ノ外手数料ヲ受クルコトヲ得ス

第十九條 執達吏第十一條ノ場合ニ於テ臨時職務執行ノ委任ヲ爲シタルトキハ其委任ヲ受ケタル者ニ報酬トシテ手数料十分ノ三以上ヲ支給スベシ

第二十條 第十三條ノ場合ニ於テ臨時執達吏ノ職務ヲ行ヒタル者ハ其職務ニ付定メタル手数料ヲ受ケ及立替金ノ辨濟ヲ受ク

第二十一條 執達吏一年間ニ收入セシ手数料百八拾圓ニ充タサルトキハ國庫ヨリ其不足額ヲ支給ス

第二十二條 執達吏死亡シタルトキ又ハ停職免職若クハ勾留セラレタルトキハ區裁判所ノ一人ノ判事若クハ監督判事ハ左ノ處分ヲ爲スベシ

第一 官印帳簿其他職務ニ關スル書類ヲ區裁判所ニ差出サシムルコト

第二 執達吏職務上保管シタル物品及書類ノ保全ニ必要ノ手續ヲ爲スコト

第二十三條 執達吏ハ官吏恩給法ニ照シ恩給ヲ受ク其恩給年額ハ第十九條ニ定メタル金額ヲ俸給額ト看做シテ算定ス

第二十四條 執達吏ハ此規則ニ依ルノ外總テ一般官吏ノ例ニ依ル

第二十五條 執達吏ヲ置カサル間ハ區裁判所書記執達吏ノ職務ヲ行フ此場合ニ於テハ自己ノ責

附則



任ヲ以テ第十一條ニ掲クル者又ハ自己ノ適當ト思量スル者ニ臨時其職務ノ執行ヲ委任スルコトヲ得

裁判所書記前項ノ委任ヲ爲シタルトキハ委任ヲ受ケタル者ニ執達吏ノ職務ニ付定メタル手数料十分ノ七以上ヲ支給ベシス

執達吏手数料規則

明治二十三年七月廿四日  
法律第五十二號

執達吏手数料規則

第一條 執達吏ハ此規則ニ從ヒ手数料ヲ受ク

第二條 書類送達ノ手数料ハ一通ニ付五錢トス

第三條 有體動産及未タ土地ヨリ離レサル果實並爲替證券其他裏書ヲ以テ移轉スルコトヲ得ル證券ノ差押假差押ニ付テノ手数料ハ左ノ區別ニ從フ

執行スヘキ債權額 手数料

貳拾圓マテ 三拾錢

五拾圓マテ 五拾錢

百圓マテ 七拾五錢

貳百五拾圓マテ 壹圓

五百圓マテ 壹圓貳拾五錢

千圓マテ

壹圓五拾錢

千圓ヲ超ユルトキハ貳圓トス

若シ執務三時間以上ニ涉ルトキハ一時間毎ニ本條ニ定メタル手数料ノ十分ノ三ヲ加フ但其執務一時間ニ滿タサルモ一時間ト看做シテ算定ス

第四條 執達吏差押、假差押ヲ爲スベキ場所ニ臨ムト雖差押フヘキ物ナキトキ又ハ差押フヘキ物ヲ換價スルモ強制執行ノ費用ヲ償フテ剩餘ヲ得ル見込ナキトキハ前條ニ定メタル手数料ノ半額ヲ受ク

第五條 民事訴訟法第五百五十六條第二項、第五百八十六條第二項、第六百十五條ノ場合及既ニ差押、假差押ニ著手シタル執達吏ノ死亡若クハ其他ノ理由ニ依リ委任ノ消滅シタルトキ物ヲ換價スル爲其委任ヲ引受ケタル場合ニ於テハ執達吏ハ第三條ニ定メタル手数料ノ半額ヲ受ク

第六條 特定ノ動産又ハ代替物ノ一定ノ數量ヲ債務者ヨリ取上ケ之ヲ債權者ニ引渡ス場合ニ於テハ其手数料ヲ五拾錢トス若シ執務二時間以上ニ涉ルトキハ一時間毎ニ拾五錢ヲ加フ但其執務一時間ニ滿タサルモ一時間ト看做シテ算定ス

前項ノ場合ニ於テ執達吏其場所ニ臨ムト雖引渡スヘキ物ナキトキハ前項ニ定メタル手数料ノ半額ヲ受ク

第七條 民事訴訟法第七百三十一條第一項ノ場合ニ於テハ執務三時間以内ハ手数料ヲ五拾錢トス若シ其執務三時間以上ニ涉ルトキハ一時間毎ニ二十五錢ヲ加フ但其執務一時間ニ滿タサルモ一時間ト看做シテ算定ス



前項ノ場合ニ於テ執達吏其場所ニ臨ムト雖船舶アラサルトキハ前項ニ定メタル手数料ノ半額ヲ受ク

第八條 民事訴訟法第六百四十三條第三項ニ依リ不動産ノ取調ヲ爲ス場合ニ於テハ第三條ニ定メタル區別ニ從ヒ其手数料ヲ受ク

第九條 動産、不動産及船舶ノ競賣ニ付テノ手数料ハ左ノ區別ニ從フ但競賣ニ依リ得タル金額執行スヘキ債權額ニ超過スルトキハ其債權額ヲ以テ競賣金額ト看做ス

競賣金額 手数料

貳拾圓マテ 六拾錢

五十圓マテ 壹圓

百圓マテ 壹圓五拾錢

貳百五十圓マテ 貳圓

五百圓マテ 貳圓五拾錢

千圓マテ 四圓

以上千圓毎ニ壹圓ヲ加フ

任意競賣ニ付テモ亦前項ニ同シ

第十條 執達吏執行行爲ヲ爲スヘキ場所ニ臨マサル以前ニ民事訴訟法第五百五十條ニ依リ又ハ委任ノ消滅ニ依リ強制執行ヲ止メタルトキ又ハ支拂若クハ引渡ニ依リ強制執行ノ委任終了シタルトキハ各本條ニ定メタル手数料ノ十分ノ三ヲ受ク但第九條ノ場合ニ於テハ其手数料ヲ三

拾錢トス

第十一條 執達吏執行行爲ヲ爲スヘキ場所ニ臨ミタル後民事訴訟法第五百五十條ニ依リ又ハ委任ノ消滅ニ依リ強制執行ヲ止メタルトキ又ハ支拂若クハ引渡ニ依リ強制執行ノ委任終了シタルトキハ各本條ニ定メタル手数料ノ半額ヲ受ク但第九條ノ場合ニ於テハ其手数料ヲ五拾錢トス

第十二條 第三條乃至第十一條ノ手数料ヲ受クヘキ行爲ニハ強制執行ノ場合ニ於ケル左ノ行爲ヲ包含ス

第一 警察上ノ援助ヲ求メ又ハ證人鑑定人ノ立會ヲ爲サシムルコト

第二 執行行爲ニ屬スル催告其他ノ通知ヲ爲シ又ハ書類ノ送達ヲ爲スコト

第三 記名證券ヲ買主ノ氏名ニ書換ヘ及必要ナル陳述ヲ債務者ニ代リ爲スコト

第四 支拂其他ノ給付、差押金錢及賣却金ヲ受取り交付シ若クハ供託シ又ハ受取證書ヲ交付シ又ハ差押物ヲ還付スルコト

第五 競賣ノ公告ヲ爲スコト

第十三條 執達吏ハ立替金トシテ左ノ費用ノ辨濟ヲ受ク

第一 書記料

第二 郵便料、電信料

第三 公告料

第四 證人、鑑定人ノ手當



- 第五 職工、役夫ノ手當
- 第六 有價證券ノ記名書換及流通ヲ止メタル證券ノ流通ヲ回復スル爲ノ費用
- 第七 人及物ノ送致費用
- 第八 物ノ保存並監視ノ費用
- 第九 果實収獲ノ費用
- 第十 旅費
- 第十四條 前條ノ書記料ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ受ク
  - 第一 法律ニ依リ又ハ利害關係人ノ求ニ依リ證書及記録中ニ存スル書類ノ謄本ヲ作リタルトキ但法律ニ依リ交付スヘキ送達證書ノ謄本ハ此限ニ在ラス
  - 第二 供託ヲ爲スニ際シ執行裁判所ニ差出スヘキ届書ヲ作リタルトキ
  - 第三 差押命令ノ送達後第三債務者ノ爲ス陳述ヲ筆記シタルトキ
- 第十五條 強制執行ニ關セサル告知及催告ヲ爲ストキハ其手数料拾錢ヲ受ク
- 第十六條 執達吏拒證書ヲ作リタルトキハ手数料拾錢ヲ受ク
- 拒者ノ營業場又ハ住居ノ問合ヲ爲シ拒證書ヲ作リタルトキハ手数料貳拾錢ヲ受ク
- 第十七條 證人ニ支給スベキ日當ハ貳拾錢以下鑑定人ニ支給スヘキ日當ハ五拾錢以下トシ執達吏土地ノ情況ニ從ヒ之ヲ支給ス若シ一里以上ノ地ヨリ呼出シタルトキハ第十八條ノ規定ニ從ヒ旅費ヲ支給ス

- 第十八條 執達吏自己ノ役場ヨリ一里以上ノ地ニ至リ職務ヲ行フトキハ一里毎ニ拾錢以下ノ旅費ヲ受ク但一里ニ滿タサルモ一里ト看做シテ算定ス
- 右旅費ノ額ハ控訴院長ノ認可ヲ經テ地方裁判所長之ヲ定ム
- 第十九條 執達吏ハ總テノ事務ヲ擔任スルニ當リ手数料及立替金ノ概算額ヲ委任者ヨリ豫納セシム若シ豫納セサルトキハ委任ニ應セサルコトヲ得但裁判所及檢事局ノ命令ニ依ルトキ又ハ訴訟上ノ救助ヲ受ケタル者ノ爲ニ事務所ヲ擔任スルトキハ此限ニ在ラス
- 第二十條 執達吏ハ委任ノ終了シタル後手数料及立替金ノ辨濟ヲ受クヘキモノトス但民事訴訟法第五百五十四條ニ規定シタル場合ハ此限ニ在ラス
- 第二十一條 執達吏裁判所及檢事局ノ命令ニ依リ其職務ヲ行フ爲ニ要シタル立替金ハ三箇月毎ニ確定シテ之ヲ支給ス
- 右立替金ハ國庫ヨリ之ヲ支辨ス
- 第二十二條 訴訟上ノ救助ヲ付與シタル場合ニ於テハ執達吏ノ立替金ハ國庫ヨリ支辨ス但債務者ヨリ辨濟シ能ハサル場合ニ限ル
- 第二十三條 執達吏ハ其職務執行ニ付作リタル書類ノ正本又ハ謄本ニ手数料及立替金ノ額ヲ附記スベシ又執務時間ニ應シ其辨濟ヲ受クベキトキハ調書ニ其執務時間ヲ附記スベシ若シ之ヲ附記セサルトキハ最短ノ時間ニ付テ定メタル金額ヲ以テ算定ス

抗告手續 明治十九年十一月九日  
司法省甲第三號



抗告手續

- 第一條 登記官吏又ハ公證人ノ職務執行ニ關シ抗告ヲ爲ス者ハ抗告狀ヲ其登記官吏又ハ公證人ニ差出ス可シ
- 第二條 登記官吏又ハ公證人抗告狀ヲ受取リタルトキハ其翌日ヨリ三日以内ニ意見ヲ附シ且ツ關係書類ノ寫ヲ添ヘ抗告狀ヲ管轄始審裁判所ニ送致ス可シ
- 第三條 登記官吏又ハ公證人若シ前條ノ期限内ニ抗告狀ヲ管轄始審裁判所ニ送致セザルトキ又ハ急遽ヲ要スル場合ニ於テハ抗告者ハ直チニ管轄始審裁判所ニ抗告狀ヲ差出スコトヲ得
- 始審裁判所ハ抗告ヲ受ケタル登記官吏又ハ公證人ヲシテ意見書ヲ差出サシメ及ヒ關係書類ヲ求ムルコトヲ得
- 第四條 登記官吏又ハ公證人ハ其職務執行上ニ關シ抗告ヲ受ケタルトキハ其處分ヲ停止ス可シ
- 第五條 抗告狀ヲ受取タル管轄始審裁判所ハ書面ニ依リ判定ヲ爲ス可シ
- 始審裁判所ハ必要ナリト認ムル場合ニ於テハ抗告者其他關係人ニ書面ヲ以テ答辯セシムルコトヲ得
- 第六條 始審裁判所ハ抗告ノ判定書ヲ管轄治安裁判所ニ送致シテ之ヲ登記官吏又ハ公證人及ヒ抗告者ニ送附セシム可シ
- 始審裁判所ニ於テ抗告ヲ正當ナリト判定シタルトキハ登記官吏又ハ公證人ハ其判定ニ依リ處分ヲ更正ス可シ
- 第七條 公證人懲罰處分ニ對シ不服アル者ハ其處分ノ翌日ヨリ起算シ七日以内ニ其處分ヲ爲シタル管轄始審裁判所ニ抗告狀ヲ差出ス可シ

ル管轄始審裁判所ニ抗告狀ヲ差出ス可シ

裁判所ハ其抗告ヲ正當ナリト認ムルトキハ速ニ其不服ノ點ヲ更正ス可シ若シ之ヲ正當ナラヌト認ムルトキハ第二條ノ期日內ニ意見ヲ附シ關係書類ヲ添ヘ抗告狀ヲ管轄控訴院ニ送致ス可シ

第八條 公證人懲罰處分ニ對スル抗告ニ付テモ亦第三條ノ手續ニ依ルコトヲ得

第九條 公證人懲罰處分ニ對スル抗告狀ヲ受取タル控訴院ハ第五條ノ手續ニ從ヒ判定ヲ爲ス可シ

第十條 控訴院ハ其判定書ヲ處分ヲ爲シタル始審裁判所ニ送致シ之ヲ言渡サシム可シ

控訴院ニ於テ抗告ヲ正當ナリト判定シタルトキハ處分ヲ爲シタル始審裁判所ハ其判定ニ依リ處分ヲ更正ス可シ

第十一條 抗告ノ判定ニ對シテハ總テ上訴ヲ爲スヲ得サルモノトス

代人規則

明治廿年六月  
布告第二百拾五号

代人規則

- 第一條 凡ソ何人ニ限ラス已レノ名義ヲ以テ他人ヲシテ其事ヲ代理セシムルノ權アルベシ
- 但本人幼年等ニテ此事理ヲ辨シ難キハ其后見人及ヒ親屬ノ者協議ノ上代人ヲ任スルヲ得ベシ
- 第二條 凡ソ他人ノ委任ヲ受ケ其事件ヲ取扱フモノハ代人ニシテ其事件ヲ委任スルモノハ本人



ナリ故ニ代人委任上ノ所行ハ本人ノ關係タルベシ

第三條 凡代人ハ心術正實ニシテ滿二十歳以上ノ者ヲ撰ムベシ

第四條 代人ハ總理代人部理代人ノ別アリ總理代人ハ其本人身上諸般ノ事務ヲ代理スルモノニシテ部理代人ハ時ニ其委任スル部内ノ事務ヲ代理スルヲ得ルモノトス

第五條 凡本人ヨリ代人ヲ任シ代人契約取引等ヲ爲ント欲スルキハ必ス實印ヲ押シタル委任狀ヲ與フ可シ

但其家業取扱フ場所ニ於テ通常ノ事務ヲ取扱ハシムルノ類ハ別段委任狀ヲ與フルニ及ハス

第六條 委任狀ハ總理代人又ハ部理代人タル事及ヒ其委任シタル權限ヲ明白ニ記載スベシ

第七條 委任狀書式左ノ通

(拙者拙者共)義某ノ事件ニ付何誰ヲ以(總理代人部理代人)ト定メ拙者ノ名義ニテ左ノ權限ノ事ヲ代理爲度候事

一何々ノ事 但權限ノ次第ヲ分條記載ス可シ

右代理ノ委任狀仍如件

# 招 牌



ナリ故ニ代人委任上ノ所行ハ本人ノ關係タルベシ

第三條 凡代人ハ心術正實ニシテ滿二十歳以上ノ者ヲ撰ムベシ

第四條 代人ハ總理代人部理代人ノ別アリ總理代人ハ其本人身上諸般ノ事務ヲ代理スルモノニシテ部理代人ハ時ニ其委任スル部内ノ事務ヲ代理スルヲ得ルモノトス

第五條 凡本人ヨリ代人ヲ任シ代人契約取引等ヲ爲ント欲スルキハ必ス實印ヲ押シタル委任狀ヲ與フ可シ

但其家業取扱フ場所ニ於テ通常ノ事務ヲ取扱ハシムルノ類ハ別段委任狀ヲ與フルニ及ハス

第六條 委任狀ハ總理代人又ハ部理代人タル事及ヒ其委任シタル權限ヲ明白ニ記載スベシ

第七條 委任狀書式左ノ通

(拙者拙者共)義某ノ事件ニ付何誰ヲ以(總理代人部理代人)ト定メ拙者ノ名義ニテ左ノ權限ノ事ヲ代理爲度候事

一何々ノ事 但權限ノ次第ヲ分條記載ス可シ

右代理ノ委任狀仍如件

# 招 牌



# 招 牌

本欄ハ區内商業及各種事業家諸君ノ事業隆盛ヲ祝シ豫約者ノ需ヲニヨリ無代價ニテ其  
各種業カニハん及賣品ノ廣告ヲ掲載シタルモノナリ



正館本館町  
 廣物類御宿  
 河部商店

水産商

臺町八番地

△ 藤村駒吉



米穀商 鍛冶町七十四番地 外山 謚治

辨護士 曙町一番地 高橋文之助

時計商 惠比須町十八番地 加藤久太郎

米穀販賣所 地蔵町十三番地 石川光房

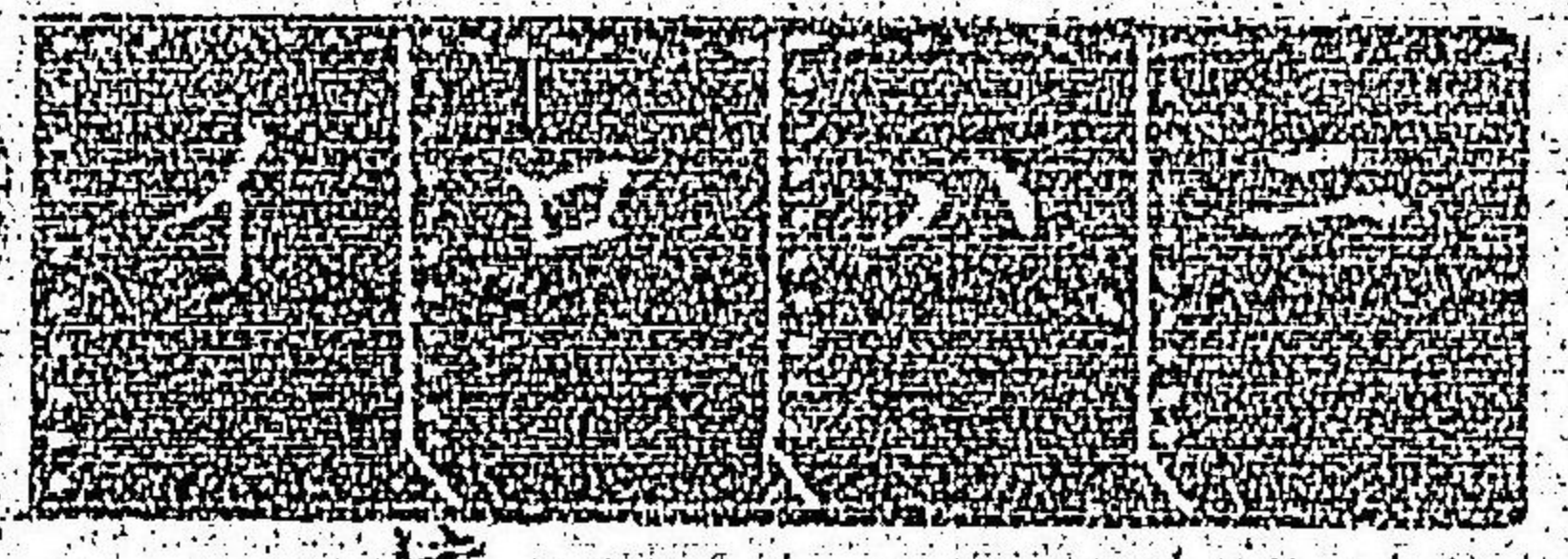
造船業 西濱町二番地 島野市郎次

漁業 住吉町二十四番地 佐藤作太郎

◎專賣特許改良屋根瓦廣告

一年十三枚  
定價金七十五錢  
五十年以上割引

圖二才



此瓦、鍍金切込

圖一才



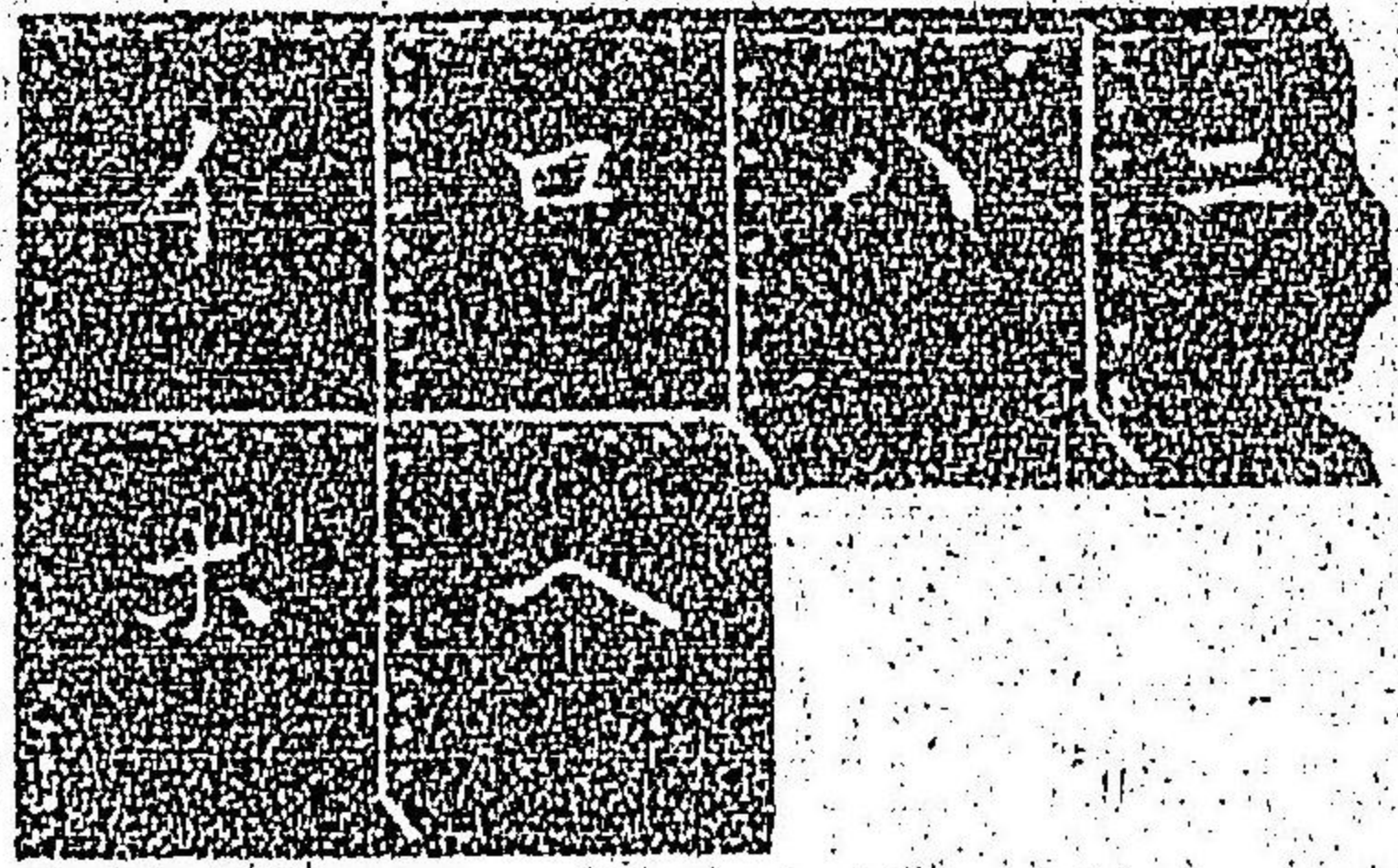
此瓦、下(留)長、枕木、又、入、込

圖三才

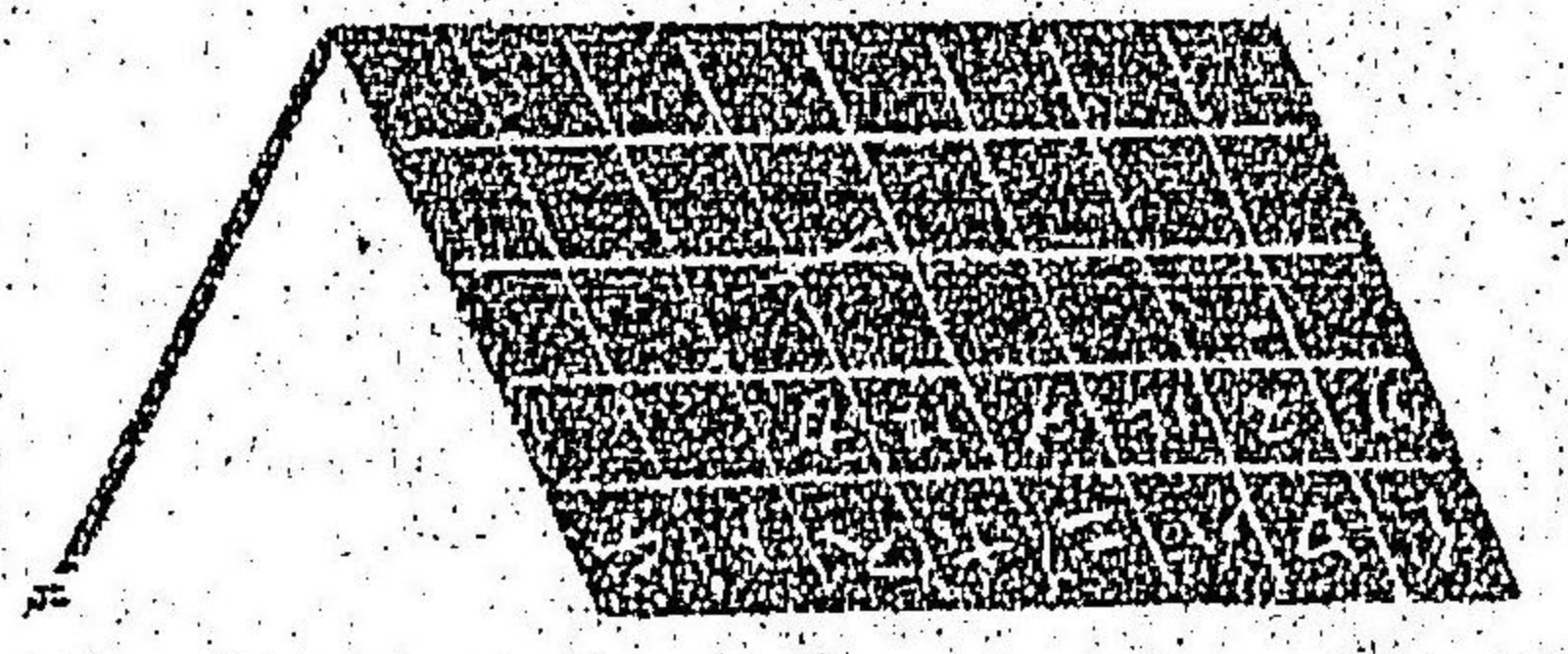


此瓦、初、合、瓦、ナ、リ

圖四才



圖五第





米穀商

銀治町七十四番地

外山 謚治

辨護士

曙町一番地

高橋文之助

時計商

恵比須町十八番地

加藤久太郎

米穀販賣所

地蔵町十三番地

石川光房

造船業

西濱町一番地

島野市郎次

漁業

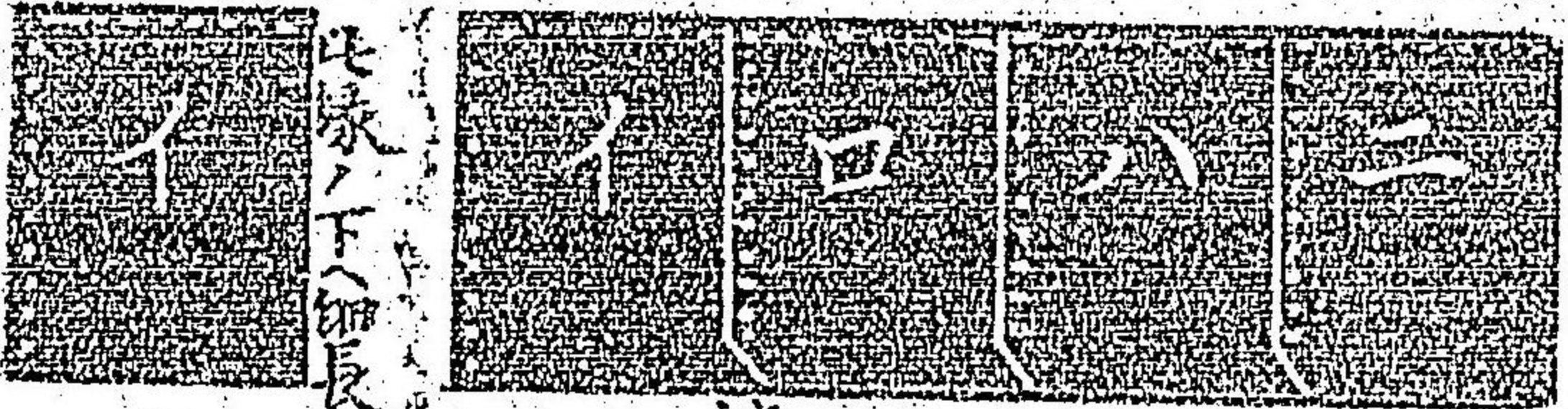
住吉町二十四番地

佐藤作太郎

◎專賣特許改良屋根瓦廣告

一坪十三枚  
定價金七十五錢  
五十坪以上割引

圖二才

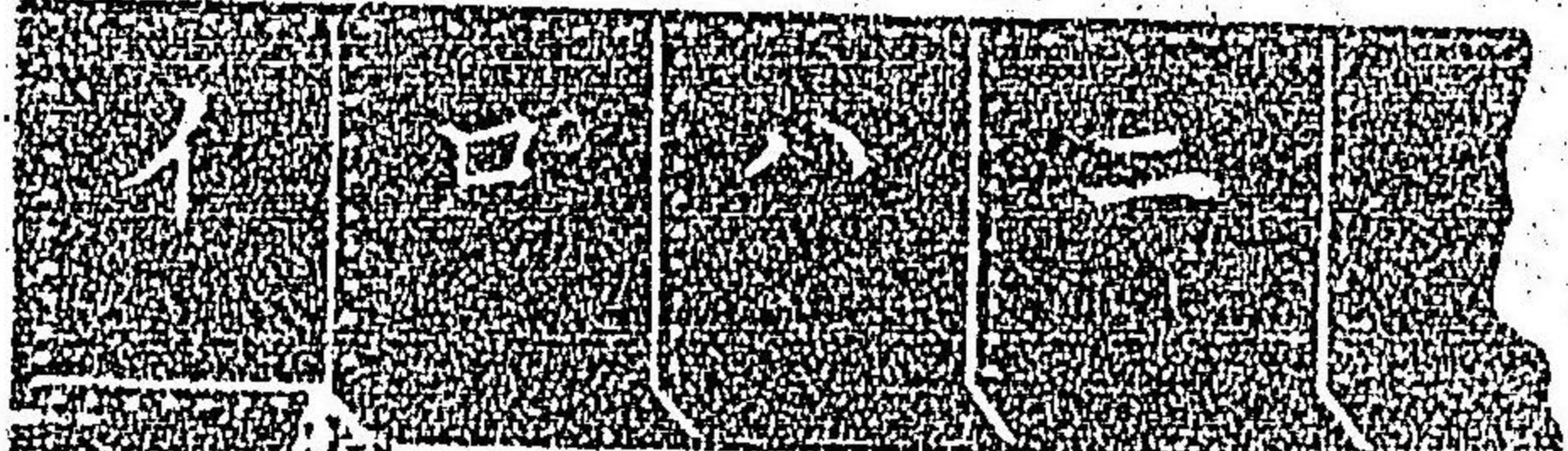


一才

比喩ノ下細長キ統ホノ入ルベシ

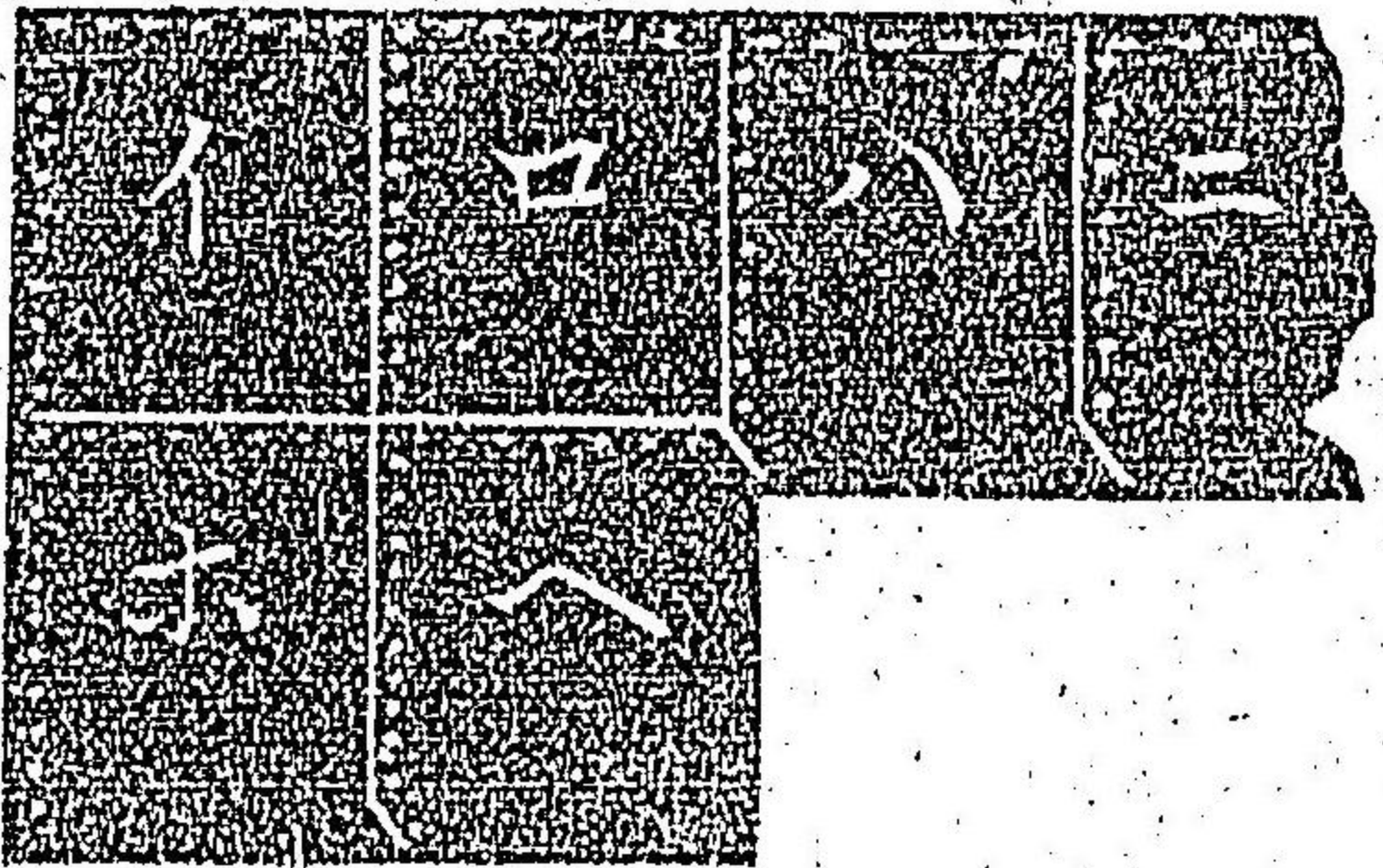
比喩ノ鍔ニ切レシ

圖三才

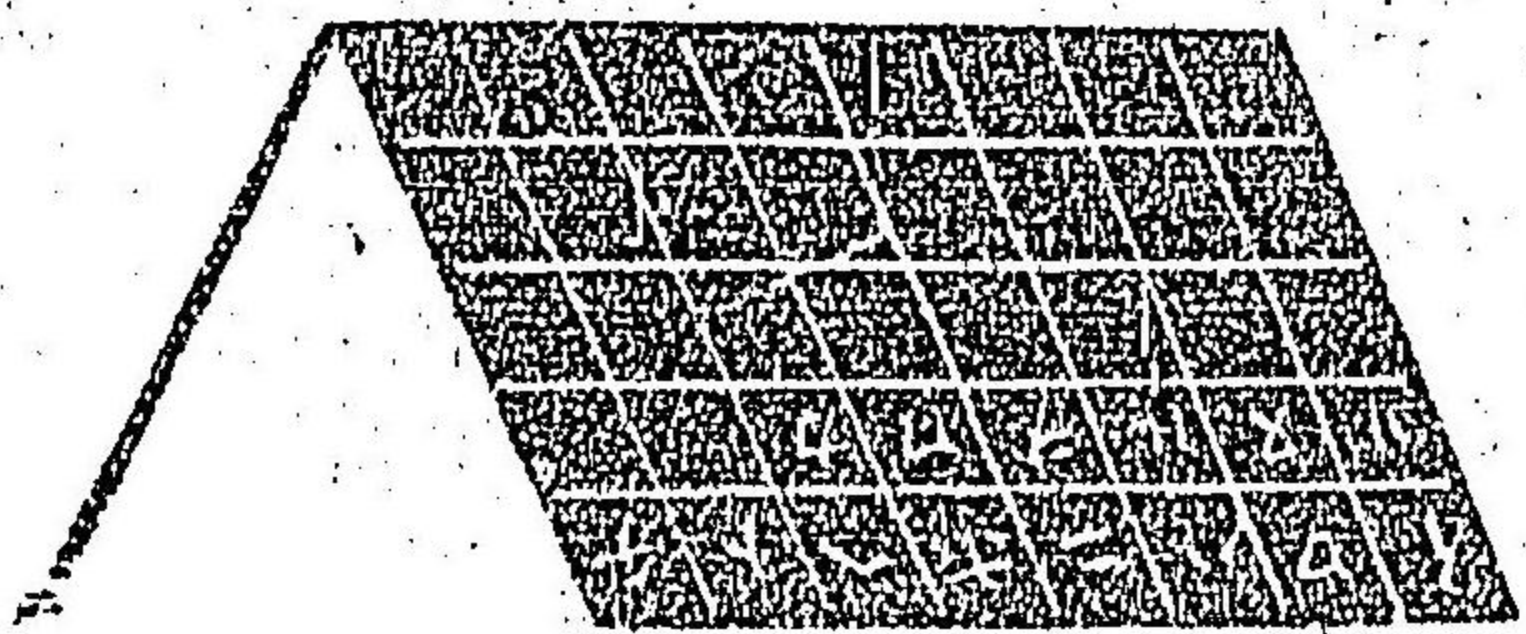


比喩ノ切合ナリ

圖四才



圖五第





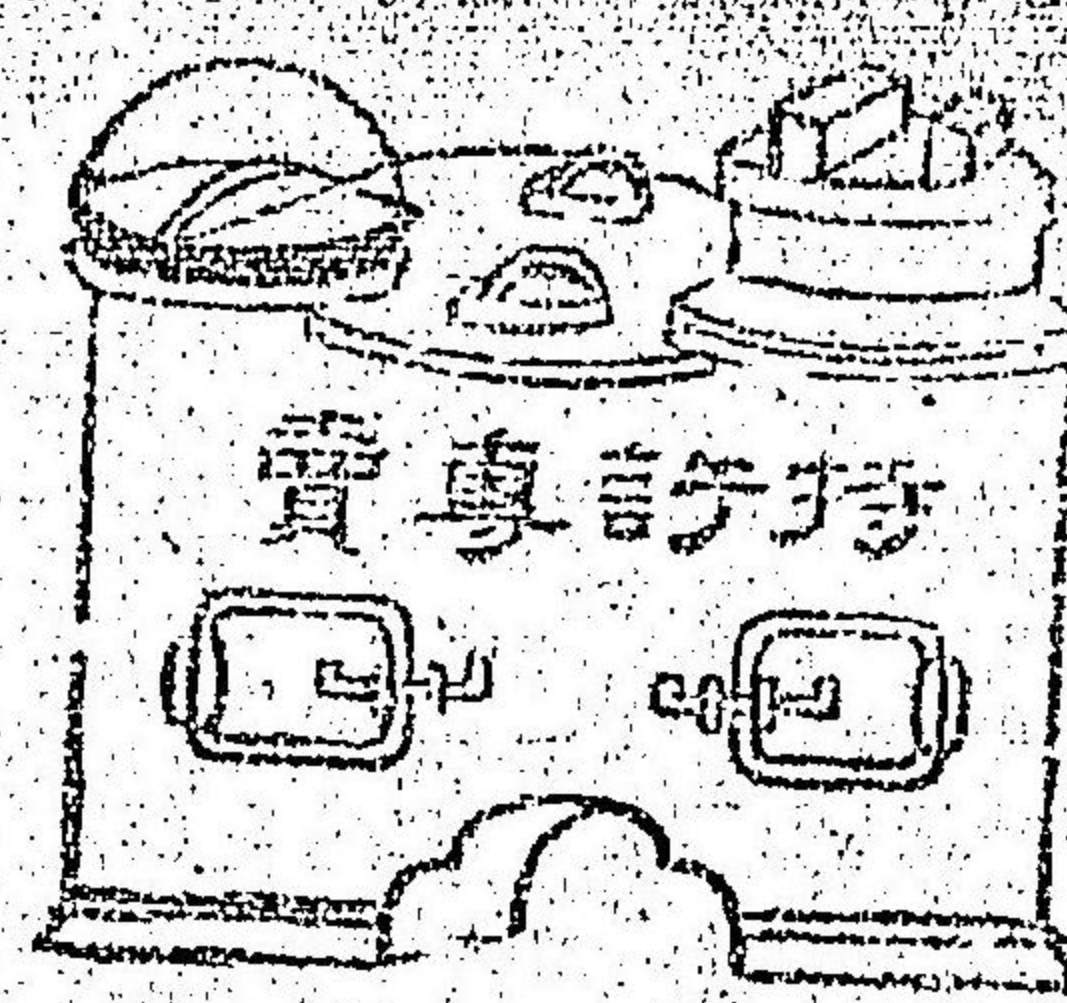
此改良瓦は安全耐久輕便廉價にして原料は石油洋植物等の防腐料と苛性曹達石灰等の防火質を以て塗料を製し之を紙片に敷回塗り重ね製したるものにして永久腐朽の虞なく火を防の効力あるを以て改良瓦の名ある所以なり極寒の候凝裂の虞なく却て堅固なり重量至て軽く脆弱の建築にも耐へ風に捲かるゝとなく地震のときと雖も危険の虞なし運搬輕便にして地に擲も破壊するとなし且つ葺込方簡易にして何人にも葺得らるべく大小方圓隨意の形に截り高低曲直好むも儘に葺かるゝなり

**使用方に注意**

先づ瓦を屋根又は太陽の光線を受くる處へ十分時許り晒し置きは瓦は太陽の熱を受け幾分軟柔軟になるを度とし葺始むるなり 但し冬期なれば瓦の裏より(砂の附着しあるは表にして紙地の處は裏なり)焚火にて適宜に温むべし又瓦の熱に遇ひ多分に柔軟になるとも取て意とするに及ばず葺込後二週間程を經過すれば自然油分蒸發して完全なる強固質となるなり

(第一圖)に瓦の葺初めを示したるものにして屋根下端口則ち雨の落る處の左端より右方へ順次釘着にして葺込むるなり然して雨の横より吹込を防ぐ爲め厚さ一二分巾九分位の細長き木片(割木舞を引製したるものにてよし)を入れ能く踏込み次の瓦を一寸五分宛重ね強く壓て瓦の縁の高き所を適宜の洋釘を二寸許宛隔て、打付るなり圖中……は釘の打着けたる跡を示したるものなり(第二圖)は順次に瓦の一隅をブッキ鉄の類を以て切りたる圖にして是は上より瓦を重ねるとき高くならざるやう上の瓦をも切りて切口を合せ平ならしむる爲なり(第三圖)は則ち上より瓦を重ねたるの圖にして上の瓦の端を切り切り口を合せたるの圖なり(第四圖)は前の手續の通り順次葺込の圖なり(第五圖)は葺込終りたる圖にして葺初より瓦の葺込順序を示したる圖なり(右は葺下地板)

北海全道特約一手大販賣 函館辨天町六十番地金物商 豊嶋三策



尙弊店特約北海道一手 大販賣東京松尾組製造 專賣特許持○籠 是構造堅牢装置の簡便燃料の減少價格の低廉にして實に有益無比の良器なると夙に御使用諸君の御賞詞を賜ふ處なり荷も經濟上忽かせにせざる御仁は此の(持○籠)を御使用ありて其名稱偶然にあらざるを倍々御高評あらんとを幸希上候

物産商 末廣町 二十八番地 池田六右衛門

委託販賣問屋 豊川町 五十三番地 松田夕力